

太宰府まちづくり市民意識調査

報 告 書

平成 22 年 3 月

太 宰 府 市

目 次

第1章 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の性格	1
(1) 調査地域	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査対象者数	1
(4) 抽出方法	1
(5) 調査方法	1
(6) 調査期間	1
(7) 回収状況	1
(8) 調査実施機関	1
3 調査項目	2
4 調査結果利用上の注意	3

第2章 調査結果の分析

第1節 回答者の属性	5
1. 性別（問1）	5
2. 年齢（問2）	6
3. 世帯構成（問3）	7
4. 職業（問4）	8
5. 通勤・通学先（問4付問1）	9
6. 居住地域	10
(1) 行政区（問5）	10
(2) 小学校区（問6）	11
7. 居住年数（問7）	12
8. 居住形態（問8）	13
第2節 住みやすさについて	14
1. 太宰府市の住みやすさ（問9）	14
2. 継続居住意向（問10）	15
3. 住み続けたい理由（問10付問1）	16
4. 住み続けたくない理由（問10付問2）	18
第3節 日頃の暮らし、行動について	19
1. 総合計画後期基本計画の施策に対する考え方（問11）	19
2. 人権の尊重と同和対策の充実	23
(1) 人権問題への認識（問12）	23

(2) 人権侵害の経験と内容 (問 13、問 13 付問 1)	24
(3) 同和地区に対する差別の認識 (問 14)	25
(4) 結婚を決めるときの家柄、血筋に対する考え方 (問 15)	26
3. バリアフリーの推進	27
(1) 公共施設の配慮に対する意識 (問 16)	27
(2) 民間施設の配慮に対する意識 (問 17)	28
4. 男女共同参画の推進	29
(1) 固定的役割分担に対する考え方 (問 18)	29
(2) 男女間の地位の平等感 (問 19)	30
5. 地域のコミュニティづくり	31
(1) 自治会活動への参加 (問 20)	31
(2) ボランティア活動への参加 (問 21)	32
6. 生涯学習社会の創造	33
(1) 生涯学習活動の取り組み状況 (問 22)	33
(2) 運動・スポーツの実施頻度 (問 23)	34
7. 健康づくりと保健予防	35
(1) 健康状態 (問 24)	35
(2) 健康増進の取り組み状況 (問 25)	36
8. 社会福祉の充実	37
(1) 地域での福祉活動 (問 26)	37
(2) 生きがいの有無 (問 27)	38
(3) 高齢者福祉サービスの充実度 (問 28)	39
(4) 障害者福祉サービスの充実度 (問 29)	40
9. 子育て環境の整備	41
(1) 子育てに対する不安や負担感 (問 30)	41
(2) 子育てのしやすさ (問 31)	42
10. 安全なまちづくり	43
(1) 災害に対する取り組み状況 (問 32)	43
(2) 防犯面の安心度 (問 33)	45
(3) 防犯上危険と思う場所 (問 33 付問 1)	46
11. 消費生活の安定	49
(1) 不当請求や不適正な取引行為の被害状況 (問 34、問 34 付問 1)	49
12. 環境行政の総合的推進について	51
(1) 二酸化炭素削減や大気汚染対策の実践 (問 35)	51
(2) 省エネルギー・省資源の活動について (問 36)	52
13. 生活環境の向上	53
(1) 自宅周辺の衛生環境 (問 37)	53
(2) 環境マナーの順守 (問 38)	54
(3) 環境に関する学習会への参加 (問 39)	55
14. 緑の保全と創造 (問 40)	56

15. 快適な生活空間づくり	57
(1) 住環境の快適さについての認識 (問 41)	57
(2) 商業施設等の利便性に対する意識 (問 42)	58
16. 交通体系の整備	59
(1) バスの利便性に対する意識 (問 43)	59
(2) 鉄道の利便性に対する意識 (問 44)	60
(3) 道路の円滑性に対する意識 (問 45)	61
17. 産業の振興 (問 46)	62
18. 景観づくり	63
(1) 美しい自然に対する意識 (問 47)	63
(2) 美しい歴史的景観に対する意識 (問 48)	64
(3) 良好な町並みに対する意識 (問 49)	65
19. 情報通信基盤の整備	66
(1) パソコンの有無 (問 50)	66
(2) 世帯におけるパソコンによるインターネットの接続の有無 (問 50 付問 1)	67
(3) 携帯電話の有無 (問 51)	68
(4) 携帯電話によるインターネット利用の有無 (問 51 付問 1)	69
20. 歴史と国立博物館を生かしたまちづくり (問 52)	70
21. 市民文化の創造 (問 53)	71
22. 国際化の推進	72
(1) 外国人との交流頻度 (問 54)	72
(2) 姉妹都市・友好都市の認知 (問 55)	73
(3) 姉妹都市・友好都市との交流頻度 (問 56)	74
第 4 節 行政サービスについて	75
1. 広報広聴機能の充実 (問 57)	75
2. 情報の提供	77
(1) 情報公開・提供に対する意識 (問 58)	77
(2) 市民と行政の情報共有 (問 59)	78
3. 人材育成の推進	79
(1) 市役所窓口の利用の有無 (問 60)	79
(2) 事務処理の迅速性に対する意識 (問 60 付問 1)	80
(3) 職員の対応・姿勢に対する満足度 (問 60 付問 2)	81
(4) 市職員の対応や行動などに対する満足度 (問 61)	82
4. 行財政改革 (問 62)	83
5. 広域行政の推進 (問 63)	84

◎附属資料

使用した調査票	85
---------	----

第1章 調査の概要

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

市民の声を市政に生かし市民参画の行政を進めていくため、市民の生活実態や問題意識、現状の施策に対する評価、今後のまちづくりに対する期待などを把握し、今度のまちづくりの基礎資料とする目的で実施した。

2. 調査の性格

(1) 調査地域

太宰府市全域

(2) 調査対象

太宰府市内に居住する 20 歳以上の男女個人

(3) 調査対象者数

1,000 サンプル

(4) 抽出方法

住民基本台帳による無作為二段階抽出

(5) 調査方法

郵送法（お礼兼督促状 1 回郵送）

(6) 調査期間

配 布：平成 22 年 3 月 5 日（金）発送

投函締切：平成 22 年 3 月 23 日（火）

(7) 回収状況

回 収 数：544 件（回収率 54.4%）

うち有効回収数：531 件

(8) 調査実施機関

西日本新聞社 企画局 ソーシャル事業部

3. 調査項目

1. 回答者の属性	問 1	性別	
	問 2	年齢	
	問 3	世帯構成	
	問 4	職業	
	問 4 付問 1	通勤・通学先	
	問 5	行政区	
	問 6	小学校区	
	問 7	居住年数	
2. 住みやすさについて	問 8	居住形態	
	問 9	太宰府市の住みやすさ	
	問 10	継続居住意向	
3. 日頃の暮らし、行動に対する意識等について	問10付問 1	住み続けたい理由	
	問10付問 2	住み続けたくない理由	
	問11	総合計画後期基本計画の施策に対する考え方（全15項目）	
	問12	人権問題への認識	
	問13、付問 1	人権侵害の経験と内容	
	問14	同和地区に対する差別の認識	
	問15	結婚を決める時の家柄、血筋に対する考え方	
	問16	公共施設の配慮に対する意識	
	問17	民間施設の配慮に対する意識	
	問18	固定的役割分担に対する考え方	
	問19	男女間の地位の平等感	
	問20	自治会活動への参加	
	問21	ボランティア活動への参加	
	問22	生涯学習活動の取り組み状況	
	問23	運動・スポーツの実施頻度	
	問24	健康状態	
	問25	健康増進の取り組み状況	
	問26	地域での福祉活動	
	問27	生きがいの有無	
	問28	高齢者福祉サービスの充実度	
	問29	障害者福祉サービスの充実度	
	問30	子育てに対する不安や負担感	
	問31	子育てのしやすさ	
	問32	災害に対する取り組み状況	
	問33	防犯面の安心度	
	問33付問 1	防犯上危険と思う場所	
	問34、付問 1	不当請求や不適正な取引行為の被害状況	
	問35	二酸化炭素削減や大気汚染対策の実践	
	問36	省エネルギー・省資源の活動について	
	問37	自宅周辺の衛生環境	
	問38	環境マナーの順守	
	問39	環境に関する学習会への参加	
	問40	緑の保全と創造	
	問41	住環境の快適さについての認識	
	問42	商業施設等の利便性に対する意識	
	問43	バスの利便性に対する意識	
	問44	鉄道の利便性に対する意識	
	問45	道路の円滑性に対する意識	
	問46	産業の振興	
	問47	美しい自然に対する意識	
	問48	美しい歴史的景観に対する意識	
	問49	良好な町並みに対する意識	
	問50	パソコンの有無	
	問50付問 1	世帯におけるパソコンによるインターネットの接続の有無	
	問51	携帯電話の有無	
	問51付問 1	携帯電話によるインターネット利用の有無	
	問52	歴史と国立博物館を生かしたまちづくり	
	問53	市民文化の創造	
	問54	外国人との交流頻度	
	問55	姉妹都市・友好都市の認知	
	問56	姉妹都市・友好都市との交流頻度	
	問57	広報広聴機能の充実	
	問58	情報公開・提供に対する意識	
	問59	市民と行政の情報共有	
	問60	市役所窓口の利用の有無	
	問60付問 1	事務処理の迅速性に対する意識	
	問60付問 2	職員の対応・姿勢に対する満足度	
	問61	市職員の対応や行動などに対する満足度	
	問62	行財政改革	
	問63	広域行政の推進	
	自由意見		

4. 調査結果利用上の注意

- (1) 集計は原則として小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示す「N」は、比率算出上の基数（標本数）である。
- (4) 付問は前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である。この場合の回答者は設問回答の該当者のみである。
- (5) 平成19年度に実施した前回調査、平成17年度に実施した前々回調査と比較検討が可能な設問については前回・前々回結果も掲載しているが、実際に比較検討する際には、前回・前々回調査と今回調査では調査対象が若干異なっていることを留意する必要がある。また、一部の質問文や選択肢では、前回と若干文言が変更になっているものもある。

第2章 調査結果の分析

第2章 調査結果の分析

第1節 回答者の属性

1. 性別（問1）

●回答者の性別は「男性」42.4%、「女性」56.1%。40歳代以下では女性が6割台と多い。

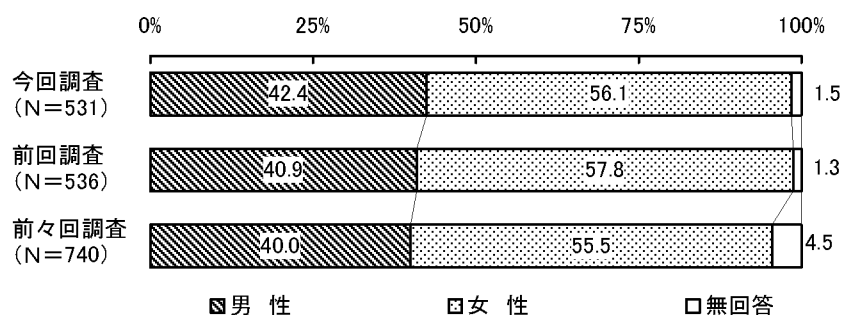
「男性」42.4%、「女性」56.1%と女性の方が13.7ポイント多い。

経年比較でみると、男性の割合は徐々に増加しているが、大きな変化はない。

年代別にみると、40歳代以下で男性は3割台、女性は6割台とこの年代での差が大きい。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と太宰府西小学校区は「男性」が3割台にとどまっている。

問1. あなたの性別についてお選びください。



		標本数	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
全体		531	42.4	56.1	1.5
年代別	20歳代	57	36.8	63.2	-
	30歳代	86	32.6	66.3	1.2
	40歳代	73	35.6	64.4	-
	50歳代	97	45.4	52.6	2.1
	60歳代	136	48.5	50.7	0.7
	70歳以上	81	48.1	46.9	4.9
	無回答	1	100.0	-	-
	小学校区別	太宰府小学校区	83	30.1	67.5
太宰府東小学校区		54	46.3	51.9	1.9
太宰府南小学校区		51	51.0	49.0	-
水城小学校区		63	50.8	47.6	1.6
水城西小学校区		48	45.8	54.2	-
太宰府西小学校区		92	38.0	60.9	1.1
国分小学校区		74	41.9	56.8	1.4
わからない		61	47.5	50.8	1.6
無回答		5	-	80.0	20.0

2. 年齢（問2）

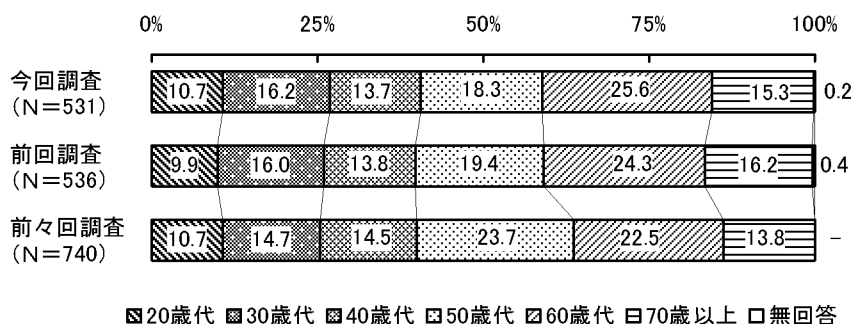
● 「50歳代」と「60歳代」で4割強を占めている。

「60歳代」が25.6%で最も多く、次いで「50歳代」が18.3%、「30歳代」が16.2%となっている。

前回調査とほぼ同じ結果となっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区では40歳代以下が21.6%と他の小学校区に比べて少なく、50歳以上が78.4%と約8割を占めている。

問2. あなたの年齢を次の中から選びください。（平成22年3月末時点で）



		標本数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体		531	10.7	16.2	13.7	18.3	25.6	15.3	0.2
小学校区別	太宰府小学校区	83	16.9	9.6	16.9	25.3	19.3	12.0	-
	太宰府東小学校区	54	13.0	7.4	11.1	14.8	37.0	16.7	-
	太宰府南小学校区	51	5.9	3.9	11.8	11.8	33.3	33.3	-
	水城小学校区	63	7.9	23.8	15.9	17.5	20.6	14.3	-
	水城西小学校区	48	8.3	25.0	18.8	14.6	8.3	25.0	-
	太宰府西小学校区	92	7.6	19.6	10.9	14.1	34.8	12.0	1.1
	国分小学校区	74	10.8	14.9	12.2	20.3	31.1	10.8	-
	わからない	61	14.8	23.0	14.8	24.6	16.4	6.6	-
無回答	5	-	40.0	-	20.0	20.0	20.0	-	

3. 世帯構成（問3）

●「2世代世帯」と「夫婦のみ」の核家族が約8割。

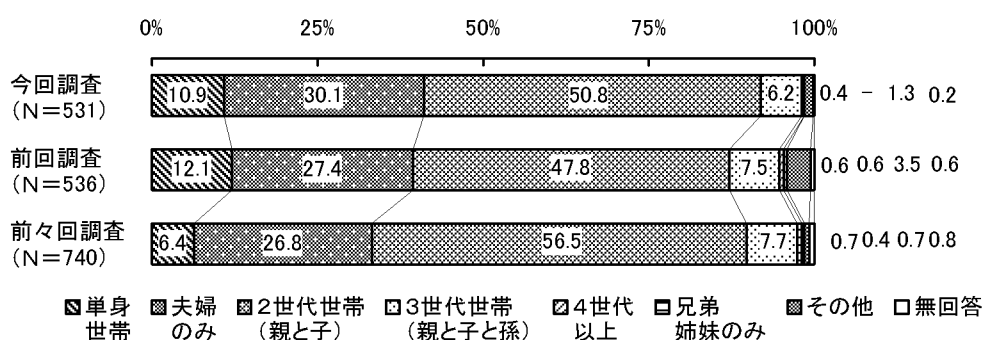
「2世代世帯」が50.8%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が30.1%と核家族が80.9%となっている。

経年比較をすると、前々回調査から前回調査、今回調査と徐々に「2世代世帯」が減少し、「夫婦のみ世帯」「単身世帯」が増加している。

年代別にみると、20歳代から50歳代は「2世代世帯」が半数以上を占めており、60歳以上では「夫婦のみ」の世帯が多くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区で「夫婦のみ」が43.1%と最も多い。

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。



		標本数	単身世帯	夫婦のみ	(2世代世帯)	孫(3世代世帯)	4世代以上	兄弟姉妹のみ	その他	無回答
全体		531	58	160	270	33	2	-	7	1
性別		100.0	10.9	30.1	50.8	6.2	0.4	-	1.3	0.2
男性	225	12.0	34.7	48.4	3.1	0.4	-	-	1.3	-
女性	298	9.7	27.2	53.0	8.1	0.3	-	-	1.3	0.3
無回答	8	25.0	12.5	37.5	25.0	-	-	-	-	-
年代別										
20歳代	57	7.0	5.3	78.9	8.8	-	-	-	-	-
30歳代	86	10.5	19.8	61.6	7.0	1.2	-	-	-	-
40歳代	73	5.5	13.7	78.1	2.7	-	-	-	-	-
50歳代	97	16.5	21.6	52.6	6.2	-	-	-	2.1	1.0
60歳代	136	12.5	43.4	36.0	6.6	-	-	-	1.5	-
70歳以上	81	8.6	61.7	18.5	6.2	1.2	-	-	3.7	-
無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別										
太宰府小学校区	83	13.3	25.3	45.8	12.0	-	-	-	2.4	1.2
太宰府東小学校区	54	1.9	27.8	63.0	7.4	-	-	-	-	-
太宰府南小学校区	51	2.0	43.1	51.0	3.9	-	-	-	-	-
水城小学校区	63	11.1	28.6	50.8	7.9	-	-	-	1.6	-
水城西小学校区	48	10.4	27.1	58.3	4.2	-	-	-	-	-
太宰府西小学校区	92	7.6	35.9	47.8	4.3	1.1	-	-	3.3	-
国分小学校区	74	5.4	29.7	54.1	8.1	1.4	-	-	1.4	-
わからない	61	36.1	24.6	39.3	-	-	-	-	-	-
無回答	5	-	20.0	80.0	-	-	-	-	-	-

4. 職業（問4）

●全体では、「会社員」（27.5%）、「無職」（23.4%）、「家事専業」（20.9%）が多い。

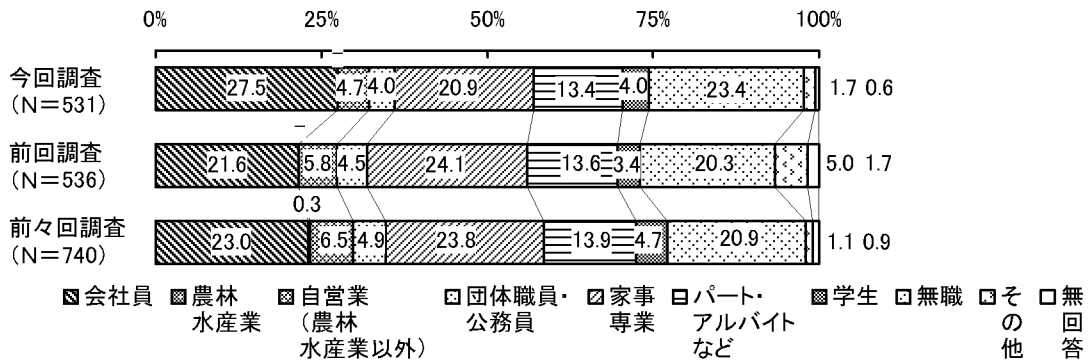
職業は「会社員」が27.5%で最も多く、次いで「無職」が23.4%、「家事専業」が20.9%となっている。

経年比較をすると「会社員」と「無職」が増加している。

性別にみると男性は「会社員」（45.8%）と「無職」（32.0%）、女性は「家事専業」（36.6%）と「パート・アルバイトなど」（21.2%）が主である。

年代別にみると、20歳代は「学生」（36.8%）や「会社員」（33.3%）が多く、30歳代から50歳代で「会社員」、60歳以上では「無職」が最も多く、その他30歳代と50歳以上では「家事専業」、40歳代では「パート・アルバイトなど」の職業も多い。

問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。（2つ以上あるときは主なもの1つ）



		標本数	会社員	農林水産業	自営業 (農林水産業以外)	団体職員・公務員	家事専業	パート・アルバイトなど	学生	無職	その他	無回答
全体		531	146	-	25	21	111	71	21	124	9	3
		100.0	27.5	-	4.7	4.0	20.9	13.4	4.0	23.4	1.7	0.6
性別	男性	225	45.8	-	8.4	4.9	-	3.1	4.0	32.0	1.3	0.4
	女性	298	13.8	-	2.0	3.4	36.6	21.1	4.0	17.1	2.0	-
	無回答	8	25.0	-	-	-	25.0	12.5	-	12.5	-	25.0
年代別	20歳代	57	33.3	-	3.5	5.3	8.8	7.0	36.8	3.5	1.8	-
	30歳代	86	39.5	-	3.5	8.1	29.1	12.8	-	5.8	1.2	-
	40歳代	73	46.6	-	2.7	1.4	15.1	28.8	-	5.5	-	-
	50歳代	97	35.1	-	7.2	6.2	20.6	16.5	-	11.3	2.1	1.0
	60歳代	136	13.2	-	8.1	2.9	24.3	12.5	-	36.8	2.2	-
	70歳以上	81	7.4	-	-	-	21.0	2.5	-	64.2	2.5	2.5
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	22.9	-	4.8	7.2	14.5	16.9	9.6	20.5	2.4	1.2
	太宰府東小学校区	54	25.9	-	3.7	3.7	24.1	13.0	7.4	22.2	-	-
	太宰府南小学校区	51	15.7	-	3.9	3.9	17.6	11.8	2.0	43.1	2.0	-
	水城小学校区	63	44.4	-	4.8	1.6	15.9	7.9	-	23.8	1.6	-
	水城西小学校区	48	29.2	-	8.3	4.2	20.8	14.6	2.1	20.8	-	-
	太宰府西小学校区	92	19.6	-	3.3	5.4	30.4	12.0	5.4	20.7	3.3	-
	国分小学校区	74	24.3	-	4.1	4.1	21.6	16.2	2.7	24.3	1.4	1.4
	わからない	61	44.3	-	6.6	-	18.0	11.5	-	18.0	-	1.6
無回答	5	-	-	-	-	40.0	40.0	-	-	20.0	-	

5. 通勤・通学先（問4付問1）

- 通勤・通学先は「福岡市」（35.9%）が最も多い。
- 太宰府市内の通勤者は60歳代、太宰府小学校区と太宰府南小学校区で多い。

通勤・通学先については「福岡市」が35.9%で最も多く、次いで「太宰府市」が24.3%となっている。

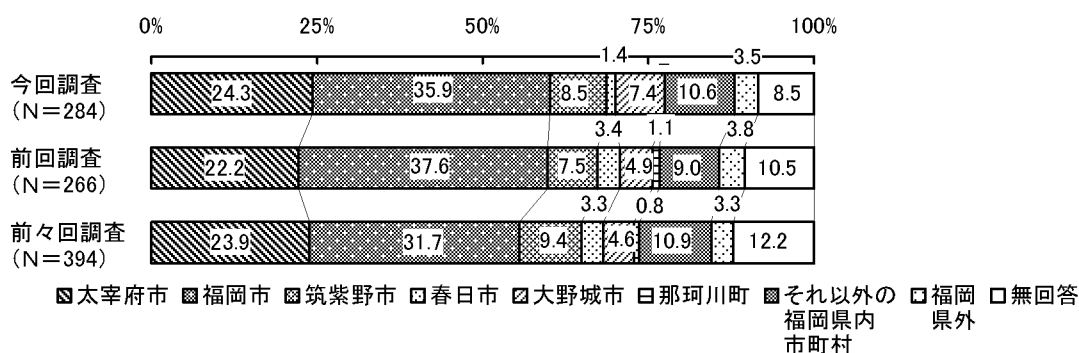
経年比較でみると、前回調査からあまり大きな変化はみられない。

性別にみると男性は「福岡市」（41.6%）が最も多く、女性は「太宰府市」（29.5%）と「福岡市」（28.0%）の2地域が同程度となっている。

年代別にみると、いずれの年代も「福岡市」が最も多いが、60歳代では「太宰府市」が相対的に多い。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区では「福岡市」が55.2%と最も多い。また、太宰府小学校区と太宰府南小学校区では「太宰府市」が「福岡市」を上回っている。

問4付問1【問4で5・8・9と答えた方以外で】通勤先または通学先の所在地を次の中からお選びください。



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川町	内的那珂市福岡県外	福岡県外	無回答
全体		284	69	102	24	4	21	-	30	10	24
性別	男性	149	20.1	41.6	4.0	0.7	6.0	-	13.4	4.0	10.1
	女性	132	29.5	28.0	13.6	2.3	9.1	-	7.6	3.0	6.8
	無回答	3	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
年代別	20歳代	49	22.4	38.8	2.0	2.0	12.2	-	12.2	4.1	6.1
	30歳代	55	14.5	41.8	5.5	1.8	12.7	-	16.4	1.8	5.5
	40歳代	58	27.6	31.0	12.1	1.7	5.2	-	6.9	3.4	12.1
	50歳代	63	25.4	36.5	12.7	-	3.2	-	9.5	4.8	7.9
	60歳代	50	32.0	32.0	10.0	2.0	4.0	-	6.0	4.0	10.0
	70歳以上	8	12.5	37.5	-	-	12.5	-	25.0	-	12.5
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	51	37.3	25.5	5.9	-	7.8	-	11.8	5.9	5.9
	太宰府東小学校区	29	6.9	55.2	3.4	-	10.3	-	13.8	6.9	3.4
	太宰府南小学校区	19	31.6	21.1	10.5	-	-	-	15.8	10.5	10.5
	水城小学校区	37	18.9	35.1	16.2	2.7	5.4	-	16.2	-	5.4
	水城西小学校区	28	17.9	46.4	7.1	-	3.6	-	7.1	3.6	14.3
	太宰府西小学校区	42	28.6	38.1	4.8	4.8	9.5	-	4.8	2.4	7.1
	国分小学校区	38	18.4	31.6	7.9	2.6	13.2	-	10.5	-	15.8
	わからない	38	28.9	34.2	13.2	-	5.3	-	7.9	2.6	7.9
無回答	2	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	

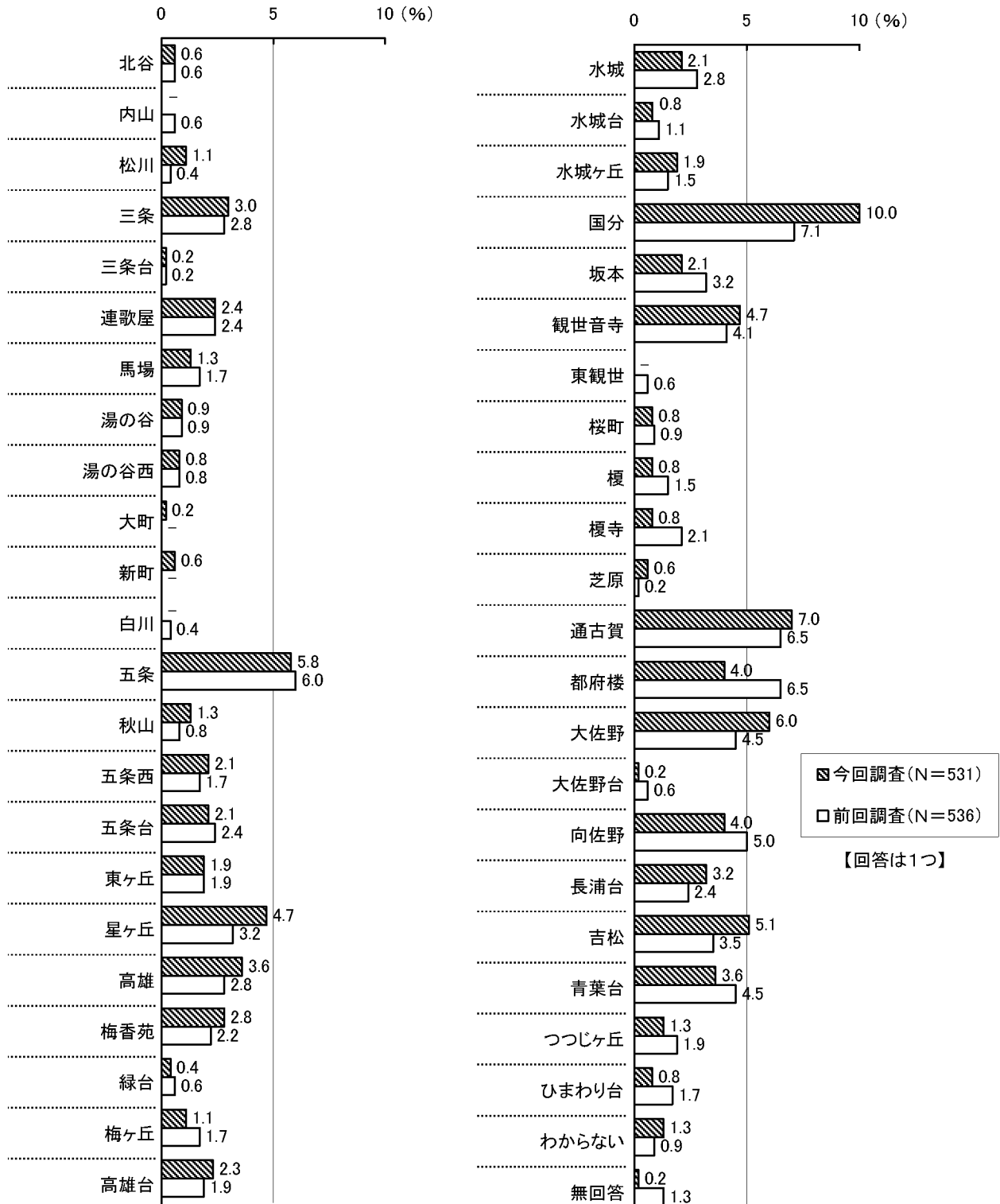
6. 居住地

(1) 行政区 (問5)

●住んでいる行政区は「国分」が1割、次いで「通古賀」「大佐野」「五条」。

住んでいる行政区は「国分」が10.0%で最も多く、次いで「通古賀」(7.0%)「大佐野」(6.0)「五条」(5.8%)となっている。

問5. あなたの住んでいる行政区を次の中からお選びください。



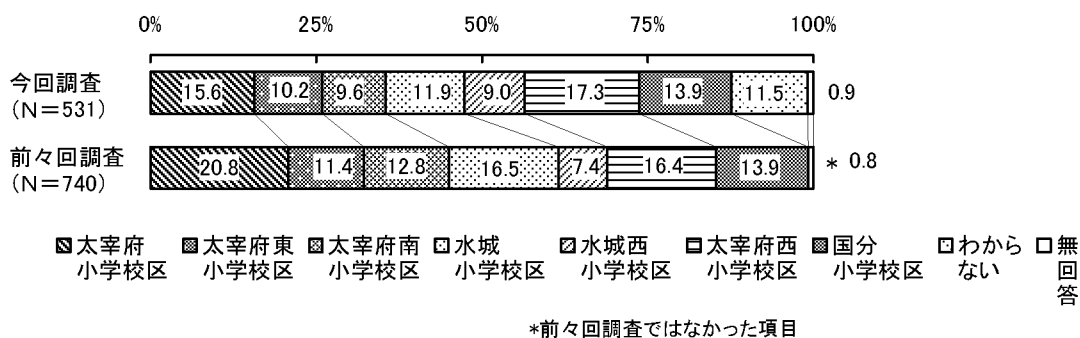
(2) 小学校区 (問6)

●小学校区は「太宰府西小学校区」(17.3%)、次いで「太宰府小学校区」「国分小学校区」。

住んでいる小学校区は「太宰府西小学校区」が17.3%で最も多く、次いで「太宰府小学校区」(15.6%)、「国分小学校区」(13.9%)となっている。

前々回調査と比較すると、太宰府小学校区と太宰府南小学校区、水城小学校区、太宰府東小学校区の居住者が少なくなっている。

問6. あなたの住んでいる小学校区を次の中から選びください。



		標本数	学太 校宰 区府 小	小太 学宰 校府 区東	小太 学宰 校府 区南	校水 区城 小 学	学水 校城 区西 小	小太 学宰 校府 区西	校国 区分 小学	いわ から な	無 回 答
全体		531 100.0	83 15.6	54 10.2	51 9.6	63 11.9	48 9.0	92 17.3	74 13.9	61 11.5	5 0.9
性別	男性	225	11.1	11.1	11.6	14.2	9.8	15.6	13.8	12.9	-
	女性	298	18.8	9.4	8.4	10.1	8.7	18.8	14.1	10.4	1.3
	無回答	8	25.0	12.5	-	12.5	-	12.5	12.5	12.5	12.5
年代別	20歳代	57	24.6	12.3	5.3	8.8	7.0	12.3	14.0	15.8	-
	30歳代	86	9.3	4.7	2.3	17.4	14.0	20.9	12.8	16.3	2.3
	40歳代	73	19.2	8.2	8.2	13.7	12.3	13.7	12.3	12.3	-
	50歳代	97	21.6	8.2	6.2	11.3	7.2	13.4	15.5	15.5	1.0
	60歳代	136	11.8	14.7	12.5	9.6	2.9	23.5	16.9	7.4	0.7
	70歳以上	81	12.3	11.1	21.0	11.1	14.8	13.6	9.9	4.9	1.2
	無回答	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-

7. 居住年数（問7）

●全体では、居住年数は分散している。

居住年数は「5年以上～10年未満」が20.3%で最も多く、次いで「3年以上～5年未満」が17.7%、「20年以上～25年未満」が13.9%、「3年未満」と「10年以上～15年未満」が同率の13.0%となっており、分散化している。

経年比較でみると、「25年以上」は減少傾向にあり、『25年未満』の居住者が増加している。

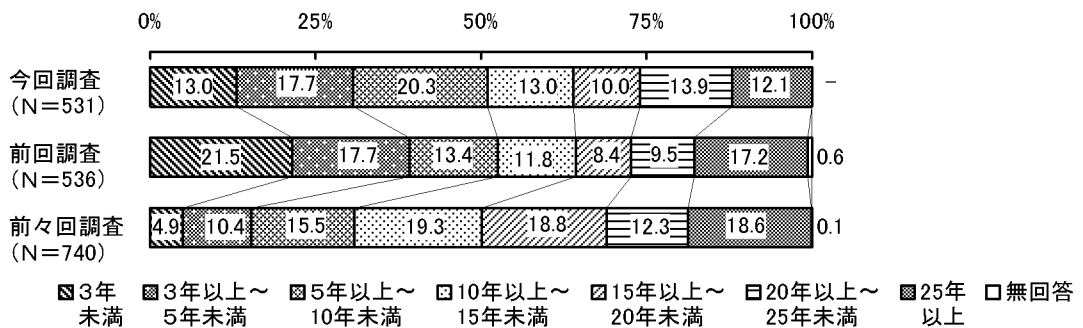
性別にみると、男性は「25年以上」、女性は『10年以上～20年未満』の居住者が多い。

年代別にみると、20歳代は「20年以上～25年未満」、30歳代と40歳代は『10年未満』、50歳代は『10年以上～20年未満』、70歳以上は「25年以上」の割合が多い。

小学校区別にみると、水城小学校区と水城西小学校区、太宰府西小学校区、国分小学校区は『10年未満』の居住者が多く、5割を超えている。一方、太宰府東小学校区と太宰府南小学校区は『20年以上』の居住者が多く、4割を超えている。

問7. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。（平成22年3月末時点で）

次の中からお選びください。



		標本数	3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上	無回答
全体		531	69	94	108	69	53	74	64	-
性別	男性	225	12.0	16.4	22.2	9.8	8.0	14.7	16.9	-
	女性	298	13.4	18.1	19.1	15.8	11.4	13.8	8.4	-
	無回答	8	25.0	37.5	12.5	-	12.5	-	12.5	-
年代別	20歳代	57	5.3	12.3	17.5	12.3	19.3	33.3	-	-
	30歳代	86	18.6	37.2	33.7	3.5	2.3	1.2	3.5	-
	40歳代	73	26.0	31.5	20.5	13.7	1.4	1.4	5.5	-
	50歳代	97	11.3	10.3	14.4	20.6	20.6	12.4	10.3	-
	60歳代	136	9.6	12.5	22.1	14.7	8.1	17.6	15.4	-
	70歳以上	81	7.4	6.2	12.3	11.1	9.9	21.0	32.1	-
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	10.8	9.6	20.5	13.3	13.3	18.1	14.5	-
	太宰府東小学校区	54	7.4	11.1	13.0	14.8	11.1	24.1	18.5	-
	太宰府南小学校区	51	9.8	-	9.8	17.6	13.7	25.5	23.5	-
	水城小学校区	63	17.5	28.6	17.5	9.5	7.9	12.7	6.3	-
	水城西小学校区	48	14.6	20.8	20.8	12.5	6.3	10.4	14.6	-
	太宰府西小学校区	92	9.8	25.0	16.3	12.0	13.0	10.9	13.0	-
	国分小学校区	74	6.8	23.0	24.3	16.2	10.8	12.2	6.8	-
	わからない	61	29.5	16.4	41.0	6.6	1.6	1.6	3.3	-
無回答	5	20.0	40.0	-	40.0	-	-	-	-	

8. 居住形態（問8）

●「持ち家・分譲マンション」が約65%、「賃貸住宅・アパート」が約3割である。

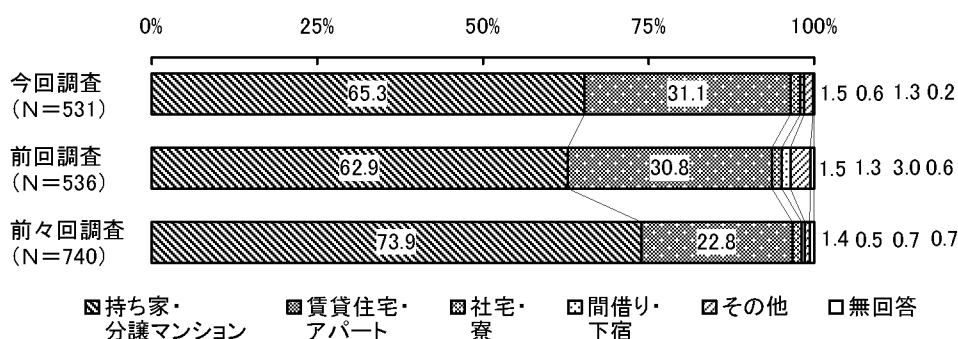
住居形態は「持ち家・分譲マンション」が65.3%で最も多く、次いで「賃貸住宅・アパート」が31.1%となっている。

経年比較でみると、前回調査では「持ち家・分譲マンション」の割合が減少していたが、今回調査ではやや増加に転じている。

年代別にみると、30歳代は「賃貸住宅・アパート」が50.0%と「持ち家・分譲マンション」(45.3%)を上回っているが、その他の年代では「持ち家・分譲マンション」の割合が最も高くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区では「賃貸住宅・アパート」が50.8%と最も多いが、その他の小学校区では「持ち家・分譲マンション」が最も多い。

問8. あなたのお住まいを次の中から選びください。



		標本数	シ分持 ヨ譲ち ンマ家 ン・	ア賃 パ貸 ー住 宅・	社 宅 ・ 寮	下 間 借 り ・	そ の 他	無 回 答
全体		531	65.3	31.1	1.5	0.6	1.3	0.2
性別	男性	225	68.9	27.6	1.3	0.9	1.3	-
	女性	298	63.1	33.2	1.7	0.3	1.3	0.3
	無回答	8	50.0	50.0	-	-	-	-
年代別	20歳代	57	63.2	36.8	-	-	-	-
	30歳代	86	45.3	50.0	3.5	1.2	-	-
	40歳代	73	56.2	38.4	4.1	1.4	-	-
	50歳代	97	66.0	30.9	1.0	-	2.1	-
	60歳代	136	77.2	19.9	0.7	0.7	0.7	0.7
	70歳以上	81	76.5	18.5	-	-	4.9	-
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	67.5	27.7	1.2	2.4	1.2	-
	太宰府東小学校区	54	90.7	9.3	-	-	-	-
	太宰府南小学校区	51	90.2	7.8	-	-	2.0	-
	水城小学校区	63	44.4	50.8	3.2	-	1.6	-
	水城西小学校区	48	58.3	33.3	6.3	-	-	2.1
	太宰府西小学校区	92	80.4	15.2	1.1	1.1	2.2	-
	国分小学校区	74	66.2	32.4	1.4	-	-	-
	わからない	61	26.2	70.5	-	-	3.3	-
無回答	5	20.0	80.0	-	-	-	-	

第2節 住みやすさについて

1. 太宰府市の住みやすさ（問9）

●住みやすいと感じている人（満足派）は全体の約7割。

太宰府市の住みやすさについて「住みやすい」が28.2%、「どちらかといえば住みやすい」が42.4%で、これらを合わせた『満足派』は70.6%と約7割を占める。一方、「住みにくい」(2.6%)と「どちらかといえば住みにくい」(8.9%)を合わせた『不満派』は11.5%となっている。

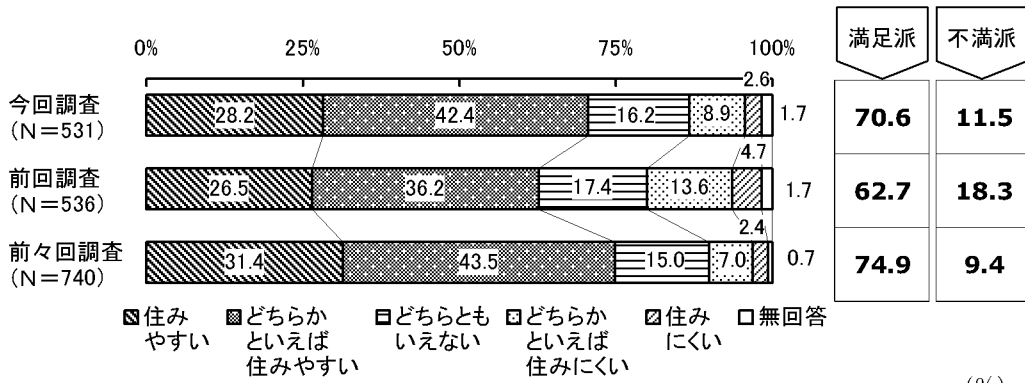
経年比較をみると『満足派』は前回調査では前々回調査に比べて10ポイント以上減少していたが、今回調査では7.9ポイント増加に転じている。

性別にみると、男性の方が女性に比べて『満足派』がやや多い。

年代別にみると、40歳代と60歳代で『満足派』が6割台と他の年代に比べて低くなっている。

小学校区別にみると水城西小学校区では『満足派』が81.3%と最も高い。反対に国分小学校区では63.5%と最も低くなっている。

問9. あなたは太宰府市が住みやすいまちだと思いますか。（○は1つ）



		標本数	住みやすい	やいどすえちいばら住かみと	いどえちならなとも	にいどくえちいばら住かみと	住みにくい	無回答	満足派	不満派
全体		531	28.2	42.4	16.2	8.9	2.6	1.7	70.6	11.5
性別	男性	225	30.7	41.8	16.0	8.9	1.8	0.9	72.5	10.7
	女性	298	26.2	42.6	16.8	9.1	3.4	2.0	68.8	12.5
	無回答	8	37.5	50.0	-	-	-	12.5	87.5	-
年代別	20歳代	57	38.6	40.4	12.3	7.0	1.8	-	79.0	8.8
	30歳代	86	29.1	48.8	16.3	3.5	2.3	-	77.9	5.8
	40歳代	73	15.1	47.9	13.7	13.7	6.8	2.7	63.0	20.5
	50歳代	97	28.9	41.2	15.5	9.3	2.1	3.1	70.1	11.4
	60歳代	136	28.7	38.2	19.9	8.1	2.2	2.9	66.9	10.3
	70歳以上	81	29.6	40.7	16.0	12.3	1.2	-	70.3	13.5
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	28.9	42.2	13.3	9.6	3.6	2.4	71.1	13.2
	太宰府東小学校区	54	31.5	48.1	13.0	7.4	-	-	79.6	7.4
	太宰府南小学校区	51	13.7	52.9	19.6	9.8	3.9	-	66.6	13.7
	水城西小学校区	63	33.3	33.3	20.6	7.9	1.6	3.2	66.6	9.5
	水城西小学校区	48	31.3	50.0	8.3	6.3	4.2	-	81.3	10.5
	太宰府西小学校区	92	25.0	39.1	16.3	12.0	3.3	4.3	64.1	15.3
	国分小学校区	74	32.4	31.1	21.6	10.8	2.7	1.4	63.5	13.5
	わからない	61	27.9	50.8	14.8	4.9	1.6	-	78.7	6.5
無回答	5	40.0	40.0	20.0	-	-	-	80.0	-	

2. 継続居住意向（問 10）

●「住み続けたい」（61.6%）が「住み続けたくない」（11.3%）を大きく上回っている。

太宰府市に今後も「住み続けたい」が61.6%で、「住み続けたくない」（11.3%）を大きく上回っている。

経年比較をみると、住みやすさと同様に「住み続けたい」は前回調査では前々回調査に比べて8.7ポイント減少していたが、今回調査では6.7ポイント増加に転じている。

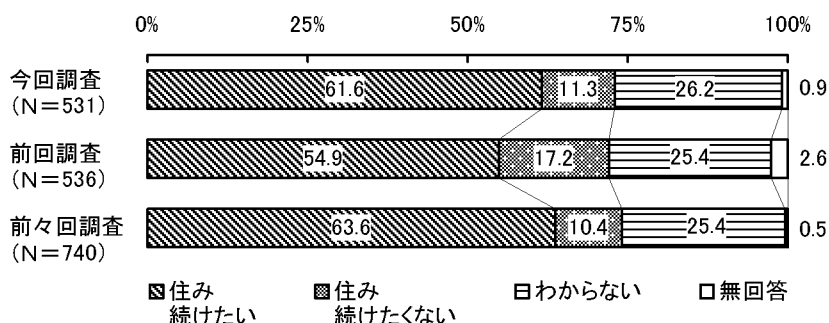
性別にみると、男性の方が継続居住意向は64.9%と女性（58.7%）よりも高い。

年代別にみると、継続居住意向は40歳代で52.1%と最も低く、その後年代が上がるにつれて高くなり、70歳以上では7割を超える。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区と太宰府小学校区で継続居住意向が65%を超えて高い。

住みやすさ別にみると、住みやすいと感じている人ほど継続居住意向は高く、住みやすい人では9割が「住み続けたい」と回答している。

問 10. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。（○は1つ）



		標本数	た住み続けたい (%)	た住み続けたくない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		531	61.6	11.3	26.2	0.9
性別	男性	225	64.9	10.2	23.6	1.3
	女性	298	58.7	12.4	28.2	0.7
	無回答	8	75.0	-	25.0	-
年代別	20歳代	57	59.6	19.3	19.3	1.8
	30歳代	86	60.5	8.1	31.4	-
	40歳代	73	52.1	15.1	32.9	-
	50歳代	97	55.7	12.4	30.9	1.0
	60歳代	136	62.5	11.0	25.0	1.5
	70歳以上	81	77.8	4.9	16.0	1.2
	無回答	1	100.0	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	65.1	13.3	20.5	1.2
	太宰府東小学校区	54	61.1	11.1	27.8	-
	太宰府南小学校区	51	66.7	11.8	21.6	-
	水城小学校区	63	58.7	9.5	30.2	1.6
	水城西小学校区	48	62.5	6.3	31.3	-
	太宰府西小学校区	92	62.0	8.7	28.3	1.1
	国分小学校区	74	58.1	14.9	25.7	1.4
	わからない	61	62.3	13.1	23.0	1.6
無回答	5	20.0	20.0	60.0	-	
住みやすさ別	住みやすい	150	90.0	-	10.0	-
	どちらかといえば住みやすい	225	67.1	3.6	28.0	1.3
	どちらともいえない	86	30.2	18.6	48.8	2.3
	どちらかといえば住みにくい	47	21.3	53.2	25.5	-
	住みにくい	14	7.1	57.1	35.7	-
無回答	9	44.4	33.3	22.2	-	

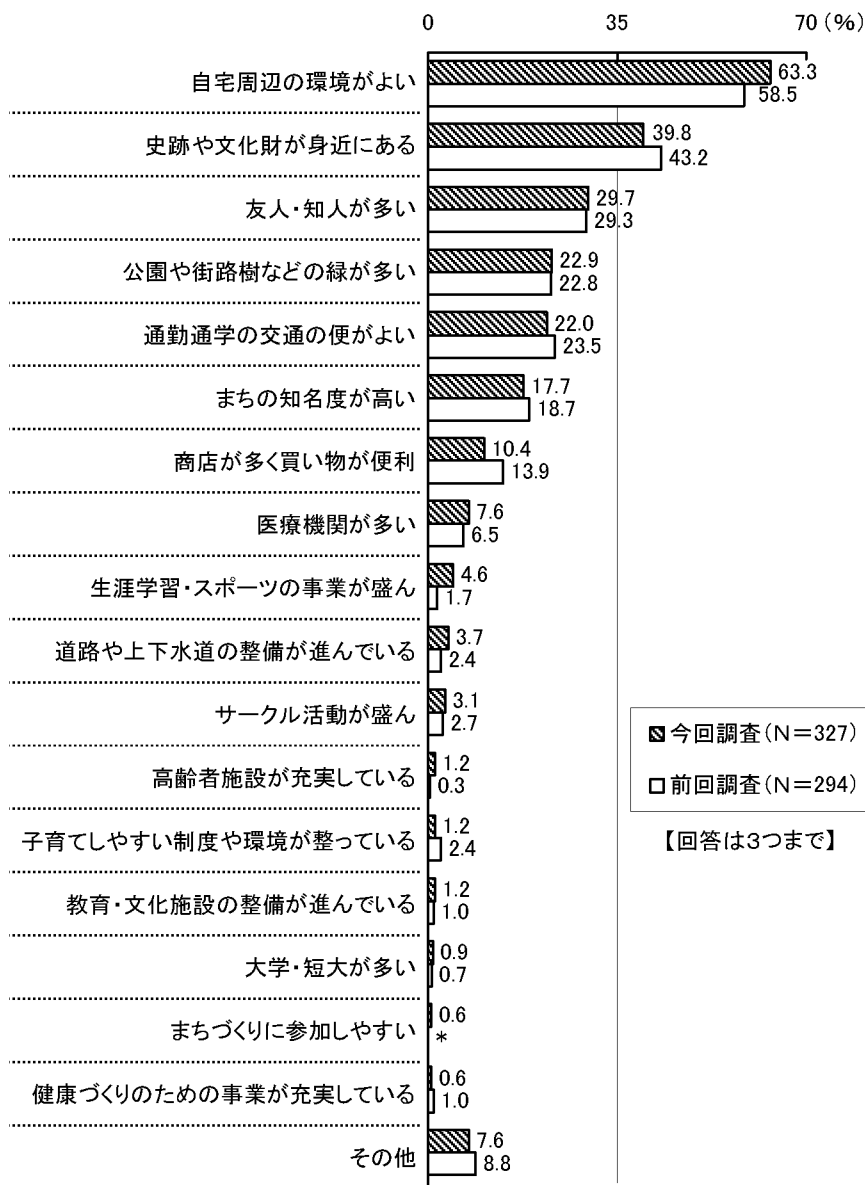
3. 住み続けたい理由（問 10 付問 1）

●住み続けたい理由は、第1位「自宅周辺の環境がよい」（63.3%）、第2位「史跡や文化財が身近にある」（39.8%）、第3位「友人・知人が多い」（29.7%）。

太宰府市に「住み続けたい」と回答した人（327人）の理由は「自宅周辺の環境がよい」が63.3%と最も高く、次いで「史跡や文化財が身近にある」39.8%、「友人・知人が多い」29.7%となっている。

前回調査と比べると、順位に大きな変化はないが、「自宅周辺の環境がよい」は前回調査よりも4.8ポイント増加しているが、「商店が多く買い物が便利」「史跡や文化財が身近にある」などは約3ポイント減少している。

問 10 付問1.【住み続けたいと答えた方に】におたずねします。「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。（○は3つまで）



* は前回調査ではなかった項目

性別にみると、男女とも「自宅周辺の環境がよい」が最も高いが、男性は「史跡や文化財が身近にある」「まちの知名度が高い」「通勤通学の交通の便がよい」などが女性よりも高く、女性は「友人・知人が多い」「公園や街路樹などの緑が多い」「商店が多く買い物が便利」などが男性よりも高い。

年代別にみると、「友人・知人が多い」は20歳代で61.8%と最も高く、その他の年代では「自宅周辺の環境がよい」が最も高くなっている。その他「史跡や文化財が身近にある」は60歳以上で、「通勤通学の交通の便がよい」は50歳代以下での評価が高い。また「公園や街路樹などの緑が多い」は50歳代と70歳以上を除いた年代での評価が高い。

小学校区別にみると、いずれの校区も「自宅周辺の環境がよい」が最も高いが、特に太宰府西と水城小学校区で7割を超えて高い。「史跡や文化財が身近にある」「公園や街路樹などの緑が多い」は国分と水城小学校区で、また「通勤通学の交通の便がよい」は水城西と水城、太宰府小学校区で3割前後と他の校区に比べて高い。

(%)

	標本数	友人・知人が多い	自宅周辺の環境がよい	サークル活動が盛ん	すまじづくりに参加しやすい	ある史跡や文化財が身近にある	まちの知名度が高い	大学・短大が多い	よい通勤通学の交通の便が	利商店が多く買い物が便利	生涯学習・スポーツの施設が充実している	高齢者施設が充実している	子育てしやすい制度や環境が整っている	医療機関が多い	教育・文化施設の整備が進んでいる	健康づくりのための事業が充実している	道路や上下水道の整備が進んでいる	公園や街路樹などの緑が多い	その他	無回答
全体	327 100.0	97 29.7	207 63.3	10 3.1	2 0.6	130 39.8	58 17.7	3 0.9	72 22.0	34 10.4	15 4.6	4 1.2	4 1.2	25 7.6	4 1.2	2 0.6	12 3.7	75 22.9	25 7.6	1 0.3
性別																				
男性	146	20.5	65.8	0.7	-	43.8	24.0	-	24.7	7.5	3.4	0.7	1.4	5.5	1.4	-	3.4	17.8	11.0	-
女性	175	36.6	61.1	4.6	1.1	37.1	12.6	1.7	20.0	13.1	5.1	1.7	1.1	9.1	1.1	1.1	4.0	27.4	5.1	0.6
無回答	6	50.0	66.7	16.7	-	16.7	16.7	-	16.7	-	16.7	-	-	16.7	-	-	-	16.7	-	-
年代別																				
20歳代	34	61.8	52.9	2.9	2.9	26.5	26.5	-	32.4	8.8	-	-	2.9	-	-	-	-	32.4	2.9	-
30歳代	52	32.7	69.2	-	-	26.9	11.5	1.9	32.7	7.7	-	1.9	1.9	5.8	1.9	1.9	3.8	25.0	5.8	-
40歳代	38	21.1	63.2	-	-	36.8	7.9	2.6	26.3	7.9	5.3	-	-	-	-	-	2.6	26.3	13.2	-
50歳代	54	37.0	59.3	3.7	-	31.5	9.3	-	27.8	9.3	5.6	-	1.9	9.3	3.7	1.9	-	18.5	5.6	-
60歳代	85	20.0	67.1	5.9	1.2	52.9	17.6	1.2	12.9	14.1	7.1	-	1.2	7.1	1.2	-	4.7	27.1	12.9	-
70歳以上	63	22.2	61.9	3.2	-	47.6	31.7	-	11.1	11.1	6.3	4.8	-	17.5	-	-	7.9	12.7	3.2	1.6
無回答	1	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別																				
太宰府小学校区	54	48.1	51.9	5.6	-	38.9	14.8	1.9	29.6	5.6	7.4	-	-	7.4	1.9	1.9	3.7	16.7	5.6	-
太宰府東小学校区	33	30.3	63.6	3.0	3.0	45.5	27.3	6.1	21.2	6.1	3.0	3.0	-	12.1	-	-	9.1	15.2	3.0	-
太宰府南小学校区	34	35.3	50.0	5.9	-	38.2	17.6	-	11.8	5.9	8.8	-	-	8.8	-	-	2.9	11.8	11.8	2.9
水城小学校区	37	16.2	73.0	-	2.7	51.4	27.0	-	29.7	2.7	2.7	-	-	-	-	-	-	32.4	8.1	-
水城西小学校区	30	36.7	60.0	-	-	33.3	26.7	-	33.3	16.7	6.7	-	-	10.0	3.3	-	3.3	16.7	6.7	-
太宰府西小学校区	57	35.1	78.9	1.8	-	22.8	14.0	-	14.0	21.1	5.3	-	-	8.8	1.8	-	5.3	15.8	3.5	-
国分小学校区	43	11.6	67.4	-	-	62.8	16.3	-	11.6	4.7	2.3	2.3	4.7	7.0	-	2.3	4.7	39.5	14.0	-
わからない	38	18.4	55.3	7.9	-	31.6	5.3	-	28.9	18.4	-	2.6	5.3	7.9	-	-	-	36.8	10.5	-
無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

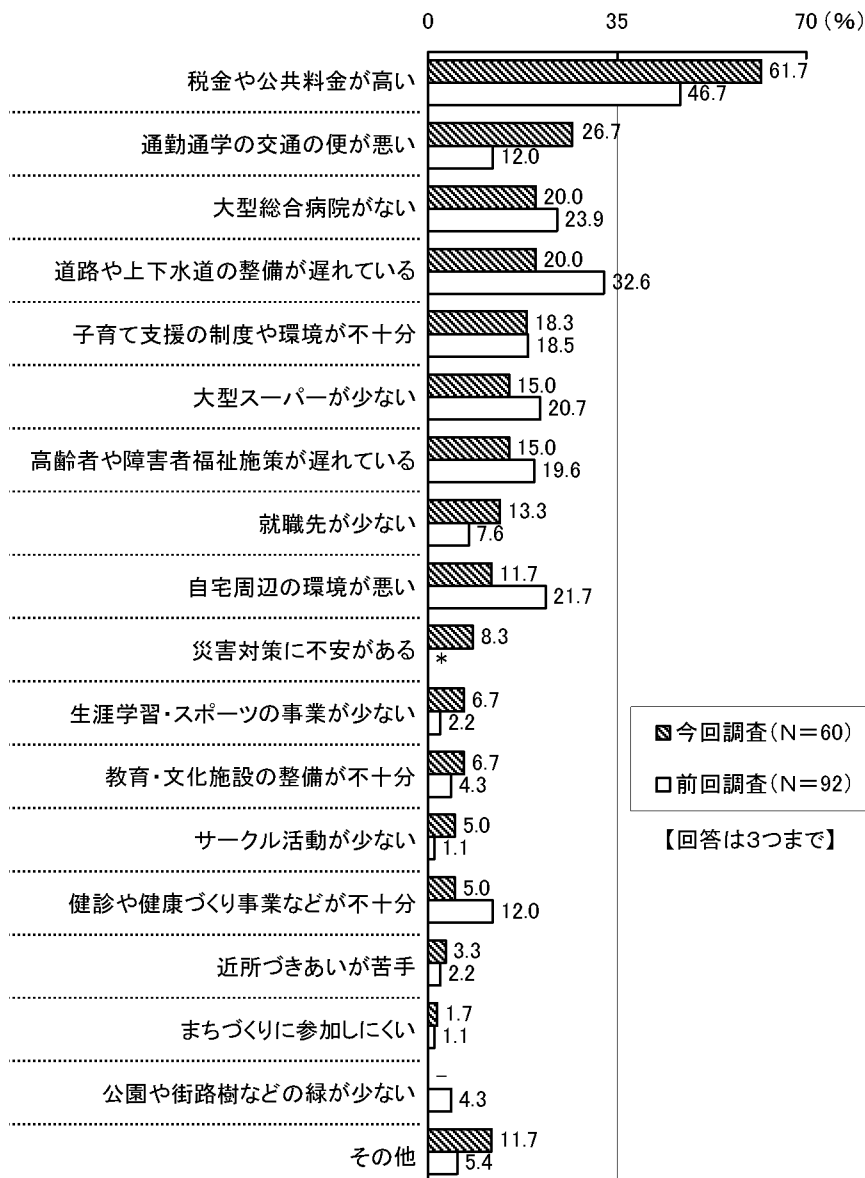
4. 住み続けたくない理由（問 10 付問 2）

●住み続けたくない理由は、第1位「税金や公共料金が高い」（61.7%）、第2位「通勤通学の交通の便が悪い」（26.7%）。

太宰府市に住み続けたくないと回答した人（60人）の理由をみると、「税金や公共料金が高い」が61.7%で際立って高く、以下「通勤通学の交通の便が悪い」（26.7%）、「大型総合病院がない」（20.0%）、「道路や上下水道の整備が遅れている」（20.0%）と続いている。

前回調査と比べると、「道路や上下水道の整備が遅れている」「自宅周辺の環境が悪い」などは約10ポイント減少しているが、「公共料金が高い」「通勤通学の交通の便が悪い」は約15ポイント増加している。

問 10 付問2.【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。（○は3つまで）



* は前回調査ではなかった項目

第3節 日頃の暮らし、行動について

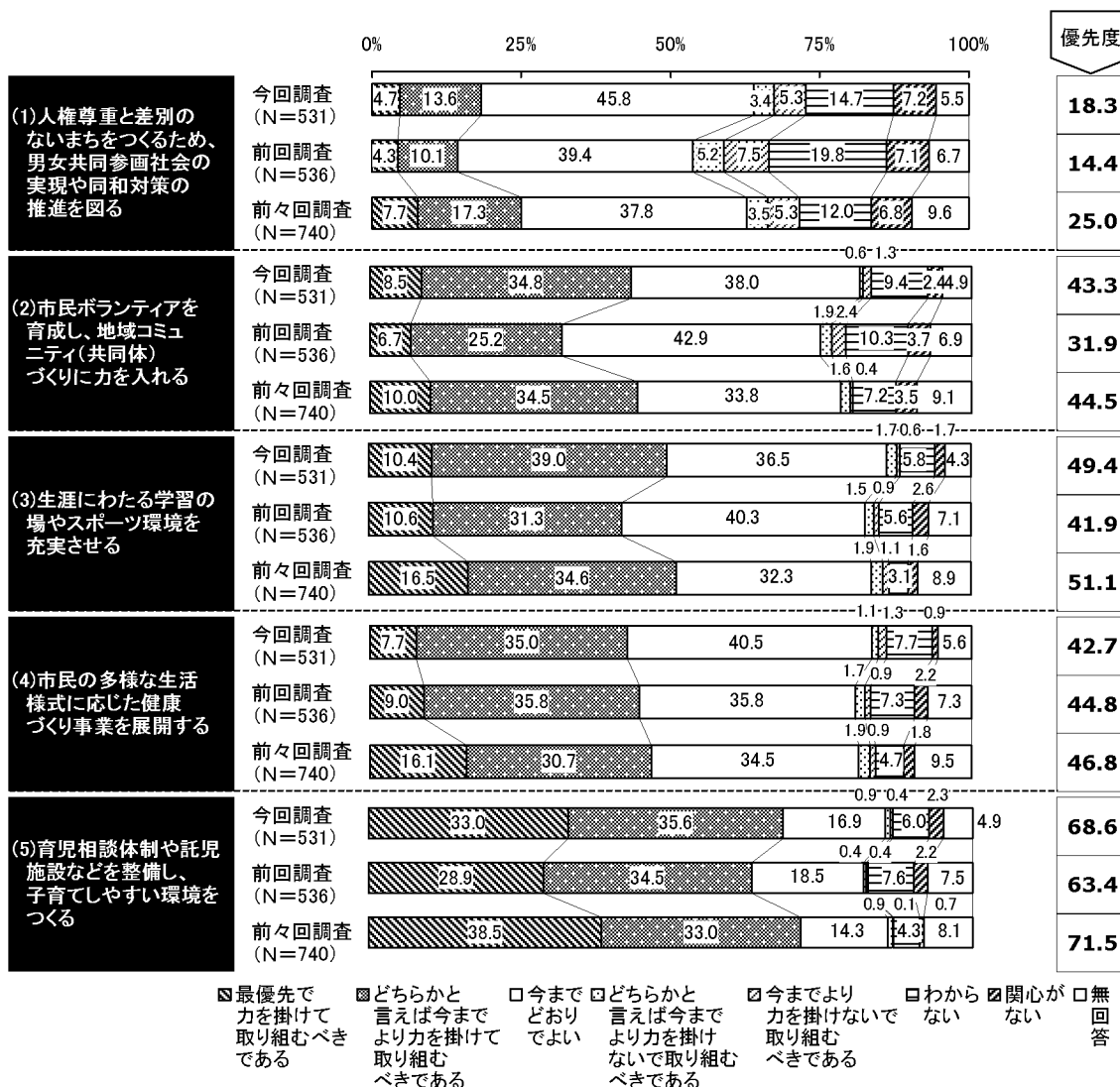
1. 総合計画後期基本計画の施策に対する考え方（問11）

●「(7)事故や災害、犯罪のない、安心して生活できるまちづくりを進める」に対する優先度が最も高い。

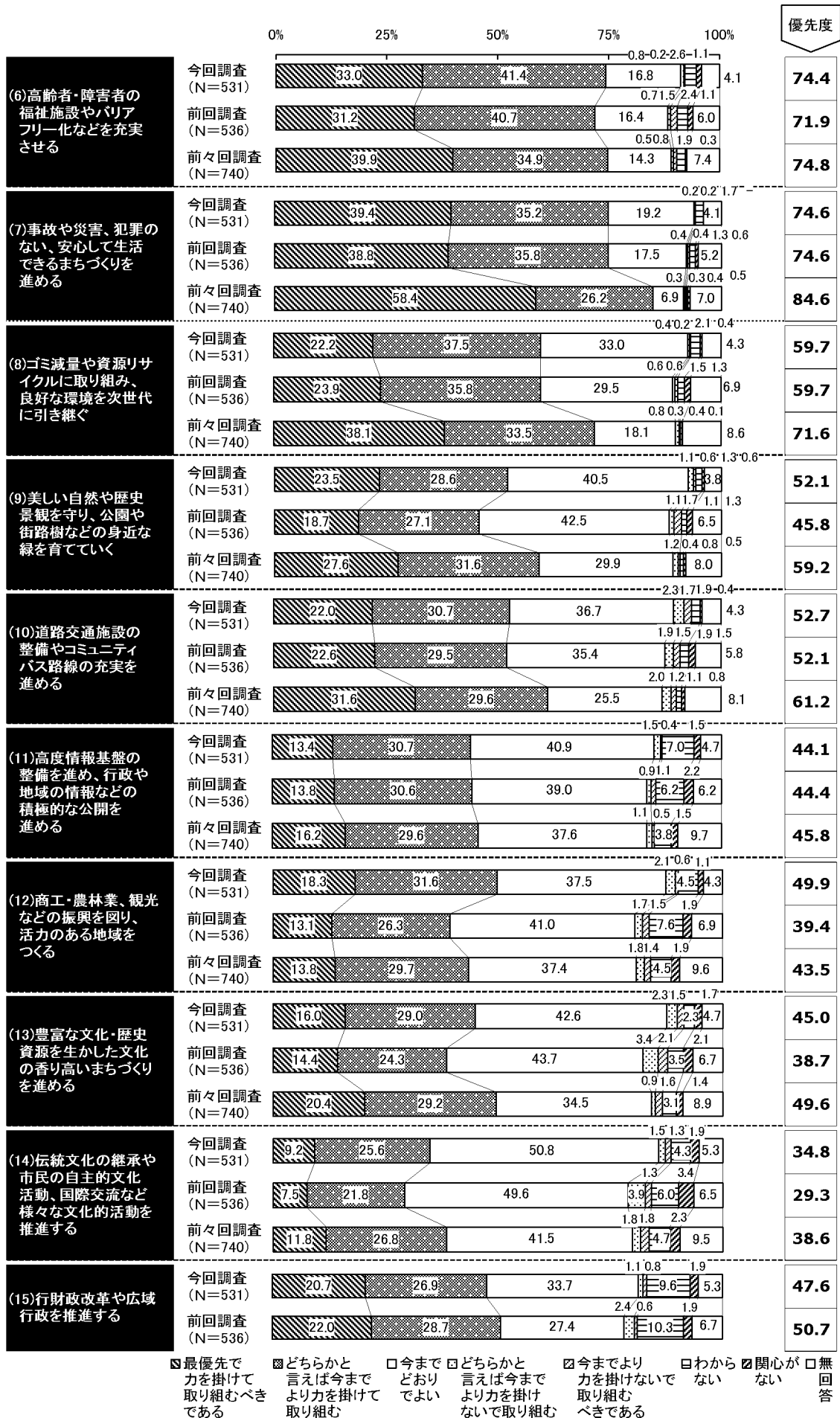
総合計画後期基本計画の施策に掲げた項目への取り組みについて、「最優先で力を掛けて取り組むべきである」との回答が最も多いのは「(7)事故や災害、犯罪のない、安心して生活できるまちづくりを進める」(39.4%)であり、「(5)育児相談体制や託児施設などを整備し、子育てしやすい環境をつくる」(33.0%)と「(6)高齢者・障害者の福祉施設やバリアフリー化などを充実させる」(33.0%)が続く。この3施策は「どちらかと言えば今までより力を掛けて取り組むべきである」の割合を合わせると7割前後となり優先度は高い。

経年比較でみると、ほとんどの項目で、前回調査の優先度の割合は前々回調査に比べると減少しているが、今回調査では増加に転じている。

問 11. あなたは第四次太宰府市総合計画後期基本計画に掲げた次の項目について、今後どのように取り組むべきだと思いますか。(〇はあてはまる番号をそれぞれ1つずつ)



第2章 調査結果の分析



性別にみると、「(13)豊富な文化・歴史資源を生かした文化の香り高いまちづくりを進める」「(15)行財政改革や広域行政を推進する」など男性の方が優先度の割合が高い項目が多い。

年代別にみると「(5)育児相談体制や託児施設などを整備し、子育てしやすい環境をつくる」「(3)生涯にわたる学習の場やスポーツ環境を充実させる」などは年代が低い層での優先度が高く、反対に「(13)豊富な文化・歴史資源を生かした文化の香り高いまちづくりを進める」「(15)行財政改革や広域行政を推進する」などは年代が高い層での優先度が高い。

(%)

	標本数	(1)人権尊重と差別のないまちをつくるため、男女共同参画社会の実現や同和対策の推進を図る			(2)市民ボランティアを育成し、地域コミュニティ(共同体)づくりに力を入れる			(3)生涯にわたる学習の場やスポーツ環境を充実させる			(4)市民の多様な生活様式に応じた健康づくり事業を展開する		
		ある	最優先で取り組むべきである	どちらかと言えどもより力を掛けてあげて	優先度	ある	最優先で取り組むべきである	どちらかと言えどもより力を掛けてあげて	優先度	ある	最優先で取り組むべきである	どちらかと言えどもより力を掛けてあげて	優先度
全体	531 100.0	25 4.7	72 13.6	97 18.3	45 8.5	185 34.8	230 43.3	55 10.4	207 39.0	262 49.4	41 7.7	186 35.0	227 42.7
性別													
男性	225	5.3	12.0	17.3	11.1	37.3	48.4	13.3	38.2	51.5	9.3	37.8	47.1
女性	298	4.0	14.8	18.8	6.4	33.9	40.3	7.7	40.3	48.0	6.7	33.2	39.9
無回答	8	12.5	12.5	25.0	12.5	-	12.5	25.0	12.5	37.5	-	25.0	25.0
年代別													
20歳代	57	5.3	22.8	28.1	10.5	40.4	50.9	17.5	47.4	64.9	8.8	38.6	47.4
30歳代	86	7.0	14.0	21.0	5.8	27.9	33.7	12.8	34.9	47.7	5.8	32.6	38.4
40歳代	73	6.8	17.8	24.6	5.5	32.9	38.4	6.8	41.1	47.9	4.1	30.1	34.2
50歳代	97	3.1	16.5	19.6	8.2	36.1	44.3	8.2	43.3	51.5	8.2	42.3	50.5
60歳代	136	4.4	8.8	13.2	10.3	37.5	47.8	11.0	36.8	47.8	8.8	35.3	44.1
70歳以上	81	2.5	7.4	9.9	9.9	33.3	43.2	7.4	33.3	40.7	9.9	30.9	40.8
無回答	1	-	-	-	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-
小学校区別													
太宰府小学校区	83	4.8	20.5	25.3	9.6	41.0	50.6	9.6	42.2	51.8	7.2	38.6	45.8
太宰府東小学校区	54	7.4	11.1	18.5	3.7	42.6	46.3	13.0	37.0	50.0	9.3	35.2	44.5
太宰府南小学校区	51	2.0	3.9	5.9	5.9	33.3	39.2	9.8	35.3	45.1	5.9	33.3	39.2
水城小学校区	63	6.3	12.7	19.0	11.1	38.1	49.2	12.7	38.1	50.8	7.9	34.9	42.8
水城西小学校区	48	4.2	10.4	14.6	8.3	25.0	33.3	6.3	41.7	48.0	6.3	27.1	33.4
太宰府西小学校区	92	4.3	18.5	22.8	12.0	34.8	46.8	9.8	42.4	52.2	10.9	40.2	51.1
国分小学校区	74	4.1	8.1	12.2	8.1	28.4	36.5	10.8	41.9	52.7	5.4	35.1	40.5
わからない	61	4.9	16.4	21.3	6.6	34.4	41.0	11.5	29.5	41.0	8.2	32.8	41.0
無回答	5	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	40.0	40.0	-	-	-
		(5)育児相談体制や託児施設などを整備し、子育てしやすい環境をつくる			(6)高齢者・障害者の福祉施設やバリアフリー化などを充実させる			(7)事故や災害、犯罪のない、安心して生活できるまちづくりを進める			(8)ゴミ減量や資源リサイクルに取り組み、良好な環境を次世代に引き継ぐ		
	標本数	ある	最優先で取り組むべきである	どちらかと言えどもより力を掛けてあげて	優先度	ある	最優先で取り組むべきである	どちらかと言えどもより力を掛けてあげて	優先度	ある	最優先で取り組むべきである	どちらかと言えどもより力を掛けてあげて	優先度
全体	531 100.0	175 33.0	189 35.6	364 68.6	175 33.0	220 41.4	395 74.4	209 39.4	187 35.2	396 74.6	118 22.2	199 37.5	317 59.7
性別													
男性	225	34.7	31.1	65.8	33.8	38.2	72.0	32.9	38.2	71.1	17.8	40.9	58.7
女性	298	32.2	39.3	71.5	33.2	43.6	76.8	44.0	33.6	77.6	25.8	35.6	61.4
無回答	8	12.5	25.0	37.5	-	50.0	50.0	50.0	12.5	62.5	12.5	12.5	25.0
年代別													
20歳代	57	57.9	33.3	91.2	43.9	36.8	80.7	47.4	31.6	79.0	26.3	33.3	59.6
30歳代	86	55.8	25.6	81.4	29.1	43.0	72.1	43.0	30.2	73.2	27.9	30.2	58.1
40歳代	73	31.5	37.0	68.5	26.0	49.3	75.3	34.2	42.5	76.7	26.0	28.8	54.8
50歳代	97	23.7	44.3	68.0	37.1	33.0	70.1	37.1	40.2	77.3	20.6	40.2	60.8
60歳代	136	22.1	36.0	58.1	33.8	42.6	76.4	41.2	34.6	75.8	19.9	45.6	65.5
70歳以上	81	21.0	35.8	56.8	29.6	43.2	72.8	34.6	32.1	66.7	16.0	39.5	55.5
無回答	1	100.0	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-
小学校区別													
太宰府小学校区	83	38.6	36.1	74.7	34.9	45.8	80.7	47.0	31.3	78.3	25.3	44.6	69.9
太宰府東小学校区	54	35.2	37.0	72.2	27.8	40.7	68.5	44.4	29.6	74.0	18.5	44.4	62.9
太宰府南小学校区	51	21.6	33.3	54.9	33.3	35.3	68.6	39.2	35.3	74.5	21.6	45.1	66.7
水城小学校区	63	36.5	30.2	66.7	36.5	39.7	76.2	38.1	36.5	74.6	23.8	36.5	60.3
水城西小学校区	48	27.1	39.6	66.7	14.6	54.2	68.8	33.3	39.6	72.9	16.7	35.4	52.1
太宰府西小学校区	92	34.8	31.5	66.3	39.1	39.1	78.2	34.8	33.7	68.5	18.5	38.0	56.5
国分小学校区	74	32.4	47.3	79.7	36.5	39.2	75.7	36.5	47.3	83.8	31.1	36.5	67.6
わからない	61	32.8	31.1	63.9	34.4	39.3	73.7	44.3	29.5	73.8	21.3	19.7	41.0
無回答	5	20.0	20.0	40.0	-	40.0	40.0	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0

第2章 調査結果の分析

(%)

	標本数	(9)美しい自然や歴史景観を守り、公園や街路樹などの身近な緑を育てていく			(10)道路交通施設の整備やコミュニティバス路線の充実を進める			(11)高度情報基盤の整備を進め、行政や地域の情報などの積極的な公開を進める			(12)商工・農林業、観光などの振興を図り、活力のある地域をつくる			
		ある	最優先で取り組むべきである	どちらかと言えれば今	優先度	ある	最優先で取り組むべきである	どちらかと言えれば今	優先度	ある	最優先で取り組むべきである	どちらかと言えれば今	優先度	
全体	531 100.0	125 23.5	152 28.6	277 52.1	117 22.0	163 30.7	280 52.7	71 13.4	163 30.7	234 44.1	97 18.3	168 31.6	265 49.9	
性別														
男性	225	24.4	30.2	54.6	17.8	30.2	48.0	16.4	31.6	48.0	22.7	32.4	55.1	
女性	298	23.5	27.2	50.7	25.5	30.9	56.4	11.4	30.5	41.9	15.4	31.5	46.9	
無回答	8	-	37.5	37.5	12.5	37.5	50.0	-	12.5	12.5	-	12.5	12.5	
年代別														
20歳代	57	33.3	22.8	56.1	19.3	21.1	40.4	14.0	21.1	35.1	19.3	33.3	52.6	
30歳代	86	23.3	23.3	46.6	20.9	29.1	50.0	12.8	15.1	27.9	12.8	25.6	38.4	
40歳代	73	27.4	21.9	49.3	26.0	28.8	54.8	20.5	30.1	50.6	26.0	35.6	61.6	
50歳代	97	19.6	32.0	51.6	19.6	35.1	54.7	8.2	43.3	51.5	12.4	36.1	48.5	
60歳代	136	25.0	33.8	58.8	25.0	30.1	55.1	11.8	33.1	44.9	21.3	32.4	53.7	
70歳以上	81	16.0	32.1	48.1	19.8	35.8	55.6	16.0	35.8	51.8	18.5	27.2	45.7	
無回答	1	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	
小学校区別														
太宰府小学校区	83	30.1	26.5	56.6	28.9	33.7	62.6	10.8	30.1	40.9	16.9	41.0	57.9	
太宰府東小学校区	54	24.1	38.9	63.0	20.4	31.5	51.9	14.8	33.3	48.1	14.8	35.2	50.0	
太宰府南小学校区	51	27.5	23.5	51.0	19.6	25.5	45.1	13.7	35.3	49.0	17.6	27.5	45.1	
水城小学校区	63	28.6	34.9	63.5	22.2	28.6	50.8	12.7	27.0	39.7	23.8	28.6	52.4	
水城西小学校区	48	12.5	33.3	45.8	14.6	29.2	43.8	10.4	27.1	37.5	12.5	33.3	45.8	
太宰府西小学校区	92	19.6	26.1	45.7	22.8	35.9	58.7	14.1	26.1	40.2	23.9	22.8	46.7	
国分小学校区	74	23.0	31.1	54.1	20.3	35.1	55.4	12.2	43.2	55.4	18.9	35.1	54.0	
わからない	61	21.3	19.7	41.0	24.6	21.3	45.9	19.7	24.6	44.3	14.8	31.1	45.9	
無回答	5	20.0	-	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0	
	標本数	(13)豊富な文化・歴史資源を生かした文化の香り高いまちづくりを進める			(14)伝統文化の継承や市民の自主的文化活動、国際交流など様々な文化的活動を推進する			(15)行財政改革や広域行政を推進する						
		ある	最優先で取り組むべきである	どちらかと言えれば今	優先度	ある	最優先で取り組むべきである	どちらかと言えれば今	優先度	ある	最優先で取り組むべきである	どちらかと言えれば今	優先度	
全体	531 100.0	85 16.0	154 29.0	239 45.0	49 9.2	136 25.6	185 34.8	110 20.7	143 26.9	253 47.6				
性別														
男性	225	21.8	32.9	54.7	12.0	28.4	40.4	29.3	26.2	55.5				
女性	298	11.7	26.5	38.2	7.4	23.8	31.2	14.8	27.9	42.7				
無回答	8	12.5	12.5	25.0	-	12.5	12.5	-	12.5	12.5				
年代別														
20歳代	57	17.5	24.6	42.1	5.3	33.3	38.6	12.3	22.8	35.1				
30歳代	86	9.3	18.6	27.9	7.0	16.3	23.3	11.6	26.7	38.3				
40歳代	73	21.9	24.7	46.6	16.4	15.1	31.5	24.7	17.8	42.5				
50歳代	97	9.3	30.9	40.2	5.2	27.8	33.0	18.6	34.0	52.6				
60歳代	136	19.1	35.3	54.4	14.0	28.7	42.7	26.5	26.5	53.0				
70歳以上	81	19.8	33.3	53.1	4.9	30.9	35.8	25.9	30.9	56.8				
無回答	1	-	100.0	100.0	-	100.0	100.0	-	-	-				
小学校区別														
太宰府小学校区	83	13.3	36.1	49.4	9.6	28.9	38.5	22.9	26.5	49.4				
太宰府東小学校区	54	16.7	33.3	50.0	9.3	29.6	38.9	25.9	24.1	50.0				
太宰府南小学校区	51	21.6	17.6	39.2	9.8	17.6	27.4	21.6	33.3	54.9				
水城小学校区	63	25.4	23.8	49.2	14.3	28.6	42.9	20.6	23.8	44.4				
水城西小学校区	48	4.2	33.3	37.5	6.3	27.1	33.4	14.6	25.0	39.6				
太宰府西小学校区	92	10.9	30.4	41.3	8.7	26.1	34.8	23.9	29.3	53.2				
国分小学校区	74	16.2	35.1	51.3	5.4	23.0	28.4	16.2	36.5	52.7				
わからない	61	23.0	19.7	42.7	11.5	24.6	36.1	19.7	14.8	34.5				
無回答	5	-	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0				

2. 人権の尊重と同和対策の充実

(1) 人権問題への認識 (問12)

●全体では 80.3%の人は人権が『尊重されている』と感じているが、『尊重されていない』と感じている人も 8.4%いる。

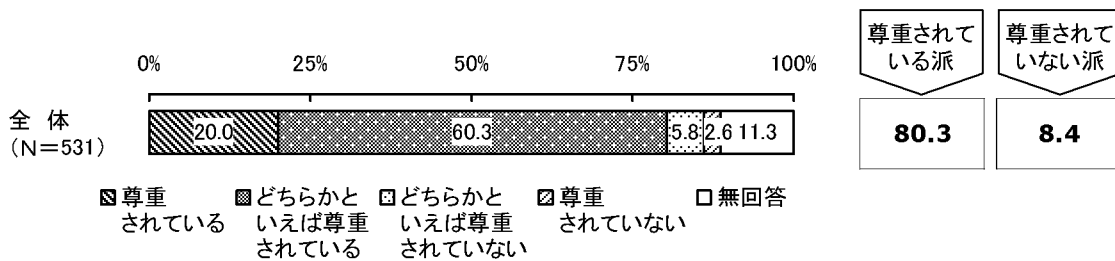
同和問題をはじめ、あらゆる人権が「尊重されている」が 20.0%、「どちらかといえば尊重されている」が 60.3%で、これらを合わせると 80.3%の人が、『尊重されている派』となっている。「どちらかといえば尊重されていない」(5.8%)と「尊重されていない」(2.6%)を合わせた『尊重されていない派』は 8.4%である。

性別で見ると、『尊重されている派』は男性(82.7%)の方が女性(78.2%)よりもやや多い。

年代別にみると、『尊重されている派』が70歳以上と20歳代、30歳代で8割を超えるなど高いが、『尊重されていない派』も20歳代と40歳代で他の年代よりもやや高い。

小学校区別では、太宰府小学校区、水城小学校区、水城西小学校で『尊重されていない派』が他校区よりもやや高くなっている。

問12. あなたは今の太宰府市では同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	尊重されている (%)	どちらかといえば尊重されている (%)	どちらかといえば尊重されていない (%)	尊重されていない (%)	無回答 (%)	尊重されている派 (%)	尊重されていない派 (%)
全体		531	20.0	60.3	5.8	2.6	11.3	80.3	8.4
性別	男性	225	24.9	57.8	4.0	3.1	10.2	82.7	7.1
	女性	298	15.8	62.4	7.4	2.3	12.1	78.2	9.7
	無回答	8	37.5	50.0	-	-	12.5	87.5	-
年代別	20歳代	57	21.1	61.4	8.8	5.3	3.5	82.5	14.1
	30歳代	86	19.8	64.0	4.7	2.3	9.3	83.8	7.0
	40歳代	73	17.8	57.5	9.6	4.1	11.0	75.3	13.7
	50歳代	97	13.4	63.9	6.2	3.1	13.4	77.3	9.3
	60歳代	136	21.3	58.1	4.4	0.7	15.4	79.4	5.1
	70歳以上	81	27.2	56.8	3.7	2.5	9.9	84.0	6.2
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	22.9	56.6	8.4	2.4	9.6	79.5	10.8
	太宰府東小学校区	54	22.2	66.7	1.9	-	9.3	88.9	1.9
	太宰府南小学校区	51	23.5	64.7	2.0	2.0	7.8	88.2	4.0
	水城小学校区	63	27.0	52.4	7.9	3.2	9.5	79.4	11.1
	水城西小学校区	48	18.8	56.3	6.3	4.2	14.6	75.1	10.5
	太宰府西小学校区	92	17.4	64.1	5.4	1.1	12.0	81.5	6.5
	国分小学校区	74	16.2	64.9	2.7	4.1	12.2	81.1	6.8
	わからない	61	14.8	55.7	11.5	4.9	13.1	70.5	16.4
	無回答	5	-	60.0	-	-	40.0	60.0	-

(2) 人権侵害の経験と内容 (問13、問13付問1)

●全体では、人権侵害の経験者は少ないが、経験者の内容としては「障害者の人権」の侵害が多い。

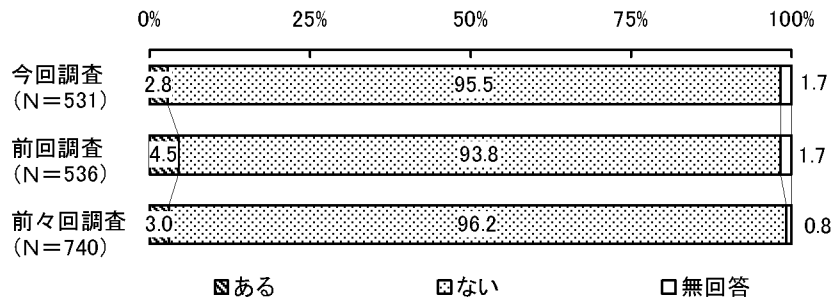
この1年間における人権侵害の経験についてみると、全体では、「ある」が2.8%、「ない」が95.5%であり、大半は経験したことがないと回答している。

経年比較でみると前回調査では「ある」がやや増加していたが、今回調査では前々回調査(3.0%)とほぼ同程度までに減少している。

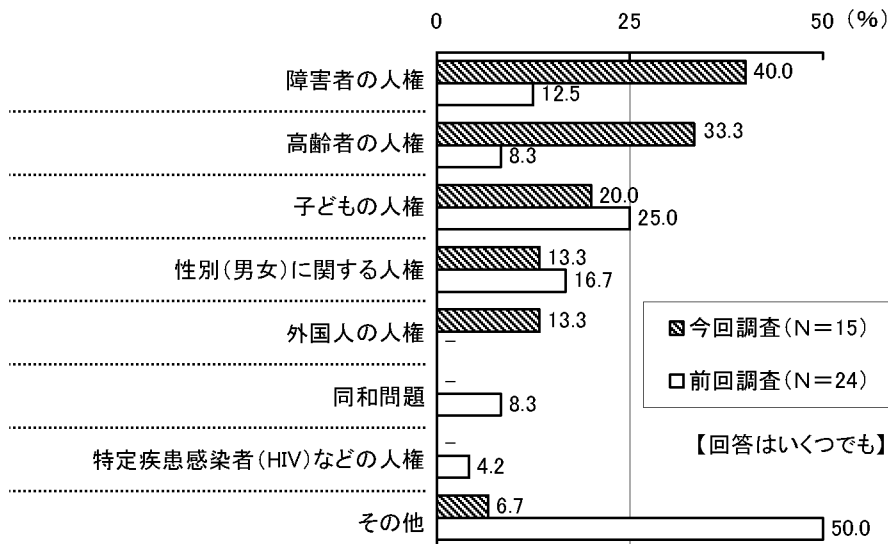
また、人権侵害を経験した人(15人)の内容をみると、「障害者の人権」(40.0%)の侵害が最も多く、次いで「高齢者の人権」(33.3%)となっている。

前回調査と比較すると「障害者の人権」「高齢者の人権」「外国人の人権」などの侵害が今回調査では高くなっている。

問13. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。



問13付問1. 【あると答えた方に】おたずねします。それはどのような人権侵害ですか。(〇はいくつでも)



(3) 同和地区に対する差別の認識 (問 14)

●全体では、「中世から封建時代にかけて社会的・政治的に作られた」が約4割を占めて最も多い。「わからない」「同和地区自体のことを知らない」を合わせると約3割を占める。

同和地区に対する差別の起源について、「中世から封建時代にかけて社会的・政治的に作られた」との回答が46.3%で最も多く、次いで「特定の仕事に従事していた」が11.3%となっている。なお、「わからない」は20.0%、「同和地区自体のことを知らない」は9.4%である。

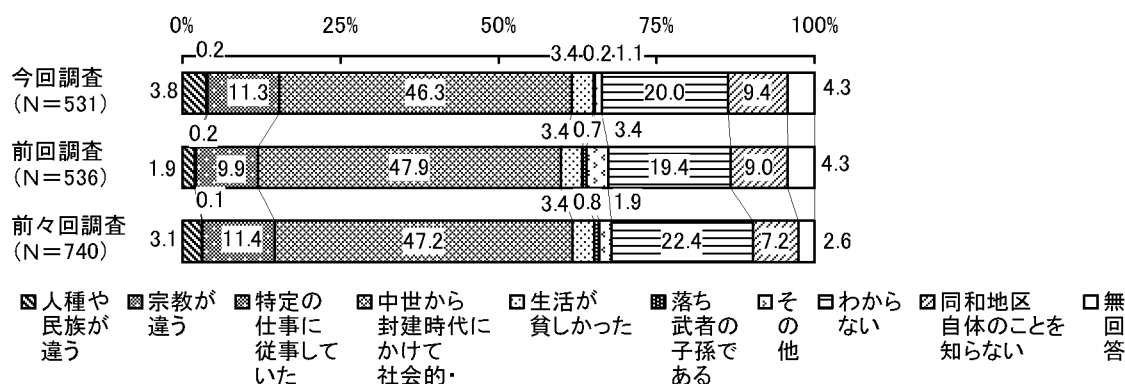
経年比較でみると、「同和地区自体のことを知らない」は増加傾向にある。

性別でみると、男性(16.4%)よりも女性(22.8%)の方が「わからない」がやや多い。

年代別でみると、40歳代と50歳代、70歳以上で「中世から封建時代にかけて社会的・政治的に作られた」と答える人が多い。

小学校区別でみると、国分小学校区で「特定の仕事に従事していた」(18.9%)と答えた人が他校区よりもやや多い。

問 14. あなたは「同和地区」(被差別部落)と、その人々に対する差別がどうしてできたと思いますか。次のどれが正しいと思われますか (○は1つ)



		標本数	違人種や民族が違う	宗教が違う	特定の仕事に従事していた	中世から封建時代にかけて社会的・政治的に作られた	生活が貧しかった	孫落ち武者の子	その他	わからない	同和地区自体のことを知らない	無回答
全体		531	20	1	60	246	18	1	6	106	50	23
性別		100.0	3.8	0.2	11.3	46.3	3.4	0.2	1.1	20.0	9.4	4.3
男	性	225	4.4	0.4	10.7	51.1	3.1	-	1.8	16.4	8.4	3.6
女	性	298	3.0	-	11.7	43.3	3.4	0.3	0.7	22.8	10.4	4.4
無回答		8	12.5	-	12.5	25.0	12.5	-	-	12.5	-	25.0
年代別												
20歳代		57	5.3	1.8	7.0	40.4	10.5	-	3.5	19.3	7.0	5.3
30歳代		86	3.5	-	9.3	39.5	7.0	-	2.3	23.3	10.5	4.7
40歳代		73	4.1	-	5.5	50.7	4.1	-	-	21.9	11.0	2.7
50歳代		97	4.1	-	15.5	48.5	1.0	-	-	16.5	11.3	3.1
60歳代		136	2.9	-	16.2	41.9	-	-	1.5	24.3	8.8	4.4
70歳以上		81	3.7	-	7.4	59.3	2.5	1.2	-	12.3	7.4	6.2
無回答		1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別												
太宰府小学校区		83	3.6	-	7.2	47.0	7.2	-	-	19.3	12.0	3.6
太宰府東小学校区		54	1.9	-	9.3	46.3	5.6	-	-	24.1	7.4	5.6
太宰府南小学校区		51	2.0	-	9.8	51.0	-	-	2.0	19.6	11.8	3.9
水城小学校区		63	4.8	-	11.1	47.6	3.2	-	3.2	19.0	3.2	7.9
水城西小学校区		48	4.2	2.1	8.3	52.1	2.1	-	4.2	18.8	6.3	2.1
太宰府西小学校区		92	3.3	-	14.1	51.1	2.2	1.1	-	17.4	9.8	1.1
国分小学校区		74	1.4	-	18.9	47.3	2.7	-	-	13.5	9.5	6.8
わからない		61	9.8	-	8.2	31.1	3.3	-	1.6	31.1	14.8	-
無回答		5	-	-	20.0	-	-	-	-	20.0	-	60.0

(4) 結婚を決めるときの家柄、血筋に対する考え方 (問15)

●全体では、「不合理だから、なくしていかなければならないと思う」が6割を占めるが、「当然のことと思う (いつも気にしている)」と回答する人も1割ほどみられる。

結婚を決めるときの家柄、血筋に対する考え方について、「不合理だから、なくしていかなければならないと思う」が62.5%で最も高く、「おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方ないと思う」が21.8%、「当然のことと思う (いつも気にしている)」が9.8%となっている。

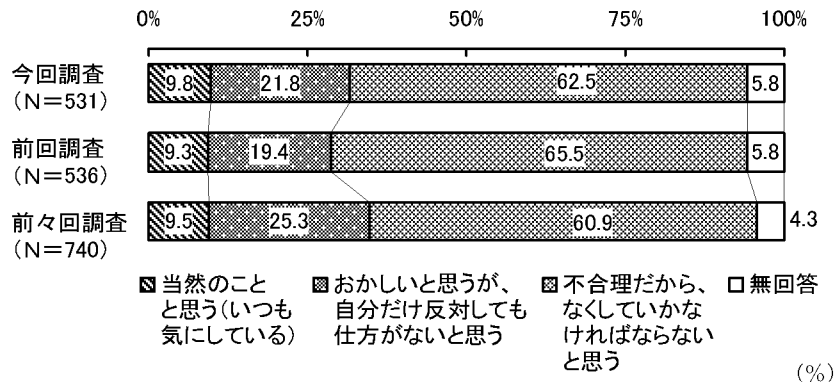
経年比較でみると、前回調査とあまり大きな変化はみられない。

性別でみると、「当然のことと思う (いつも気にしている)」は男性(12.9%)の方が女性(7.7%)よりも5.2ポイント高い。

年代別でみると、40歳代で「不合理だから、なくしていかなければならないと思う」が69.9%と最も多く、「当然のことと思う (いつも気にしている)」は60歳代、70歳以上で多い。

小学校区別でみると、「不合理だから、なくしていかなければならないと思う」は太宰府西小学校区(73.9%)で多く、「当然のことと思う (いつも気にしている)」は太宰府南小学校区(19.6%)で答える人が最も多くなっている。

問15. あなたは結婚を決めるときに、家柄とか血筋を問題にする風習についてどのように思いますか。(○は1つ)



		標本数	しう当 て(然 い の つこ も と 気 に 思 う)	な対が お し 、 か と て 自 し も 分 い う 仕 だ と 方 け 思 う が 反 う	とけな不 思れく合 うばし理 なてだ らいか なから いな	無 回 答
全体		531	9.8	21.8	62.5	5.8
性別	男性	225	12.9	20.9	61.3	4.9
	女性	298	7.7	22.1	63.8	6.4
	無回答	8	-	37.5	50.0	12.5
年代別	20歳代	57	7.0	24.6	63.2	5.3
	30歳代	86	8.1	25.6	61.6	4.7
	40歳代	73	9.6	17.8	69.9	2.7
	50歳代	97	6.2	24.7	63.9	5.2
	60歳代	136	11.0	18.4	61.0	9.6
	70歳以上	81	16.0	22.2	56.8	4.9
	無回答	1	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	9.6	19.3	68.7	2.4
	太宰府東小学校区	54	9.3	27.8	53.7	9.3
	太宰府南小学校区	51	19.6	13.7	60.8	5.9
	水城小学校区	63	11.1	14.3	68.3	6.3
	水城西小学校区	48	6.3	31.3	50.0	12.5
	太宰府西小学校区	92	6.5	18.5	73.9	1.1
	国分小学校区	74	13.5	21.6	58.1	6.8
	わからない	61	4.9	32.8	57.4	4.9
	無回答	5	-	20.0	40.0	40.0

3. バリアフリーの推進

(1) 公共施設の配慮に対する意識（問16）

●全体では、『肯定派』（48.8%）と『否定派』（49.1%）が拮抗している。

公共施設が高齢者・障害者に配慮されているかどうかについて、「そう思う」が9.4%、「ややそう思う」が39.4%と、これらを合わせた『肯定派』が48.8%と約5割を占めるものの、「あまりそう思わない」（39.9%）、「そう思わない」（9.2%）を合わせた『否定派』も49.1%と拮抗している。

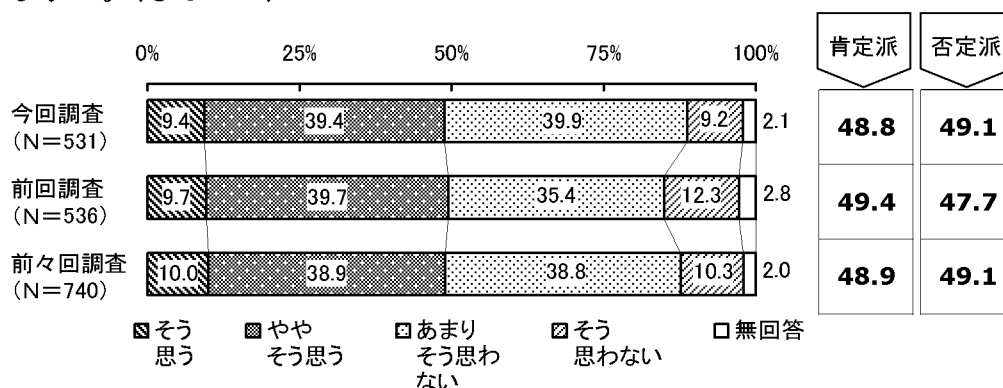
前回調査と比較すると、『否定派』のうち「そう思わない」が3.1ポイント減少しているものの、『肯定派』『否定派』の割合に大きな変化はみられない。

性別でみると、男性よりも女性の方が『否定派』が多く『肯定派』が少ない傾向がある。

年代別でみると、40歳代で『否定派』が57.5%と他の年代よりやや多い。

小学校区別でみると、太宰府東小学校区では『肯定派』が61.1%、水城小学校区で『否定派』が57.2%と他校区に比べて高い。

問16. あなたは市内の公共施設（駅、市役所等）が高齢者や障害者などに配慮されていると思いますか。（○は1つ）



(%)

		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		531	50	209	212	49	11	259	261
		100.0	9.4	39.4	39.9	9.2	2.1	48.8	49.1
性別	男性	225	9.3	43.1	38.2	8.0	1.3	52.4	46.2
	女性	298	9.4	36.2	41.9	10.4	2.0	45.6	52.3
	無回答	8	12.5	50.0	12.5	-	25.0	62.5	12.5
年代別	20歳代	57	10.5	40.4	36.8	10.5	1.8	50.9	47.3
	30歳代	86	10.5	39.5	40.7	7.0	2.3	50.0	47.7
	40歳代	73	8.2	32.9	45.2	12.3	1.4	41.1	57.5
	50歳代	97	5.2	41.2	45.4	8.2	-	46.4	53.6
	60歳代	136	11.8	37.5	36.8	10.3	3.7	49.3	47.1
	70歳以上	81	9.9	44.4	35.8	7.4	2.5	54.3	43.2
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	9.6	37.3	44.6	8.4	-	46.9	53.0
	太宰府東小学校区	54	20.4	40.7	27.8	5.6	5.6	61.1	33.4
	太宰府南小学校区	51	7.8	45.1	41.2	3.9	2.0	52.9	45.1
	水城小学校区	63	9.5	33.3	42.9	14.3	-	42.8	57.2
	水城西小学校区	48	4.2	54.2	33.3	6.3	2.1	58.4	39.6
	太宰府西小学校区	92	5.4	40.2	41.3	10.9	2.2	45.6	52.2
	国分小学校区	74	12.2	40.5	37.8	6.8	2.7	52.7	44.6
	わからない	61	8.2	29.5	45.9	16.4	-	37.7	62.3
	無回答	5	-	20.0	40.0	-	40.0	20.0	40.0

(2) 民間施設の配慮に対する意識 (問 17)

●全体では、『肯定派』(39.5%)を『否定派』(58.9%)が大きく上回り、公共施設に比べ『否定派』の割合が高い。

民間施設が高齢者・障害者に配慮されているかどうかについて、「そう思う」が5.6%、「ややそう思う」が33.9%と、これらを合わせた『肯定派』が39.5%、「あまりそう思わない」(49.5%)、「そう思わない」(9.4%)を合わせた『否定派』が58.9%であり、『否定派』が『肯定派』を19.4ポイント上回っている。

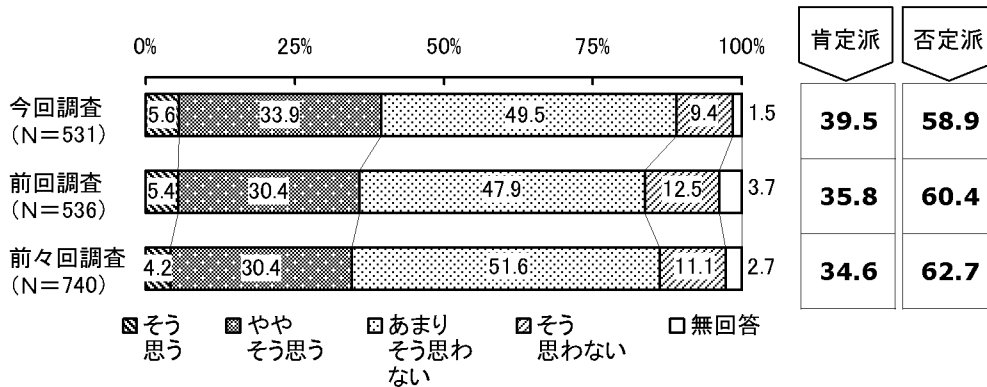
前回調査と比較すると『肯定派』が3.7ポイント増加している。

性別でみると、公共施設と同様に男性よりも女性の方が『否定派』が多く『肯定派』が少ない。

年代別でみると、30歳代で『肯定派』が47.6%と他の年代に比べて多い。

小学校区別でみると、水城西小学校区では『肯定派』が50.1%と他校区よりやや多い。

問 17. あなたは市内の民間施設（商業施設等）が高齢者や障害者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		531	30	180	263	50	8	210	313
		100.0	5.6	33.9	49.5	9.4	1.5	39.5	58.9
性別	男性	225	6.7	36.4	46.2	9.8	0.9	43.1	56.0
	女性	298	5.0	31.5	52.3	9.4	1.7	36.5	61.7
	無回答	8	-	50.0	37.5	-	12.5	50.0	37.5
年代別	20歳代	57	8.8	28.1	52.6	10.5	-	36.9	63.1
	30歳代	86	11.6	36.0	45.3	5.8	1.2	47.6	51.1
	40歳代	73	1.4	34.2	50.7	12.3	1.4	35.6	63.0
	50歳代	97	6.2	27.8	56.7	8.2	1.0	34.0	64.9
	60歳代	136	3.7	39.0	41.9	12.5	2.9	42.7	54.4
	70歳以上	81	3.7	34.6	54.3	6.2	1.2	38.3	60.5
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	7.2	32.5	50.6	8.4	1.2	39.7	59.0
	太宰府東小学校区	54	7.4	37.0	46.3	7.4	1.9	44.4	53.7
	太宰府南小学校区	51	-	37.3	52.9	7.8	2.0	37.3	60.7
	水城小学校区	63	6.3	30.2	47.6	15.9	-	36.5	63.5
	水城西小学校区	48	6.3	43.8	43.8	4.2	2.1	50.1	48.0
	太宰府西小学校区	92	6.5	29.3	52.2	10.9	1.1	35.8	63.1
	国分小学校区	74	6.8	37.8	47.3	5.4	2.7	44.6	52.7
	わからない	61	3.3	27.9	54.1	14.8	-	31.2	68.9
	無回答	5	-	40.0	40.0	-	20.0	40.0	40.0

4. 男女共同参画の推進

(1) 固定的役割分担に対する考え方（問18）

- 全体では、『同感派』が約4割、『非同感派』が約6割である。
- 女性に比べ男性は『同感派』が多い。

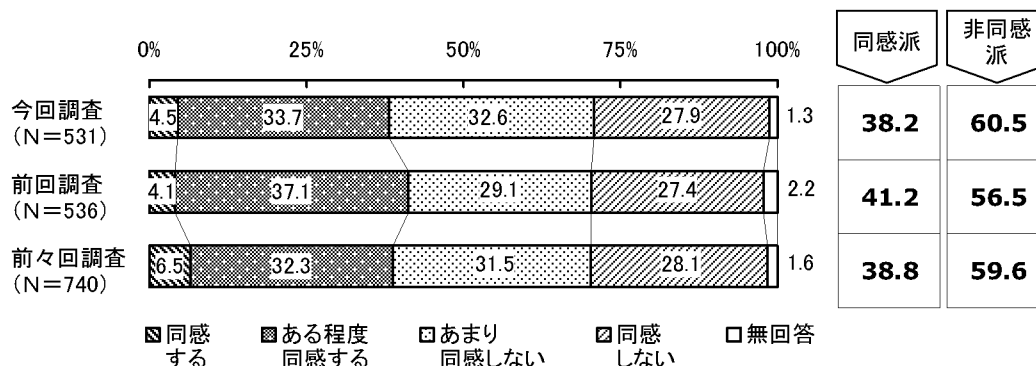
固定的役割分担に対する考え方について、「同感する」が4.5%、「ある程度同感する」が33.7%と、これらを合わせた『同感派』が38.2%で約4割を占める。一方、「あまり同感しない」(32.6%)、「同感しない」(27.9%)を合わせた『非同感派』は60.5%で約6割を占める。

経年比較でみると、『非同感派』は前回調査に比べて4ポイント増加している。

性・年代別でみると、『同感派』の割合は男性の方が女性に比べて高く、また男性の場合『同感派』は20歳代と70歳以上で高く、『非同感派』は40歳代と50歳代で高いという特徴がある。一方、女性の場合は『同感派』は年齢が高くなるほど、『非同感派』は年齢が低くなるほど割合が高くなるという傾向がみられる。

小学校区別でみると、太宰府小学校区で『非同感派』が73.5%と比較的多い。

問18. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。（○は1つ）



		標本数	同感する (%)	ある程度同感する (%)	あまり同感しない (%)	同感しない (%)	無回答 (%)	同意派 (%)	非同感派 (%)
全体		531	4.5	33.7	32.6	27.9	1.3	38.2	60.5
性別×年代別	男性:20歳代	21	4.8	47.6	23.8	23.8	-	52.4	47.6
	男性:30歳代	28	7.1	35.7	17.9	39.3	-	42.8	57.2
	男性:40歳代	26	-	30.8	34.6	34.6	-	30.8	69.2
	男性:50歳代	44	6.8	27.3	45.5	20.5	-	34.1	66.0
	男性:60歳代	66	4.5	36.4	33.3	24.2	1.5	40.9	57.5
	男性:70歳以上	39	17.9	41.0	15.4	25.6	-	58.9	41.0
	女性:20歳代	36	8.3	13.9	36.1	41.7	-	22.2	77.8
	女性:30歳代	57	-	35.1	40.4	24.6	-	35.1	65.0
	女性:40歳代	47	4.3	27.7	40.4	27.7	-	32.0	68.1
	女性:50歳代	51	2.0	29.4	25.5	43.1	-	31.4	68.6
	女性:60歳代	69	2.9	36.2	29.0	27.5	4.3	39.1	56.5
	女性:70歳以上	38	-	44.7	42.1	7.9	5.3	44.7	50.0
無回答	9	-	44.4	22.2	22.2	11.1	44.4	44.4	
小学校区別	太宰府小学校区	83	1.2	25.3	34.9	38.6	-	26.5	73.5
	太宰府東小学校区	54	7.4	35.2	35.2	20.4	1.9	42.6	55.6
	太宰府南小学校区	51	7.8	29.4	35.3	25.5	2.0	37.2	60.8
	水城小学校区	63	6.3	31.7	33.3	28.6	-	38.0	61.9
	水城西小学校区	48	2.1	43.8	22.9	27.1	4.2	45.9	50.0
	太宰府西小学校区	92	3.3	38.0	32.6	25.0	1.1	41.3	57.6
	国分小学校区	74	6.8	36.5	33.8	21.6	1.4	43.3	55.4
	わからない	61	3.3	34.4	27.9	34.4	-	37.7	62.3
	無回答	5	-	-	60.0	20.0	20.0	-	80.0

(2) 男女間の地位の平等感 (問 19)

- 全体では『男性優位』が約6割を占め、『女性優位』は1割未満である。「平等である」は2割程度となっている。
- 「平等である」は男性が女性より10.6ポイント高い。

男女間の地位の平等感については、「女性の方が優位である」(0.8%)と「どちらかといえば、女性の方が優位である」(7.9%)を合わせた『女性優位』は8.7%と1割に満たず、「男性の方が優位である」(17.3%)と「どちらかといえば、男性の方が優位である」(41.8%)を合わせた『男性優位』が59.1%にのぼる。「平等である」は22.6%である。

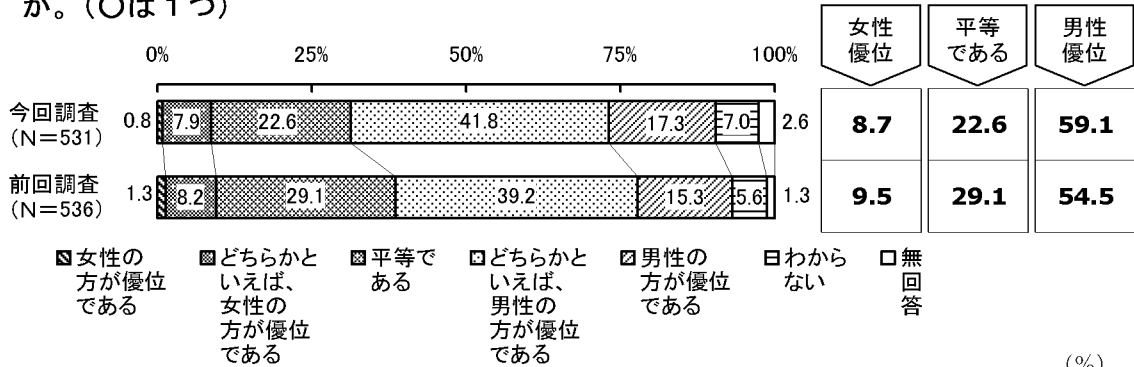
前回調査と比較すると「平等である」は6.5ポイント減少し、『男性優位』が4.6ポイント増加している。

性別にみると、男性は「平等である」が28.4%で、女性(17.8%)よりも10.6ポイント高く、また、女性は『男性優位』が64.1%と男性(52.9%)よりも11.2ポイント高くなっている。

年代別にみると、『女性優位』は20歳代で17.5%と比較的高く、また、『男性優位』は50歳代で69.1%と特に高い。

小学校区別では、水城小学校区において『女性優位』が14.3%と高め、また、「平等である」が水城西小学校区において31.3%でやや他校区より高い。

問 19. あなたは普段の生活の中で、男女間の地位の平等について、どのように感じられますか。(○は1つ)



		標本数	優女性の方が優位である	優女性の方が優位である	どちらかといえば、女性の方が優位である	平等である	どちらかといえば、男性の方が優位である	優男性の方が優位である	優男性の方が優位である	どちらかといえば、男性の方が優位である	わからない	無回答	女性優位	男性優位							
全体		531	4	42	120	222	92	37	14	46	314	100.0	0.8	7.9	22.6	41.8	17.3	7.0	2.6	8.7	59.1
性別	男性	225	1.3	11.1	28.4	38.7	14.2	4.4	1.8	12.4	52.9										
	女性	298	0.3	5.7	17.8	44.3	19.8	8.7	3.4	6.0	64.1										
	無回答	8	-	-	37.5	37.5	12.5	12.5	-	-	50.0										
年代別	20歳代	57	-	17.5	15.8	31.6	22.8	12.3	-	17.5	54.4										
	30歳代	86	-	8.1	29.1	27.9	22.1	10.5	2.3	8.1	50.0										
	40歳代	73	-	13.7	17.8	35.6	17.8	13.7	1.4	13.7	53.4										
	50歳代	97	1.0	5.2	20.6	49.5	19.6	3.1	1.0	6.2	69.1										
	60歳代	136	1.5	5.1	22.8	48.5	14.0	3.7	4.4	6.6	62.5										
	70歳以上	81	1.2	3.7	27.2	48.1	11.1	3.7	4.9	4.9	59.2										
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0										
小学校区別	太宰府小学校区	83	1.2	8.4	22.9	39.8	20.5	6.0	1.2	9.6	60.3										
	太宰府東小学校区	54	1.9	7.4	20.4	44.4	11.1	11.1	3.7	9.3	55.5										
	太宰府南小学校区	51	-	5.9	19.6	43.1	19.6	7.8	3.9	5.9	62.7										
	水城小学校区	63	-	14.3	20.6	44.4	7.9	11.1	1.6	14.3	52.3										
	水城西小学校区	48	-	4.2	31.3	41.7	18.8	4.2	-	4.2	60.5										
	太宰府西小学校区	92	1.1	7.6	25.0	41.3	18.5	4.3	2.2	8.7	59.8										
	国分小学校区	74	1.4	2.7	27.0	40.5	18.9	6.8	2.7	4.1	59.4										
	わからない	61	-	11.5	14.8	41.0	21.3	6.6	4.9	11.5	62.3										
	無回答	5	-	20.0	-	40.0	20.0	-	20.0	-	60.0										

5. 地域のコミュニティづくり

(1) 自治会活動への参加 (問 20)

- 全体では『参加派』が約3割、『不参加派』が約6割を占める。
- 若年層ほど『不参加派』人が多い。

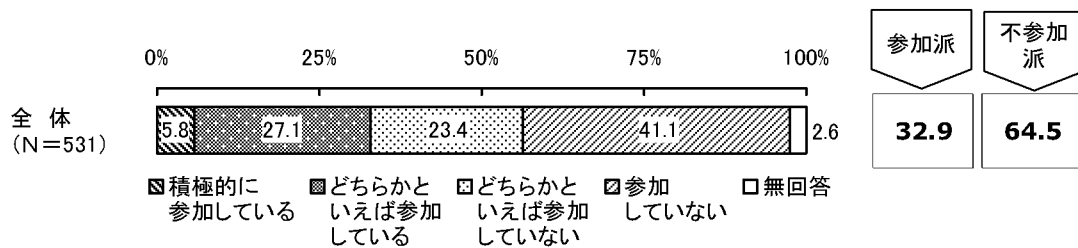
自治会活動に「積極的に参加している」(5.8%)と「どちらかといえば参加している」(27.1%)を合わせた『参加派』は32.9%であり、「どちらかといえば参加していない」(23.4%)と「参加していない」(41.4%)を合わせた『不参加派』は64.8%と6割を超える。

性別でみても、大きな差はみられない。

年代別では、年代が低くなるほど『不参加派』の割合が高くなる傾向があり、特に20歳代では89.4%と9割近くとなっている。

小学校区別では太宰府南小学校区において『参加派』(47.1%)が最も高くなっている。

問 20. あなたは自治会活動に参加していますか。(○は1つ)



		標本数	参加状況 (%)					参加派 (%)	不参加派 (%)
			積極的に参加している	どちらかといえば参加している	どちらかといえば参加していない	参加していない	無回答		
全体		531	31	144	124	218	14	175	342
		100.0	5.8	27.1	23.4	41.1	2.6	32.9	64.5
性別	男性	225	8.0	24.0	21.3	45.3	1.3	32.0	66.6
	女性	298	4.0	29.2	25.2	37.9	3.7	33.2	63.1
	無回答	8	12.5	37.5	12.5	37.5	-	50.0	50.0
年代別	20歳代	57	1.8	8.8	17.5	71.9	-	10.6	89.4
	30歳代	86	2.3	22.1	17.4	54.7	3.5	24.4	72.1
	40歳代	73	5.5	32.9	26.0	34.2	1.4	38.4	60.2
	50歳代	97	5.2	27.8	27.8	37.1	2.1	33.0	64.9
	60歳代	136	11.8	26.5	28.7	30.1	2.9	38.3	58.8
	70歳以上	81	3.7	40.7	17.3	33.3	4.9	44.4	50.6
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	8.4	24.1	28.9	37.3	1.2	32.5	66.2
	太宰府東小学校区	54	9.3	22.2	37.0	31.5	-	31.5	68.5
	太宰府南小学校区	51	2.0	45.1	19.6	29.4	3.9	47.1	49.0
	水城小学校区	63	9.5	20.6	15.9	49.2	4.8	30.1	65.1
	水城西小学校区	48	6.3	35.4	12.5	45.8	-	41.7	58.3
	太宰府西小学校区	92	5.4	29.3	31.5	30.4	3.3	34.7	61.9
	国分小学校区	74	4.1	35.1	20.3	39.2	1.4	39.2	59.5
	わからない	61	1.6	8.2	14.8	70.5	4.9	9.8	85.3
	無回答	5	-	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	60.0

(2) ボランティア活動への参加 (問 21)

- 全体では『不参加派』が約8割を占め、『参加派』は15.6%である。
- 年代が高いほど『参加している』人が多い。

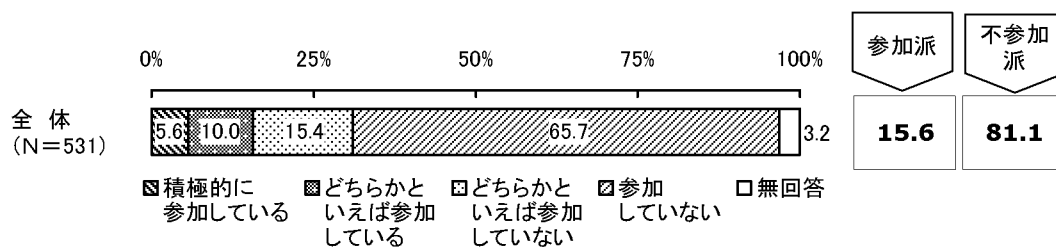
ボランティア活動に「積極的に参加している」(5.6%)と「どちらかといえば参加している」(10.0%)を合わせた『参加派』は15.6%であり、「どちらかといえば参加していない」(15.4%)と「参加していない」(65.7%)を合わせた『不参加派』は81.8%である。

性別でみても、大きな差はみられない。

年代別では、年代が高くなるほど『参加派』の割合が高くなり、逆に年代が低くなるほど『不参加派』の割合が高くなる傾向がある。特に20歳代では『不参加派』は91.2%と顕著である。

小学校区別では、水城西小学校区において『不参加派』(87.5%)の割合が他校区よりも高い。

問 21. あなたは自治会活動以外のボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)



		標本数	積極的に参加している	どちらかといえば参加している	どちらかといえば参加していない	参加していない	無回答	参加派	不参加派
全体		531	30	53	82	349	17	83	431
		100.0	5.6	10.0	15.4	65.7	3.2	15.6	81.1
性別	男性	225	7.6	9.8	16.4	64.9	1.3	17.4	81.3
	女性	298	4.0	10.4	15.1	65.8	4.7	14.4	80.9
	無回答	8	12.5	-	-	87.5	-	12.5	87.5
年代別	20歳代	57	1.8	7.0	12.3	78.9	-	8.8	91.2
	30歳代	86	1.2	9.3	8.1	77.9	3.5	10.5	86.0
	40歳代	73	4.1	9.6	21.9	63.0	1.4	13.7	84.9
	50歳代	97	2.1	10.3	13.4	71.1	3.1	12.4	84.5
	60歳代	136	11.8	8.1	15.4	61.0	3.7	19.9	76.4
	70歳以上	81	8.6	16.0	22.2	46.9	6.2	24.6	69.1
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	8.4	10.8	18.1	59.0	3.6	19.2	77.1
	太宰府東小学校区	54	3.7	13.0	20.4	63.0	-	16.7	83.4
	太宰府南小学校区	51	7.8	11.8	19.6	56.9	3.9	19.6	76.5
	水城小学校区	63	4.8	11.1	7.9	71.4	4.8	15.9	79.3
	水城西小学校区	48	6.3	6.3	22.9	64.6	-	12.6	87.5
	太宰府西小学校区	92	7.6	12.0	21.7	55.4	3.3	19.6	77.1
	国分小学校区	74	2.7	10.8	6.8	77.0	2.7	13.5	83.8
	わからない	61	3.3	3.3	8.2	80.3	4.9	6.6	88.5
	無回答	5	-	-	-	80.0	20.0	-	80.0

6. 生涯学習社会の創造

(1) 生涯学習活動の取り組み状況（問22）

●全体では『週1回以上の実施率』は16.2%、30歳代では9.3%と最も低い。

生涯学習活動の取り組み状況について、「ほぼ毎日取り組んでいる」が8.3%、「週に1回程度取り組んでいる」が7.9%、「月に数回程度取り組んでいる」が8.7%、「年に数回程度取り組んでいる」が7.0%で、『週1回以上の実施率』は16.2%となっている。なお、「ほとんど取り組んでいない」は65.2%である。

経年比較でみると、『週1回以上の実施率』は徐々に減少し、「ほとんど取り組んでいない」が増加傾向にある。

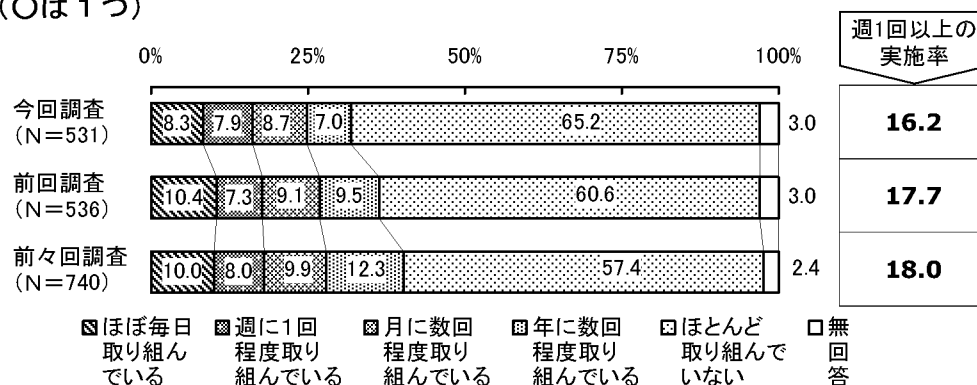
性別でみると、男女ともほぼ同様の傾向を示している。

年代別でみると、70歳以上で『週1回以上の実施率』が25.9%と最も高く、最も低いのが30歳代の9.3%である。

小学校区別では太宰府小学校区の『週1回以上の実施率』が22.9%で最も高い。

問22. あなたは日頃から学習テーマを持って生涯学習活動に取り組んでいますか。

(○は1つ)



ほぼ毎日
取り組んで
いる
 週に1回
程度取り組
んでいる
 月に数回
程度取り組
んでいる
 年に数回
程度取り組
んでいる
 ほとんど
取り組んで
いない
 無
回答

(%)

	標 本 数	組 ほ ん ぼ で 毎 日 取 り 組 む	週 に 1 回 程 度 取 り 組 む	月 に 数 回 程 度 取 り 組 む	年 に 数 回 程 度 取 り 組 む	組 ほ ん と で ん ど 取 り 組 んで い な い	無 回 答	実 週 1 回 以 上 の 実 施 率	
全 体	531 100.0	44 8.3	42 7.9	46 8.7	37 7.0	346 65.2	16 3.0	86 16.2	
性 別	男 性	225	9.8	7.6	9.3	6.2	65.8	1.3	17.4
	女 性	298	7.4	8.4	8.1	7.4	64.4	4.4	15.8
	無回答	8	-	-	12.5	12.5	75.0	-	-
年 代 別	20歳代	57	7.0	7.0	10.5	10.5	64.9	-	14.0
	30歳代	86	5.8	3.5	3.5	9.3	73.3	4.7	9.3
	40歳代	73	8.2	8.2	8.2	6.8	67.1	1.4	16.4
	50歳代	97	5.2	5.2	7.2	7.2	73.2	2.1	10.4
	60歳代	136	11.8	8.1	10.3	4.4	62.5	2.9	19.9
	70歳以上	81	9.9	16.0	12.3	6.2	49.4	6.2	25.9
	無回答	1	-	-	-	-	100.0	-	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	83	13.3	9.6	10.8	7.2	56.6	2.4	22.9
	太宰府東小学校区	54	5.6	11.1	14.8	3.7	63.0	1.9	16.7
	太宰府南小学校区	51	9.8	9.8	5.9	7.8	62.7	3.9	19.6
	水城小学校区	63	4.8	9.5	11.1	11.1	60.3	3.2	14.3
	水城西小学校区	48	8.3	4.2	8.3	8.3	70.8	-	12.5
	太宰府西小学校区	92	7.6	8.7	6.5	6.5	67.4	3.3	16.3
	国分小学校区	74	10.8	4.1	6.8	4.1	71.6	2.7	14.9
	わからない	61	4.9	6.6	6.6	8.2	68.9	4.9	11.5
	無回答	5	-	-	-	-	80.0	20.0	-

(2) 運動・スポーツの実施頻度 (問 23)

●全体では『週1回以上の実施率』は33.9%、30歳代と40歳代では2割台と低い。

運動・スポーツの実施状況について、「ほぼ毎日行っている」が14.9%、「週に1回程度行っている」が19.0%、「月に数回程度行っている」が13.0%、「年に数回程度行っている」が7.7%で、『週1回以上の実施率』は33.9%である。「ほとんど行っていない」は42.6%となっている。

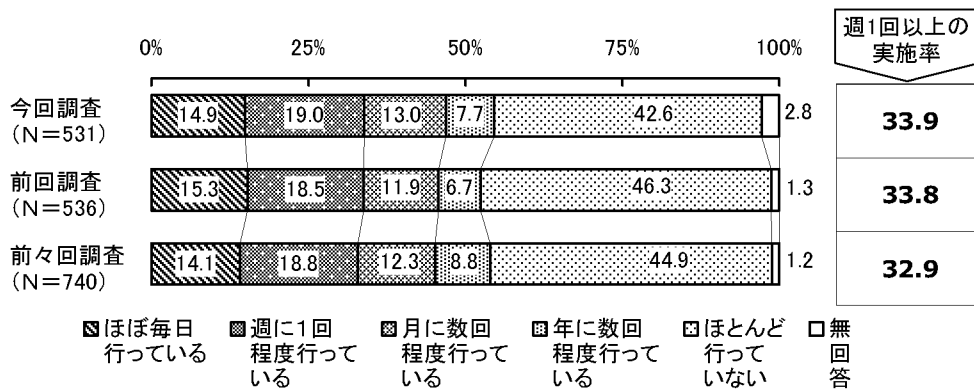
経年比較でみると、『週1回以上の実施率』についてはほとんど変化はみられない。

性別でみると、『週1回以上の実施率』は男性36.4%、女性32.6%と男性の方がやや高い。

年代別でみると、『週1回以上の実施率』は30歳代と40歳代では2割台と低くなっている。

小学校区別では、『週1回以上の実施率』は太宰府西小学校区で40.2%と最も高いのに対し、水城小学校区では28.6%と最も低い。

問 23. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(〇は1つ)



		標本数	てほ いぼ る毎 日行 っ	行週 つに て1 回回 る程 度	行月 つに て数 回回 る程 度	行年 つに て数 回回 る程 度	てほ いど な ん ど 行 っ	無 回 答	実週 施1 率回 以上 の
全体		531	79	101	69	41	226	15	180
		100.0	14.9	19.0	13.0	7.7	42.6	2.8	33.9
性別	男性	225	17.3	19.1	17.3	9.3	35.6	1.3	36.4
	女性	298	13.1	19.5	9.7	6.7	47.3	3.7	32.6
	無回答	8	12.5	-	12.5	-	62.5	12.5	12.5
年代別	20歳代	57	10.5	21.1	14.0	17.5	36.8	-	31.6
	30歳代	86	7.0	19.8	10.5	9.3	50.0	3.5	26.8
	40歳代	73	4.1	17.8	12.3	11.0	53.4	1.4	21.9
	50歳代	97	11.3	20.6	14.4	7.2	44.3	2.1	31.9
	60歳代	136	22.1	16.9	15.4	5.1	38.2	2.2	39.0
	70歳以上	81	28.4	19.8	8.6	1.2	34.6	7.4	48.2
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	13.3	26.5	12.0	4.8	41.0	2.4	39.8
	太宰府東小学校区	54	16.7	16.7	24.1	11.1	31.5	-	33.4
	太宰府南小学校区	51	13.7	25.5	13.7	7.8	35.3	3.9	39.2
	水城小学校区	63	15.9	12.7	12.7	7.9	46.0	4.8	28.6
	水城西小学校区	48	8.3	25.0	12.5	8.3	45.8	-	33.3
	太宰府西小学校区	92	21.7	18.5	14.1	4.3	39.1	2.2	40.2
	国分小学校区	74	17.6	16.2	9.5	9.5	45.9	1.4	33.8
	わからない	61	8.2	13.1	8.2	11.5	54.1	4.9	21.3
	無回答	5	-	-	-	-	60.0	40.0	-

7. 健康づくりと保健予防

(1) 健康状態 (問 24)

●全体では『健康』と答えた人が4分の3を占めるが、40歳代、50歳代では『不調』が3割近くと他の年代に比べて多い。

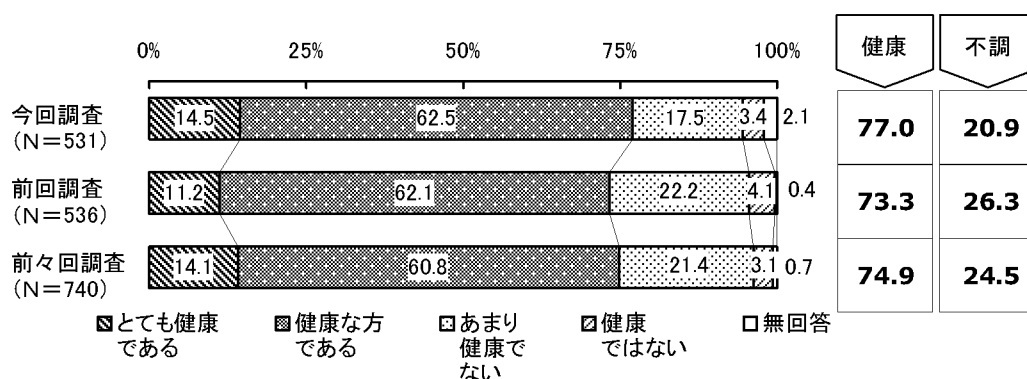
ここ数週間の健康状態については、「とても健康である」が14.5%、「健康な方である」が62.5%であり、77.0%の人が『健康』だと回答している。一方、「あまり健康ではない」は17.5%、「健康ではない」は3.4%となっている。

経年比較でみると『健康』と回答している人の割合が増加している。

性別でみると、『健康』と答えた人は男性79.6%、女性75.5%と男性の方がやや多い。

年代別でみると、20歳代は「とても健康である」と回答した人が31.6%と高く、「健康なほうである」(59.6%)を合わせると『健康』が約9割を占める。逆に、40歳代、50歳代では「あまり健康ではない」と「健康ではない」を合わせた『不調』と答える人が3割近くと多い。

問 24. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。(○は1つ)



		標本数	とても健康である	健康な方である	あまり健康ではない	健康ではない	無回答	健康 (%)	不調 (%)
全体		531	14.5	62.5	17.5	3.4	2.1	77.0	20.9
性別	男性	225	16.0	63.6	13.8	4.9	1.8	79.6	18.7
	女性	298	13.8	61.7	19.8	2.3	2.3	75.5	22.1
	無回答	8	-	62.5	37.5	-	-	62.5	37.5
年代別	20歳代	57	31.6	59.6	5.3	3.5	-	91.2	8.8
	30歳代	86	22.1	58.1	17.4	-	2.3	80.2	17.4
	40歳代	73	13.7	57.5	24.7	2.7	1.4	71.2	27.4
	50歳代	97	7.2	61.9	25.8	4.1	1.0	69.1	29.9
	60歳代	136	9.6	69.9	16.2	2.9	1.5	79.5	19.1
	70歳以上	81	12.3	61.7	12.3	7.4	6.2	74.0	19.7
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	15.7	62.7	18.1	2.4	1.2	78.4	20.5
	太宰府東小学校区	54	11.1	66.7	20.4	1.9	-	77.8	22.3
	太宰府南小学校区	51	11.8	70.6	9.8	2.0	5.9	82.4	11.8
	水城小学校区	63	15.9	55.6	23.8	3.2	1.6	71.5	27.0
	水城西小学校区	48	12.5	62.5	18.8	6.3	-	75.0	25.1
	太宰府西小学校区	92	20.7	57.6	17.4	2.2	2.2	78.3	19.6
	国分小学校区	74	18.9	62.2	13.5	4.1	1.4	81.1	17.6
	わからない	61	4.9	67.2	16.4	6.6	4.9	72.1	23.0
無回答	5	-	60.0	40.0	-	-	60.0	40.0	

(2) 健康増進の取り組み状況 (問 25)

●全体では「ある」が5割以上を占め、健康状態が良好と答えた人ほど健康増進のための取り組みを行っている。

健康増進のために日頃から取り組んでいるものが「ある」が53.5%でほぼ半数を占め、「ない」は43.7%となっている。

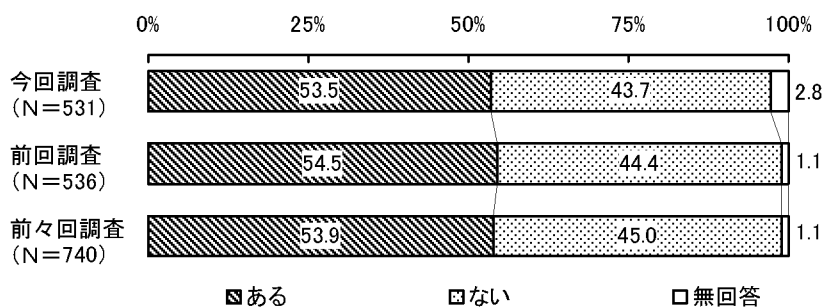
経年比較でみてもあまり大きな変化はみられない。

性別でみると、女性の方に取り組んでいるものが「ある」人がやや多い。

年代別でみると、年代が高いほど「ある」と答える人が多く、70歳以上では75.3%にのぼる。

健康状態別にみると、現在の健康状態が良好であると回答している人ほど健康増進のための取り組みを行っていると答え、逆に健康状態が良好でないとは回答している人ほど、健康増進の取り組みを行っていないと答えている。

問 25. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいるものがありますか。(○は1つ)



		標本数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体		531	53.5	43.7	2.8
性別	男性	225	52.9	44.9	2.2
	女性	298	54.4	42.6	3.0
	無回答	8	37.5	50.0	12.5
年代別	20歳代	57	38.6	61.4	-
	30歳代	86	44.2	52.3	3.5
	40歳代	73	49.3	47.9	2.7
	50歳代	97	48.5	50.5	1.0
	60歳代	136	58.8	39.0	2.2
	70歳以上	81	75.3	17.3	7.4
	無回答	1	-	100.0	-
健康状態別	とても健康である	77	66.2	32.5	1.3
	健康な方である	332	56.6	42.5	0.9
	あまり健康でない	93	41.9	57.0	1.1
	健康ではない	18	27.8	72.2	-
無回答	11	9.1	-	90.9	
小学校区別	太宰府小学校区	83	54.2	44.6	1.2
	太宰府東小学校区	54	66.7	31.5	1.9
	太宰府南小学校区	51	58.8	33.3	7.8
	水城小学校区	63	55.6	39.7	4.8
	水城西小学校区	48	54.2	45.8	-
	太宰府西小学校区	92	48.9	48.9	2.2
	国分小学校区	74	48.6	50.0	1.4
	わからない	61	47.5	47.5	4.9
無回答	5	40.0	60.0	-	

8. 社会福祉の充実

(1) 地域での福祉活動（問26）

●全体では『肯定派』が約3割、『否定派』が約6割を占めている。

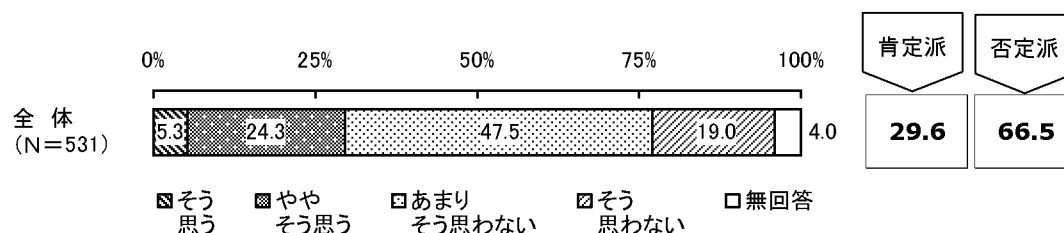
地域での住民相互の支えあいなどによる福祉活動が活発に行われているかどうかについて、「そう思う」（5.3%）と「ややそう思う」（24.3%）を合わせた『肯定派』が29.6%で約3割、一方「あまりそう思わない」（47.5%）と「そう思わない」（19.0%）を合わせた『否定派』は66.5%で6割以上を占めている。

性別にみても、大きな差はみられない。

年代別にみると、70歳以上で『肯定派』が40.7%と比較的多くなっている。

小学校区別では、太宰府東小学校区と水城小学校区で『否定派』が7割台とやや多い。

問26. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		531	28	129	252	101	21	157	353
		100.0	5.3	24.3	47.5	19.0	4.0	29.6	66.5
性別	男性	225	6.7	22.7	48.9	19.1	2.7	29.4	68.0
	女性	298	4.4	24.8	47.3	18.5	5.0	29.2	65.8
	無回答	8	-	50.0	12.5	37.5	-	50.0	50.0
年代別	20歳代	57	3.5	26.3	45.6	24.6	-	29.8	70.2
	30歳代	86	4.7	22.1	57.0	10.5	5.8	26.8	67.5
	40歳代	73	2.7	26.0	47.9	20.5	2.7	28.7	68.4
	50歳代	97	6.2	20.6	50.5	20.6	2.1	26.8	71.1
	60歳代	136	5.9	21.3	46.3	22.1	4.4	27.2	68.4
	70歳以上	81	7.4	33.3	37.0	14.8	7.4	40.7	51.8
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	3.6	28.9	49.4	14.5	3.6	32.5	63.9
	太宰府東小学校区	54	3.7	20.4	55.6	20.4	-	24.1	76.0
	太宰府南小学校区	51	7.8	23.5	43.1	21.6	3.9	31.3	64.7
	水城小学校区	63	4.8	20.6	50.8	20.6	3.2	25.4	71.4
	水城西小学校区	48	8.3	20.8	45.8	22.9	2.1	29.1	68.7
	太宰府西小学校区	92	6.5	27.2	51.1	10.9	4.3	33.7	62.0
	国分小学校区	74	4.1	31.1	37.8	23.0	4.1	35.2	60.8
	わからない	61	3.3	13.1	47.5	26.2	9.8	16.4	73.7
	無回答	5	20.0	60.0	20.0	-	-	80.0	20.0

(2) 生きがいの有無 (問 27)

●全体では『充実派』が約8割を占め、現在の健康状態が良好と答えている人に『充実派』が多い。

65歳以上の人(130人)に、生きがいの有無についてたずねたところ、「とても感じている」が23.8%、「どちらかと言えば感じている」が56.9%と、これらを合わせた『充実派』が80.7%と約8割を占める。一方、「どちらかと言えば感じていない」(10.8%)、「感じていない」(2.3%)を合わせた『不満派』も約1割いる。

経年比較でみると『充実派』は約8割と変わらないが、『不満派』は減少傾向にある。

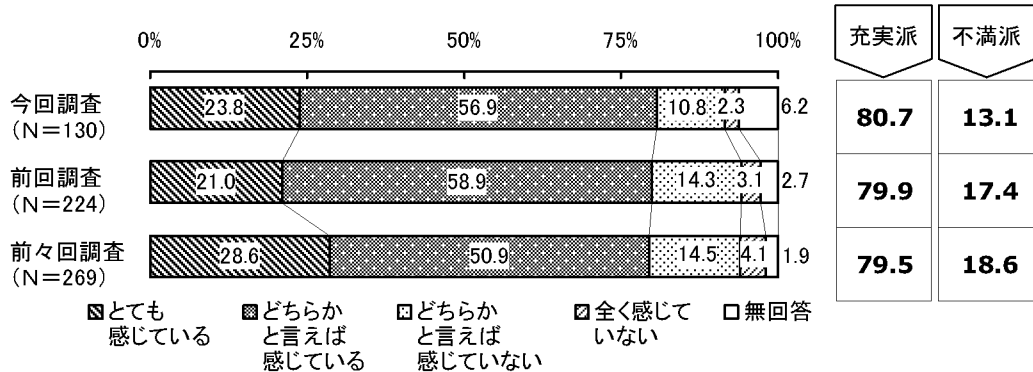
性別でみると、『充実派』は女性が85.7%と男性(77.8%)よりも多い。

年代別でみると、『充実派』は70歳以上に比べ60歳代の方が多いが、70歳以上においても4人中3人は充実していると答えている。

健康状態別では、現在の健康状態が良好と答えている人に『充実派』が多いという傾向がみられる。

問 27.

あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は1つ)



※前回・前々回調査では60歳以上の人が回答

		標本数	とても感じている	どちらかと言えば感じている	どちらかと言えば感じていない	全く感じていない	無回答	充実派	不満派
全体		130	31	74	14	3	8	105	17
		100.0	23.8	56.9	10.8	2.3	6.2	80.7	13.1
性別	男性	63	27.0	50.8	14.3	3.2	4.8	77.8	17.5
	女性	63	20.6	65.1	4.8	1.6	7.9	85.7	6.4
	無回答	4	25.0	25.0	50.0	-	-	50.0	50.0
年代別	60歳代	49	22.4	63.3	8.2	-	6.1	85.7	8.2
	70歳以上	81	24.7	53.1	12.3	3.7	6.2	77.8	16.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
健康状態別	とても健康である	17	47.1	41.2	-	-	11.8	88.3	-
	健康な方である	82	26.8	67.1	4.9	1.2	-	93.9	6.1
	あまり健康でない	19	5.3	52.6	36.8	-	5.3	57.9	36.8
	健康ではない	6	-	16.7	50.0	33.3	-	16.7	83.3
	無回答	6	-	16.7	-	-	83.3	16.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	16	31.3	62.5	-	6.3	-	93.8	6.3
	太宰府東小学校区	16	6.3	81.3	-	-	12.5	87.6	-
	太宰府南小学校区	22	22.7	59.1	9.1	-	9.1	81.8	9.1
	水城小学校区	12	25.0	50.0	16.7	-	8.3	75.0	16.7
	水城西小学校区	15	20.0	60.0	13.3	6.7	-	80.0	20.0
	太宰府西小学校区	24	25.0	62.5	8.3	-	4.2	87.5	8.3
	国分小学校区	16	37.5	31.3	18.8	6.3	6.3	68.8	25.1
	わからない	8	25.0	37.5	25.0	-	12.5	62.5	25.0
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	100.0

(3) 高齢者福祉サービスの充実度 (問 28)

●全体では『充実派』は約4分の1にとどまり、男性や高齢者層で不足を感じる人が多い。

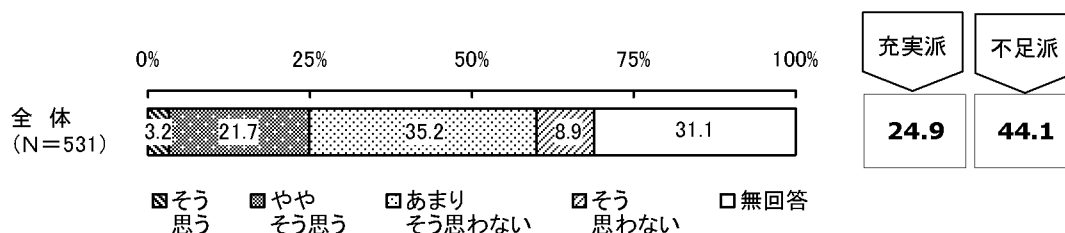
高齢者福祉サービスが充実しているかについて、「そう思う」(3.2%)と「ややそう思う」(21.7%)を合わせた『充実派』は24.9%と全体の4分の1程度であり、「あまりそう思わない」(35.2%)と「そう思わない」(8.9%)を合わせた『不足派』は44.1%となっている。

性別でみると、男女とも『充実派』は約4分の1と同程度であるが、『不足派』は男性が51.1%と女性(39.6%)よりも11.5ポイントも高い。

年代別にみると、70歳以上で『充実派』が37.0%とやや多いものの、基本的に高齢者層で『不足派』の割合が高い傾向があり、60歳代では52.2%と半数を超える。

小学校区別では、水城西小学校区で『充実派』が35.4%と最も高く、水城小学校区で『不足派』が55.6%と最も高い。

問 28. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	充実派	不足派
全体		531	17	115	187	47	165	132	234
		100.0	3.2	21.7	35.2	8.9	31.1	24.9	44.1
性別	男性	225	3.1	20.4	38.7	12.4	25.3	23.5	51.1
	女性	298	2.7	22.5	33.2	6.4	35.2	25.2	39.6
	無回答	8	25.0	25.0	12.5	-	37.5	50.0	12.5
年代別	20歳代	57	3.5	19.3	28.1	7.0	42.1	22.8	35.1
	30歳代	86	1.2	20.9	31.4	3.5	43.0	22.1	34.9
	40歳代	73	2.7	19.2	31.5	9.6	37.0	21.9	41.1
	50歳代	97	2.1	19.6	33.0	11.3	34.0	21.7	44.3
	60歳代	136	2.9	21.3	41.9	10.3	23.5	24.2	52.2
	70歳以上	81	7.4	29.6	38.3	9.9	14.8	37.0	48.2
無回答		1	-	-	100.0	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	2.4	22.9	36.1	4.8	33.7	25.3	40.9
	太宰府東小学校区	54	11.1	20.4	31.5	7.4	29.6	31.5	38.9
	太宰府南小学校区	51	-	23.5	37.3	11.8	27.5	23.5	49.1
	水城小学校区	63	3.2	12.7	39.7	15.9	28.6	15.9	55.6
	水城西小学校区	48	2.1	33.3	31.3	6.3	27.1	35.4	37.6
	太宰府西小学校区	92	2.2	17.4	40.2	8.7	31.5	19.6	48.9
	国分小学校区	74	2.7	21.6	33.8	6.8	35.1	24.3	40.6
	わからない	61	3.3	23.0	27.9	11.5	34.4	26.3	39.4
無回答		5	-	60.0	40.0	-	-	60.0	40.0

(4) 障害者福祉サービスの充実度 (問 29)

- 全体では『充実派』は4分の1を下回り、男性の方が不足を感じている。
- 70歳以上で『充実派』が比較的多い。

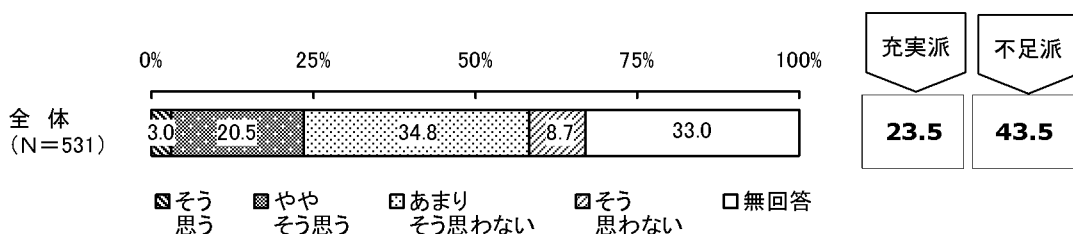
障害者福祉サービスが充実しているかについて、「そう思う」(3.0%)と「ややそう思う」(20.5%)を合わせた『充実派』は23.5%と全体の4分の1を下回り、「あまりそう思わない」(34.8%)と「そう思わない」(8.7%)を合わせた『不足派』は43.5%となっている。

性別にみると、高齢者福祉サービスと同様に男性の方が『不足派』は51.6%と女性(38.3%)よりも13.3ポイントも高い。

年代別にみると、70歳以上で『充実派』が38.3%と比較的高いが、他の年代ではいずれも2割程度である。

小学校区別では、高齢者福祉サービスと同様に水城西小学校区で『充実派』が37.5%と最も高く、水城小学校区で『不足派』が52.4%と最も高くなっている。

問 29. あなたは太宰府市の障害者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	充実派	不足派
全体		531	3.0	20.5	34.8	8.7	33.0	23.5	43.5
性別	男性	225	3.1	18.7	40.9	10.7	26.7	21.8	51.6
	女性	298	2.7	21.5	30.9	7.4	37.6	24.2	38.3
	無回答	8	12.5	37.5	12.5	-	37.5	50.0	12.5
年代別	20歳代	57	3.5	19.3	26.3	8.8	42.1	22.8	35.1
	30歳代	86	1.2	20.9	30.2	5.8	41.9	22.1	36.0
	40歳代	73	1.4	15.1	38.4	9.6	35.6	16.5	48.0
	50歳代	97	1.0	17.5	34.0	11.3	36.1	18.5	45.3
	60歳代	136	4.4	19.1	37.5	10.3	28.7	23.5	47.8
	70歳以上	81	6.2	32.1	38.3	4.9	18.5	38.3	43.2
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	3.6	20.5	34.9	7.2	33.7	24.1	42.1
	太宰府東小学校区	54	5.6	25.9	29.6	5.6	33.3	31.5	35.2
	太宰府南小学校区	51	-	23.5	39.2	9.8	27.5	23.5	49.0
	水城小学校区	63	1.6	14.3	39.7	12.7	31.7	15.9	52.4
	水城西小学校区	48	2.1	35.4	31.3	4.2	27.1	37.5	35.5
	太宰府西小学校区	92	2.2	16.3	39.1	8.7	33.7	18.5	47.8
	国分小学校区	74	5.4	18.9	29.7	10.8	35.1	24.3	40.5
	わからない	61	3.3	14.8	34.4	9.8	37.7	18.1	44.2
	無回答	5	-	40.0	20.0	-	40.0	40.0	20.0

9. 子育て環境の整備

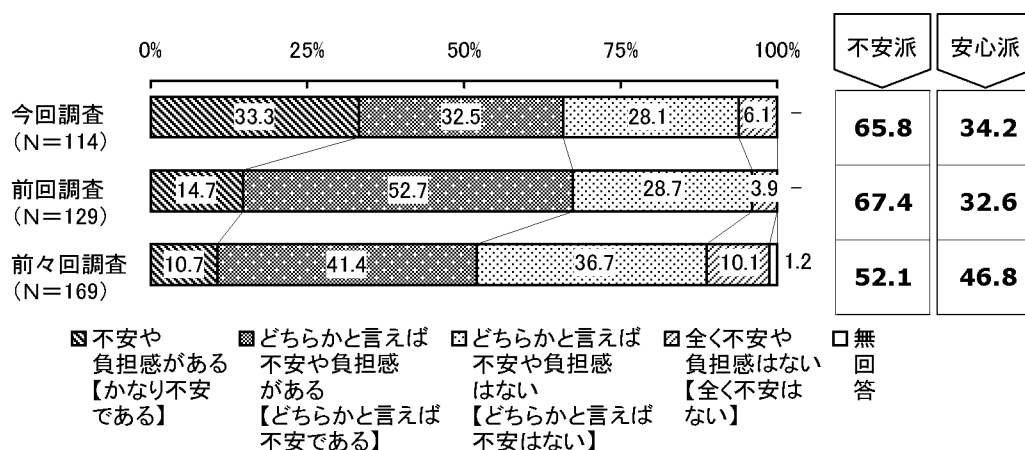
(1) 子育てに対する不安や負担感（問30）

●全体では『不安派』が65.8%、男性よりも女性の方に不安を感じる人が多い。

中学生以下の子どもがいる人（114人）の子育ての不安や負担感についてみると、「不安や負担感がある」が33.3%、「どちらかと言えば不安や負担感がある」が32.5%であり、これらを合わせた『不安派』が65.8%を占める。一方、「どちらかと言えば不安や負担感はない」（28.1%）、「全く不安や負担感はない」（6.1%）を合わせた『安心派』は34.2%である。

性別でみると、女性の『不安派』は69.3%と7割近くで、男性（60.5%）よりも多い。

問30. あなたは子育てに関して不安や負担感を感じますか。（○は1つ）



※【】内は前回・前々回調査の項目

		標本数	が不安や負担感がある	どえど感ばちが不安かや負担感	どえど感ばちが不安かや負担感	どえど感ばちが不安かや負担感	担全感くは不安や負	不安派	安心派
全体		114	38	37	32	7	75	65.8	34.2
性別	男性	38	36.8	23.7	31.6	7.9	60.5	39.5	
	女性	75	32.0	37.3	25.3	5.3	69.3	30.6	
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	100.0	
年代別	20歳代	11	45.5	36.4	18.2	-	81.9	18.2	
	30歳代	51	27.5	41.2	23.5	7.8	68.7	31.3	
	40歳代	41	41.5	19.5	36.6	2.4	61.0	39.0	
	50歳代	5	-	40.0	60.0	-	40.0	60.0	
	60歳代	4	25.0	25.0	-	50.0	50.0	50.0	
	70歳以上	2	50.0	50.0	-	-	100.0	-	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
世帯構成別	単身世帯	4	25.0	50.0	25.0	-	75.0	25.0	
	夫婦のみ	4	-	100.0	-	-	100.0	-	
	2世代世帯(親と子)	98	34.7	29.6	29.6	6.1	64.3	35.7	
	3世代世帯(親と子と孫)	6	33.3	16.7	33.3	16.7	50.0	50.0	
	4世代以上	1	-	100.0	-	-	100.0	-	
	兄弟姉妹のみ	1	-	-	-	-	-	-	
	その他	1	100.0	-	-	-	100.0	-	
無回答	-	-	-	-	-	-	-		

(2) 子育てのしやすさ (問 31)

●全体では『子育てがしやすい』が半数を超えるが、『子育てがしにくい』と答えた人も 43.9% いる。

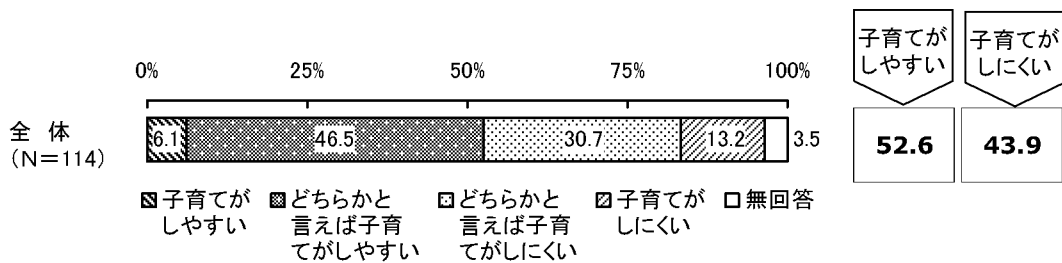
中学生以下の子どもがいる人 (114 人) のうち、「子育てがしやすい」(6.1%) と「どちらかといえば子育てがしやすい」(46.5%) を合わせた『子育てがしやすい』は 52.6% で約半数を占めるが、「どちらかといえば子育てがしにくい」(30.7%) と「子育てがしにくい」(13.2%) を合わせた『子育てがしにくい』も 43.9% となっている。

性別でみると、男性では『子育てがしやすい』の方が 60.6% と高いが、女性では『子育てがしやすい』(48.0%) と『子育てがしにくい』(46.7%) の回答が拮抗している。

年代別にみると、20 歳代と 30 歳代では『子育てがしにくい』が『子育てがしやすい』を上回っている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区では『子育てがしやすい』が 33.3% と最も低い。

問 31. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。(○は 1 つ)



		標本数	子育てがしやすい	しえどやばちすい育かてが言	しえどにばちく育かてが言	く子育てがしにくい	無回答	子育てがしやすい (%)	子育てがしにくい (%)
全体 (N=114)		114	7	53	35	15	4	52.6	43.9
性別	男性	38	5.3	55.3	28.9	10.5	-	60.6	39.4
	女性	75	6.7	41.3	32.0	14.7	5.3	48.0	46.7
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	11	-	45.5	36.4	18.2	-	45.5	54.6
	30歳代	51	7.8	35.3	41.2	15.7	-	43.1	56.9
	40歳代	41	4.9	58.5	19.5	12.2	4.9	63.4	31.7
	50歳代	5	-	80.0	20.0	-	-	80.0	20.0
	60歳代	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0	50.0	25.0
	70歳以上	2	-	50.0	-	-	50.0	50.0	-
小学校区別	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
	太宰府小学校区	16	18.8	37.5	18.8	12.5	12.5	56.3	31.3
	太宰府東小学校区	8	12.5	62.5	12.5	-	12.5	75.0	12.5
	太宰府南小学校区	8	-	50.0	37.5	12.5	-	50.0	50.0
	水城小学校区	20	15.0	50.0	20.0	15.0	-	65.0	35.0
	水城西小学校区	18	-	55.6	22.2	22.2	-	55.6	44.4
	太宰府西小学校区	21	-	33.3	47.6	19.0	-	33.3	66.6
	国分小学校区	13	-	53.8	38.5	7.7	-	53.8	46.2
	わからない	9	-	44.4	44.4	-	11.1	44.4	44.4
無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	100.0	

10. 安全なまちづくり

(1) 災害に対する取り組み状況（問32）

●全体では、『避難場所の認知』が71.2%と高いが、『食糧の備蓄（2日分程度）』、『災害情報源の認知』、『転倒防止策の備え』は半数以上が取り組んでいない。

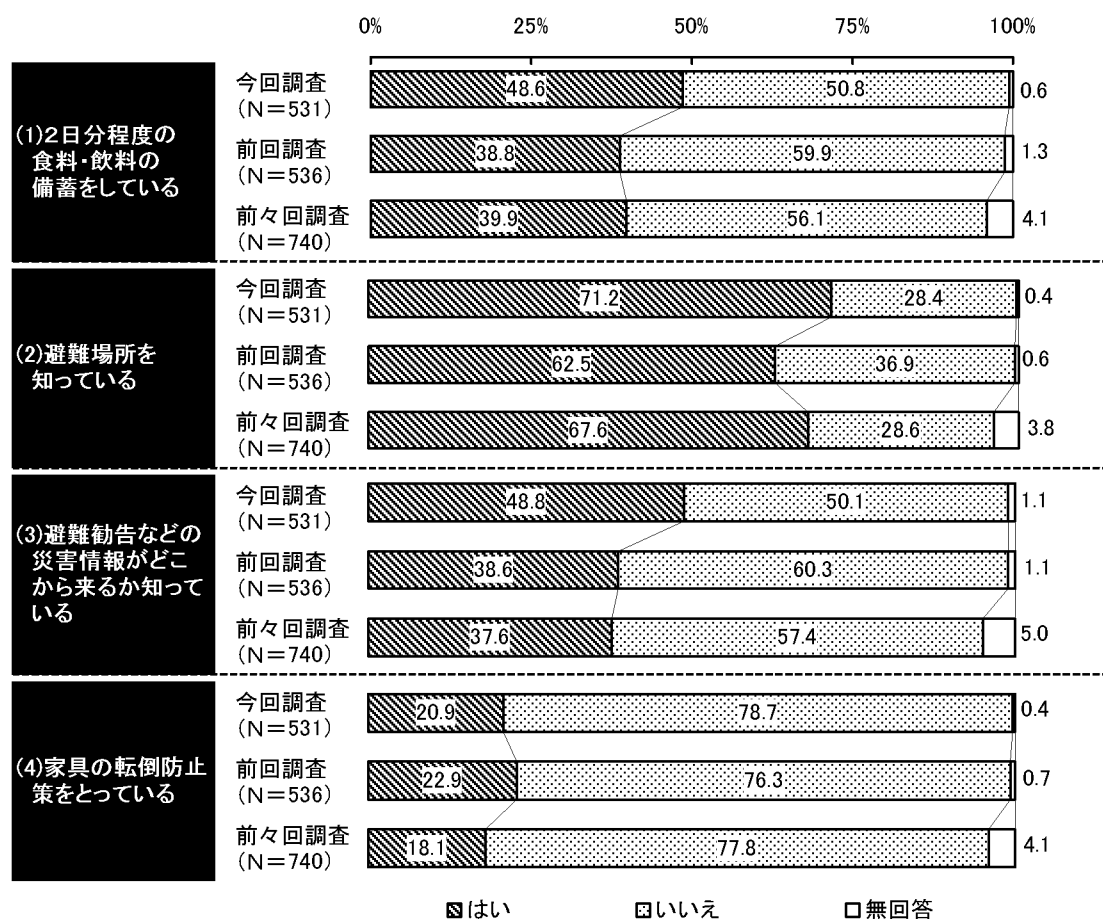
日ごろの災害に対する備えについて、『避難場所の認知』（71.2%）、『災害情報源の認知』（48.8%）、『食糧の備蓄（2日分程度）』（48.6%）、『転倒防止策の備え』（20.9%）の順で実施率が高くなっているが、『避難場所の認知』以外については半数以上が取り組んでいない。

経年比較でみると、『転倒防止策の備え』が前回調査より、やや減少するものの、その他の災害に対する取り組みについては、今回調査が最も実施している割合が高い。

年代別でみると、『転倒防止策の備え』では年代による実施率の差はそれほどないが、その他については、年代が高いほど実施率が高くなっている。

小学校区別では、『災害情報源の認知』が水城小学校区において、やや低くなっている。

問32. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。



第2章 調査結果の分析

(%)

	標本数	(1)2日分程度の食料・飲料の備蓄をしている			(2)避難場所を知っている			(3)避難勧告などの災害情報がどこから来るか知っている			(4)家具の転倒防止策をとっている			
		はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	
全体	531 100.0	258 48.6	270 50.8	3 0.6	378 71.2	151 28.4	2 0.4	259 48.8	266 50.1	6 1.1	111 20.9	418 78.7	2 0.4	
性別	男性	225	48.9	51.1	-	71.1	28.9	-	52.9	47.1	-	20.9	79.1	-
	女性	298	48.7	50.7	0.7	71.8	27.9	0.3	46.0	52.0	2.0	21.5	77.9	0.7
	無回答	8	37.5	50.0	12.5	50.0	37.5	12.5	37.5	62.5	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	57	36.8	63.2	-	68.4	31.6	-	38.6	61.4	-	19.3	80.7	-
	30歳代	86	32.6	67.4	-	60.5	39.5	-	30.2	68.6	1.2	19.8	80.2	-
	40歳代	73	43.8	56.2	-	67.1	32.9	-	38.4	60.3	1.4	26.0	72.6	1.4
	50歳代	97	41.2	58.8	-	73.2	26.8	-	47.4	51.5	1.0	15.5	84.5	-
	60歳代	136	62.5	36.8	0.7	75.0	25.0	-	58.1	40.4	1.5	23.5	76.5	-
	70歳以上	81	63.0	34.6	2.5	79.0	18.5	2.5	70.4	28.4	1.2	19.8	79.0	1.2
	無回答	1	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	49.4	49.4	1.2	80.7	18.1	1.2	50.6	48.2	1.2	18.1	81.9	-
	太宰府東小学校区	54	44.4	53.7	1.9	83.3	16.7	-	59.3	40.7	-	18.5	81.5	-
	太宰府南小学校区	51	49.0	51.0	-	80.4	19.6	-	58.8	39.2	2.0	23.5	76.5	-
	水城小学校区	63	54.0	44.4	1.6	65.1	33.3	1.6	41.3	52.4	6.3	17.5	79.4	3.2
	水城西小学校区	48	43.8	56.3	-	66.7	33.3	-	56.3	43.8	-	27.1	72.9	-
	太宰府西小学校区	92	52.2	47.8	-	79.3	20.7	-	56.5	43.5	-	27.2	72.8	-
	国分小学校区	74	51.4	48.6	-	74.3	25.7	-	47.3	52.7	-	16.2	83.8	-
	わからない	61	41.0	59.0	-	36.1	63.9	-	21.3	78.7	-	19.7	80.3	-
	無回答	5	40.0	60.0	-	40.0	60.0	-	40.0	60.0	-	20.0	80.0	-

(2) 防犯面の安心度 (問 33)

●全体では、『安心派』(54.8%)が5割を超えるが、『不安派』(45.0%)も4割以上で、特に女性に『不安派』が多い。

防犯面に関する安心度について、「とても安心している」が2.6%、「どちらかと言えば安心している」が52.2%と、これらを合わせた『安心派』が54.8%で半数を超えるが、「どちらかと言えば不安である」(39.9%)、「とても不安である」(5.1%)を合わせた『不安派』も4割以上みられる。

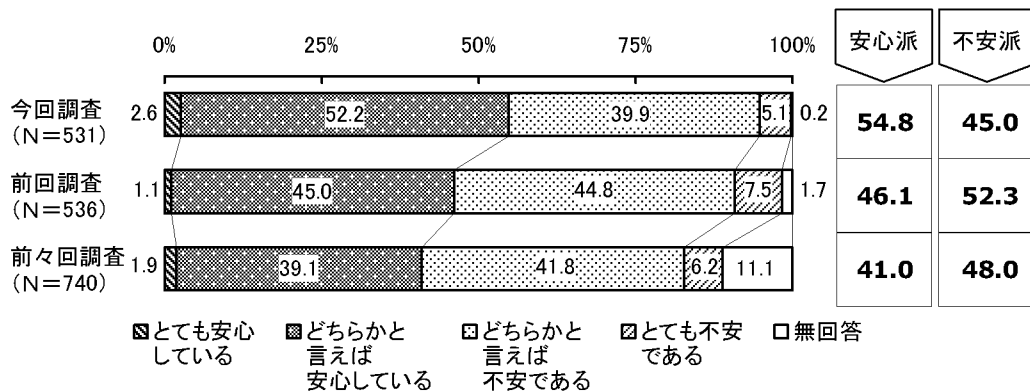
経年比較でみると、『安心派』は増加傾向にある。

性別でみると、『不安派』は女性(49.4%)の方が男性(40.0%)より9.4ポイント高くなっている。

年代別でみると、40歳代のみ『不安派』が『安心派』を上回っている。

小学校区別でみると、水城西小学校区、国分小学校区で『安心派』が6割台と他校区に比べ多くなっており、水城小学校区、太宰府東小学校区、太宰府小学校区では『不安派』が5割台と多い。

問 33. あなたは市内に住むことに対して防犯の面で安心していますか。(○は1つ)



		標本数	とても安心している	どちらかと言えば安心している	どちらかと言えば不安である	とても不安である	無回答	安心派	不安派
全体		531	2.6	52.2	39.9	5.1	0.2	54.8	45.0
性別	男性	225	4.4	55.6	35.6	4.4	-	60.0	40.0
	女性	298	1.3	49.0	44.0	5.4	0.3	50.3	49.4
	無回答	8	-	75.0	12.5	12.5	-	75.0	25.0
年代別	20歳代	57	8.8	50.9	31.6	8.8	-	59.7	40.4
	30歳代	86	2.3	50.0	41.9	5.8	-	52.3	47.7
	40歳代	73	2.7	45.2	43.8	6.8	1.4	47.9	50.6
	50歳代	97	1.0	54.6	39.2	5.2	-	55.6	44.4
	60歳代	136	1.5	52.9	41.2	4.4	-	54.4	45.6
	70歳以上	81	2.5	56.8	39.5	1.2	-	59.3	40.7
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	3.6	45.8	44.6	6.0	-	49.4	50.6
	太宰府東小学校区	54	-	46.3	50.0	3.7	-	46.3	53.7
	太宰府南小学校区	51	2.0	56.9	41.2	-	-	58.9	41.2
	水城小学校区	63	1.6	42.9	46.0	9.5	-	44.5	55.5
	水城西小学校区	48	2.1	62.5	31.3	4.2	-	64.6	35.5
	太宰府西小学校区	92	5.4	51.1	38.0	5.4	-	56.5	43.4
	国分小学校区	74	2.7	63.5	29.7	2.7	1.4	66.2	32.4
	わからない	61	1.6	50.8	39.3	8.2	-	52.4	47.5
	無回答	5	-	60.0	40.0	-	-	60.0	40.0

(3) 防犯上危険と思う場所（問33付問1）

太宰府	20歳代	女性	五条駅前には未成年のような子が夜遅くまでいる。駅前に座ったりしていて迷惑です。
太宰府	20歳代	女性	三条、北谷、内山付近は街灯が少ない。特に35号線。
太宰府	20歳代	女性	電灯が少ない（国博前の通り）暗い。
太宰府	20歳代	男性	五条駅近辺
太宰府	40歳代	女性	防犯とは違うかもしれませんが、通学路ではっきりとした歩道がないのに、路上駐車があると危険であると常々感じております。
太宰府	40歳代	女性	浦の上橋から右や左にまがった川沿いの道
太宰府	40歳代	女性	外灯の設置場所によって明るさが違いすぎる。全体的にもう少し明るいものを設置できないか。
太宰府	40歳代	女性	太宰府小学校の細道で、帰り時暗くて怖い。
太宰府	50歳代	女性	太宰府小学校の東側は暗い。
太宰府	50歳代	男性	ガードの場所、ゆめタウン北側、高雄ジョイフル北側、太宰府病院から3号線へ抜ける場所。
太宰府	50歳代	女性	宰府商店街(?)が、夜、電車を降りて歩く人がかなりいますが、暗いので気をつけなさいと他の人から言われます。
太宰府	50歳代	女性	筑紫女学園大学から五条駅にかけての学園通りは、夜間暗くて不審者が出没する危険があると感じている。
太宰府	60歳代	男性	田舎に住んでいれば、ある程度自己責任において防犯整備も必要だと思う。
太宰府	60歳代	女性	内山入口の信号より情報大学の方へ入った通り
太宰府	60歳代	男性	街灯の設置
太宰府	70歳代	女性	四王寺登り口の赤い橋
太宰府東	20歳代	男性	石穴神社付近の暗い道
太宰府東	20歳代	女性	団地での空き巣
太宰府東	20歳代	女性	太宰府東中学校から東小に向う坂道が暗く、少し通学が怖かった。
太宰府東	30歳代	男性	秋山地区は照明が暗い。
太宰府東	50歳代	女性	大庭産業（山を切り開いているため）
太宰府東	60歳代	男性	公園
太宰府東	60歳代	女性	建設中の高雄公園
太宰府東	60歳代	男性	自宅周辺の照明が暗い。
太宰府東	60歳代	女性	資材置場（青山3丁目）
太宰府東	60歳代	女性	道路の外灯が暗い。
太宰府東	60歳代	男性	総体的に防犯灯（街灯）が少ない。
太宰府東	70歳代	男性	団地内の空家や空地
太宰府東	70歳代	女性	団地北側外園道路
太宰府南	60歳代	男性	新設予定の高雄公園。民家が少なくないので、子女の防犯上心配である。
太宰府南	60歳代	男性	歩道は街灯が少なく、暗い場所が多い。
太宰府南	60歳代	女性	団地内は夜になると人の気配さえわからず暗く、物陰に隠れていられたりすると怖いと思うこともある。
太宰府南	60歳代	女性	五条駅から梅香苑までの太宰府病院、リンデン小学校の間が人通りが少なく、歩いて帰る時不安を感じる。
太宰府南	60歳代	男性	2階や隣からの侵入
太宰府南	70歳代	男性	梅ヶ丘区より南小学校への山辺の道、県立筑紫高校付近の夜間の道路は、通るのに不安を感じる。
太宰府南	70歳代	男性	太宰府高等学校より山側（ゴルフ場）に入ると人家がなく暗い場所。
太宰府南	70歳代	男性	公園、学校のグラウンド
水城	20歳代	女性	観世音寺地区5丁目
水城	30歳代	男性	都府楼駅前に夜遅く少年少女が集まっている。
水城	30歳代	男性	都府楼駅から朱雀の交差点までが暗く感じる所がある。
水城	30歳代	男性	御笠川にかかる都府楼橋の横に平行して歩道が通っていますが、車を運転していて信号待ちの車と対向している時に飛び出されて、ハッとすることがあります。
水城	30歳代	女性	駅から少し入り込むと、外灯がやや暗い。
水城	30歳代	女性	住宅地の街路灯が全体的に少ない。
水城	30歳代	女性	通古賀近隣公園のホームレス
水城	40歳代	男性	マンションの駐車場
水城	50歳代	男性	都府楼駅前。夏になると若者が夜中にたむろしている。

水城	50歳代	男性	関屋交差点近くの大町酒店から駅に向って下る坂が、隣に壁があって見通しが悪く、たびたび接触事故が起きている。壁がなくなれば見やすのですが。
水城	60歳代	男性	市民の森
水城	60歳代	男性	駐車場
水城	60歳代	男性	道路を明るくしてください。
水城	60歳代	女性	西鉄都府楼駅前コンコースは暴走族が常に集まっている。夜は学生のたまり場、朝はたばこの吸殻やビール缶、食べ物の残りなどが散乱している。
水城	70歳代	男性	道路で夜外灯がないので暗い所がある。
水城西	20歳代	男性	水城堤防や都府楼跡にホームレスや若者がいる。
水城西	20歳代	男性	J R 都府楼南の線路沿いの街灯が暗い。
水城西	20歳代	女性	・太宰府市吉松通りのスポーツ公園は暗い。女性一人で犬の散歩をしている人は危険に思います。 ・都府楼駅、外灯が切れている。
水城西	20歳代	男性	吉松のトンネル（高速道路の下）、暗くなると危険だと思う。
水城西	30歳代	男性	都府楼南5丁目の周辺が夜暗い。痴漢が出ました。通報もしました。
水城西	30歳代	女性	つくし保育所の前の道で高架線の下（トンネル）を出た所の十字路は、通学路にもかかわらず横断歩道もなく、朝スピードを出す車が多いので、いつも危ないと思っています。信号をつけてほしいです。
水城西	30歳代	女性	駅からの道、街灯が暗い。若者が河川敷やコンビニ、駅周辺でたむろしている。
水城西	40歳代	女性	吉松の室町・吉松東地、メイン通りから一歩中に入ると、道は狭く、行き止まりや人の目の届かない所がある。
水城西	60歳代	女性	全体に家の周囲の街灯が少ないように思います。
水城西	70歳代	女性	田や畑多し。以前はバイクなど頻繁に壊されていました。
水城西	70歳代	男性	まだ家から駅までの道筋そのものが照明度も低く危険だらけで、娘二人が帰宅時ひたたくりに遭い、被害調書をとられたにもかかわらず無しのつぶて。これからも安全で住みやすい環境を皆で考えていきたいものです。
水城西	70歳代	女性	川端を通る時不安を感じる。引ったくり事件を聞いて。
太宰府西	20歳代	女性	空き巣の被害が近所で多発していることが不安です（長浦台地区）。
太宰府西	30歳代	女性	J R 都府楼駅からニトリ裏に続く田んぼ道、高架下、夜暗くて気味が悪い。
太宰府西	30歳代	女性	観世音寺在任時、泥棒に入られた。
太宰府西	30歳代	男性	街灯が少ない又は暗い。歩道などは下から光が当たる器具の設置が望ましい。 ※相手の顔が見やすい（確認しやすい）。
太宰府西	30歳代	男性	太宰府西小学校の裏の道（池側）
太宰府西	40歳代	女性	公園付近
太宰府西	50歳代	女性	西鉄二日市東出口から朱雀1丁目までの道路が夜とても暗い。
太宰府西	50歳代	女性	太宰府西小学校裏門～大池横（学校横）の道
太宰府西	60歳代	男性	南体育館前通りが夜間極めて暗い。
太宰府西	60歳代	男性	太宰府西小学校西側の池付近の交通量の少ない所。時折、未成年者が喫煙、飲酒した跡がある。
太宰府西	60歳代	男性	近隣公園の照明が暗い。
太宰府西	60歳代	女性	この地域は空き巣が多いと聞いている。
太宰府西	60歳代	男性	交通事故防止等に力を入れるべき。住宅街のスピード出し過ぎの車が危険。
太宰府西	60歳代	男性	街灯が少ない。隣町との格差あり。市が差別している。有力市議会議員の有無で差が極端に大と感じる。
太宰府西	60歳代	女性	団地内にある公園。昼間は営業の人の昼食場になり、夜は学生の集り所になっている。
太宰府西	70歳代	男性	夜間のスポーツ公園付近
太宰府西	70歳代	男性	遊歩道（つつじヶ丘第三公園山側の）
太宰府西	70歳代	男性	公園周辺
国分	20歳代	女性	近所、車のスピードの出し過ぎetc.
国分	30歳代	女性	水城ヶ丘ファミリーマート交差点
国分	30歳代	女性	細い道に街灯が少ない。
国分	30歳代	女性	夜、近所の街灯が薄暗い。
国分	40歳代	女性	都府楼駅から国分までの裏道

第2章 調査結果の分析

国分	40歳代	女性	自宅周辺の街灯が少なく暗い。
国分	40歳代	女性	国分寺より上の方へ上がる道、夜、人通りも少なく暗い。
国分	50歳代	女性	国分区の街灯が少なくて暗い。
国分	60歳代	女性	スーパー、コンビニ、駅、学校
国分	60歳代	男性	街路灯が少ない。
国分	60歳代	男性	夜の街灯の明かりが暗い。もっとたくさんあった方がいい。
国分	60歳代	男性	国分小学校の周辺
国分	60歳代	女性	国分寺前交差点から国分寺一坂本一の裏道
国分	70歳代	男性	夜間歩いていて街灯のない所（以前はガソリンスタンドがあった所、高速道路の下、水城3丁目交差点付近、ラーメン店付近等）が暗い。
不明	20歳代	女性	J R 都府楼駅から善光会館への道。街灯が少なすぎる。
不明	20歳代	女性	筑陽学園のグラウンド前の通りの電灯が少ない。
不明	20歳代	女性	五条駅とスーパーマミーズ、西鉄ストア前の横断歩道は、消えかけ、1つだけで歩行者は皆適当に渡っている。防犯というか危険だと思う。
不明	20歳代	女性	五条台、青山付近は家が多く、塀が高い所もあり、死角が多い。私の家は2年連続で空き巣、盗撮の犯罪に遭った。
不明	20歳代	女性	家の近くの通りが狭く、車が通ると人が通れない。
不明	20歳代	女性	水城駅方面（特にセブンイレブン）からJAまでの道。以前、マルキョウ前でひったくりに遭いました。
不明	30歳代	男性	五条駅周辺
不明	30歳代	男性	仕方ないと思うが、水城跡の所からか周りの田んぼからかヘビが出るので怖い。去年は2回出て怖かった。
不明	30歳代	男性	太宰府Jボウル周辺は注意した方がいいです。
不明	40歳代	女性	駅から家まで自転車や車が高速で走っているので老人家族が心配。特に1人は耳が聞こえないので。
不明	40歳代	女性	線路、駅周辺
不明	50歳代	男性	J R 水城駅、西鉄都府楼駅から自宅に帰る道の一部に暗い所（街灯がない間隔が長い）がある。
不明	50歳代	男性	電柱→家に入れる。
不明	50歳代	男性	ルミエールからJ R の都府楼南駅に向う高速道路下のトンネルの部分に照明灯がなく、夜は真っ暗で非常に危ない。いつ犯罪が発生してもおかしくない状態です。行政として放置しているのはおかしい。至急照明等をつける処置をしていただきたい。
不明	50歳代	男性	深夜のパチンコ屋の立体駐車場
不明	60歳代	女性	歩道の幅が狭いので、すれ違うのに危険（ひったくり）。
不明	60歳代	女性	都府楼南駅辺りは外灯がなく暗いので、危険な場所だと思います。

11. 消費生活の安定

(1) 不当請求や不適正な取引行為の被害状況（問34、問34付問1）

- 全体では「被害を受けた」人は3.2%、「直接の被害はないが不安を感じた」人は14.1%。
- 被害を受けた、不安を感じた内容で最も多いのは「点検商法、訪問販売（消火器・浄水器・シロアリ駆除等）」。

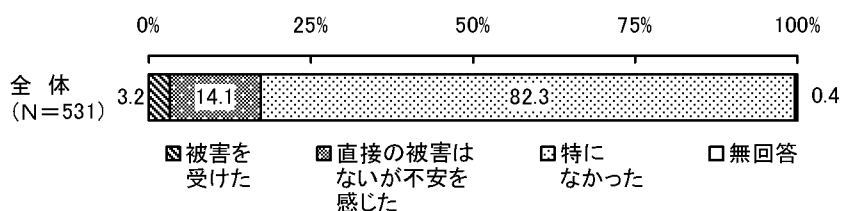
この1年間に架空、不当請求や不適正な取引行為の「被害を受けた」と答えた人は3.2%、「直接の被害はないが不安を感じた」は14.1%、「特になかった」は82.3%となっている。

性別でみると、「被害を受けた」は女性が5.0%と男性の0.9%を上回っている。

年代別にみると、20歳代で「被害を受けた」（10.5%）、もしくは「直接の被害はないが不安を感じた」（15.8%）と答えた人の割合が26.3%と比較的高くなっている。

小学校区別では、太宰府小学校区で「被害を受けた」（3.6%）、もしくは「直接の被害はないが不安を感じた」（18.1%）と答えた人の割合が21.7%と他校区よりもやや高い。

問34. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為（点検商法やキャッチセールス等）の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。（○は1つ）



		標本数	被害を受けた (%)	直接の被害はないが不安を感じた (%)	特になかった (%)	無回答 (%)
全体		531	3.2	14.1	82.3	0.4
性別	男性	225	0.9	16.0	83.1	-
	女性	298	5.0	12.8	81.5	0.7
	無回答	8	-	12.5	87.5	-
年代別	20歳代	57	10.5	15.8	73.7	-
	30歳代	86	1.2	11.6	87.2	-
	40歳代	73	5.5	13.7	80.8	-
	50歳代	97	4.1	11.3	84.5	-
	60歳代	136	0.7	18.4	79.4	1.5
	70歳以上	81	1.2	11.1	87.7	-
	無回答	1	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	3.6	18.1	78.3	-
	太宰府東小学校区	54	1.9	13.0	83.3	1.9
	太宰府南小学校区	51	2.0	11.8	86.3	-
	水城小学校区	63	1.6	7.9	90.5	-
	水城西小学校区	48	-	18.8	81.3	-
	太宰府西小学校区	92	4.3	13.0	81.5	1.1
	国分小学校区	74	2.7	14.9	82.4	-
	わからない	61	6.6	16.4	77.0	-
無回答	5	20.0	-	80.0	-	

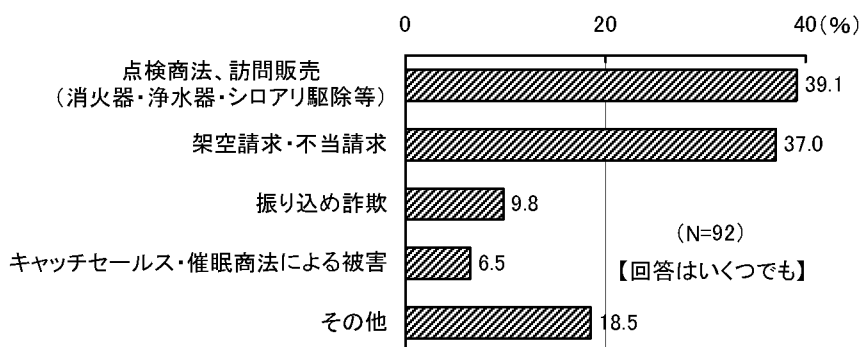
第2章 調査結果の分析

また、「被害を受けた」、もしくは「直接の被害はないが不安を感じた」人（92人）の、その内容は「点検商法、訪問販売（消火器・浄水器・シロアリ駆除等）」が最も多く39.1%、次いで「架空請求・不当請求」が37.0%、「振り込め詐欺」が9.8%、「キャッチセールス・催眠商法による被害」が6.5%となっている。

性別にみると、男性では「点検商法、訪問販売（消火器・浄水器・シロアリ駆除等）」の被害が最も多いが、女性では「架空請求・不当請求」が最も多くなっている。

年代別にみると、20歳代と50歳代では「架空請求・不当請求」、その他の年代では「点検商法、訪問販売（消火器・浄水器・シロアリ駆除等）」が多い。

問34 付問1. 【被害を受けた・直接の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします。具体的には、どのような被害や不安でしたか。（〇はいくつでも）



		標本数	架空請求・不当請求	シロアリ駆除・浄水器・点検商法、訪問販売	催眠・キャッチセールスによる被害	振り込め詐欺	その他	無回答
全体		92	34	36	6	9	17	3
		100.0	37.0	39.1	6.5	9.8	18.5	3.3
性別	男性	38	31.6	44.7	10.5	10.5	21.1	2.6
	女性	53	41.5	34.0	3.8	9.4	17.0	3.8
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-
年代別	20歳代	15	46.7	26.7	6.7	13.3	13.3	-
	30歳代	11	27.3	54.5	-	9.1	18.2	-
	40歳代	14	35.7	42.9	14.3	14.3	7.1	7.1
	50歳代	15	40.0	26.7	-	13.3	33.3	-
	60歳代	26	38.5	42.3	11.5	7.7	15.4	-
	70歳以上	10	30.0	50.0	-	-	20.0	20.0
	無回答	1	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	18	27.8	55.6	5.6	5.6	11.1	-
	太宰府東小学校区	8	25.0	50.0	12.5	37.5	-	-
	太宰府南小学校区	7	57.1	28.6	28.6	14.3	28.6	-
	水城小学校区	6	16.7	50.0	-	16.7	16.7	-
	水城西小学校区	9	55.6	33.3	11.1	11.1	11.1	-
	太宰府西小学校区	16	25.0	25.0	6.3	-	31.3	18.8
	国分小学校区	13	53.8	30.8	-	7.7	15.4	-
	わからない	14	35.7	42.9	-	7.1	28.6	-
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-

12. 環境行政の総合的推進について

(1) 二酸化炭素削減や大気汚染対策の実践 (問 35)

●全体では、約半数の人が「ほぼ毎日実践している」。

アイドリングストップや節電など、二酸化炭素排出削減や大気汚染防止のための活動について、「ほぼ毎日実践している」が52.0%で半数を超えている。「ほとんど実践していない」は25.2%となっており、残りの約2割の人は、週に1回から年に数回程度の実践となっている。

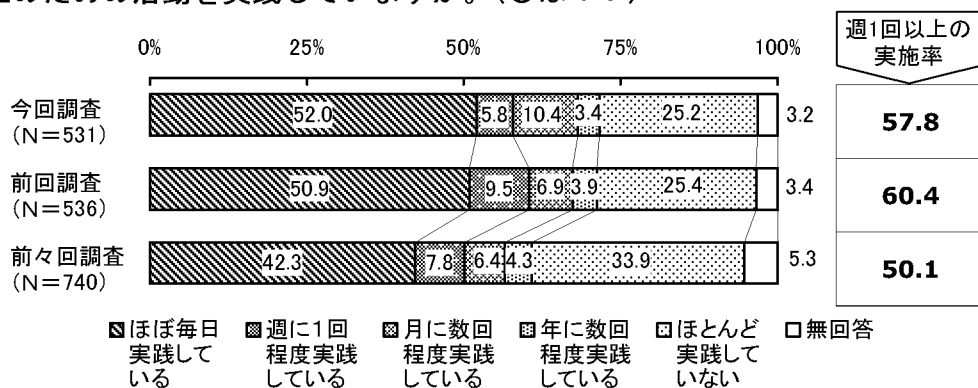
経年比較でみると、「ほぼ毎日実践している」は増加傾向にある。

性別にみると、「ほぼ毎日実践している」は女性の方が7.8ポイント高く、「ほとんど実践していない」は男性の方が8.1ポイント高くなっている。

年代別にみると、40歳代と60歳代、70歳以上で「ほぼ毎日実践している」が5割を超えており、他の年代よりも高くなっている。

小学校区別にみると、「ほぼ毎日実践している」が太宰府小学校区(59.0%)や水城小学校区(57.1%)で6割近くと高いが、一方太宰府東小学校区は42.6%にとどまっており、小学校区によって差がある。

問 35. あなたは日頃からアイドリングストップや節電など、二酸化炭素排出削減や大気汚染防止のための活動を実践していますか。(○は1つ)



		標本数	ほぼ毎日実践している	週に1回程度実践している	月に数回程度実践している	年に数回程度実践している	ほとんど実践していない	無回答	の週1回以上の実施率
全体		531	276	31	55	18	134	17	307
		100.0	52.0	5.8	10.4	3.4	25.2	3.2	57.8
性別	男性	225	47.6	4.9	10.7	4.0	30.2	2.7	52.5
	女性	298	55.4	6.4	9.7	2.7	22.1	3.7	61.8
	無回答	8	50.0	12.5	25.0	12.5	-	-	62.5
年代別	20歳代	57	47.4	7.0	7.0	3.5	35.1	-	54.4
	30歳代	86	47.7	4.7	17.4	3.5	26.7	-	52.4
	40歳代	73	54.8	9.6	8.2	1.4	24.7	1.4	64.4
	50歳代	97	47.4	9.3	9.3	4.1	25.8	4.1	56.7
	60歳代	136	56.6	4.4	8.1	2.2	23.5	5.1	61.0
	70歳以上	81	54.3	1.2	12.3	6.2	19.8	6.2	55.5
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	59.0	7.2	8.4	4.8	19.3	1.2	66.2
	太宰府東小学校区	54	42.6	9.3	11.1	1.9	31.5	3.7	51.9
	太宰府南小学校区	51	49.0	-	15.7	5.9	25.5	3.9	49.0
	水城小学校区	63	57.1	6.3	11.1	3.2	20.6	1.6	63.4
	水城西小学校区	48	52.1	6.3	6.3	4.2	27.1	4.2	58.4
	太宰府西小学校区	92	53.3	5.4	7.6	1.1	29.3	3.3	58.7
	国分小学校区	74	55.4	2.7	14.9	4.1	18.9	4.1	58.1
	わからない	61	44.3	9.8	9.8	1.6	31.1	3.3	54.1
	無回答	5	20.0	-	-	20.0	40.0	20.0	20.0

(2) 省エネルギー・省資源の活動について (問 36)

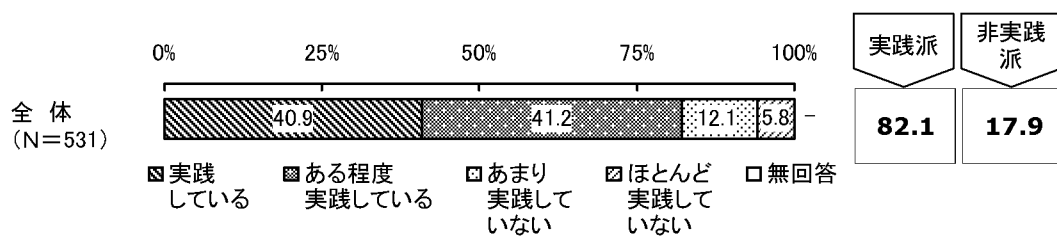
●全体での『実践派』は8割を超えており、特に女性は積極的に実践している。

節電や節水、エコバックの使用などの省エネルギー・省資源活動について、「実践している」は40.9%、「ある程度実践している」は41.2%となっており、これらを合わせた『実践派』は82.1%となっている。「ほとんど実践していない」は5.8%である。

性別にみると、女性の『実践派』は85.5%と男性(76.9%)よりも多く、そのうち「実践している」女性は男性よりも18.1ポイントも高く、男性よりも女性の方がより積極的にこれらの活動を実践していることがわかる。

年代別にみると、『実践派』が70歳以上では91.4%と高く、逆に20歳代では68.5%と低い。小学校区別にみると、太宰府小学校区と太宰府南小学校区の『実践派』が約85%と高く、太宰府東小学校区では75.9%と低い。

問 36. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動(節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど)を実践していますか。(○は1つ)



		標本数	い実 る践 して	い実あ る践る し程 て度	な践あ いしま てり い実	い実ほ な践と いしん てど	無 回 答	実 践 派	非 実 践 派
全体		531	217	219	64	31	-	436	95
		100.0	40.9	41.2	12.1	5.8	-	82.1	17.9
性別	男性	225	30.2	46.7	14.7	8.4	-	76.9	23.1
	女性	298	48.3	37.2	10.4	4.0	-	85.5	14.4
	無回答	8	62.5	37.5	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	57	43.9	24.6	17.5	14.0	-	68.5	31.5
	30歳代	86	41.9	37.2	14.0	7.0	-	79.1	21.0
	40歳代	73	41.1	39.7	11.0	8.2	-	80.8	19.2
	50歳代	97	36.1	47.4	13.4	3.1	-	83.5	16.5
	60歳代	136	39.0	44.9	12.5	3.7	-	83.9	16.2
	70歳以上	81	45.7	45.7	4.9	3.7	-	91.4	8.6
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	39.8	45.8	10.8	3.6	-	85.6	14.4
	太宰府東小学校区	54	33.3	42.6	20.4	3.7	-	75.9	24.1
	太宰府南小学校区	51	39.2	47.1	11.8	2.0	-	86.3	13.8
	水城小学校区	63	44.4	34.9	17.5	3.2	-	79.3	20.7
	水城西小学校区	48	47.9	33.3	12.5	6.3	-	81.2	18.8
	太宰府西小学校区	92	41.3	41.3	7.6	9.8	-	82.6	17.4
	国分小学校区	74	41.9	40.5	10.8	6.8	-	82.4	17.6
	わからない	61	41.0	41.0	8.2	9.8	-	82.0	18.0
	無回答	5	20.0	60.0	20.0	-	-	80.0	20.0

13. 生活環境の向上

(1) 自宅周辺の衛生環境（問37）

●全体では、73.7%の人が自宅周辺の衛生環境を肯定的にとらえている。

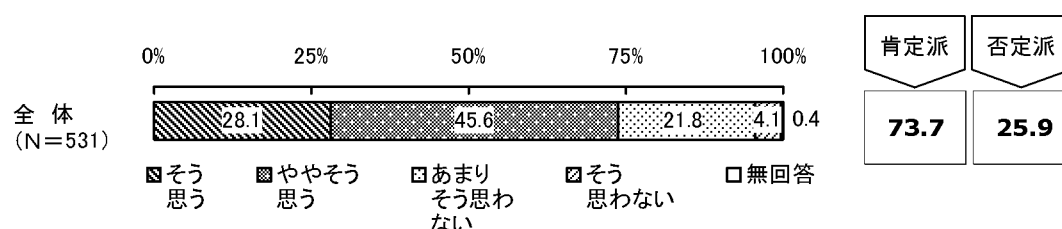
自宅周辺の環境が清潔で衛生的だと思うかをたずねたところ、「そう思う」は28.1%、「ややそう思う」は45.6%でこれらを合わせた『肯定派』は73.7%となっている。「あまりそう思わない」の21.8%と「そう思わない」の4.1%を合わせた『否定派』は25.9%となっている。

性別にみると、『肯定派』の割合は男性が76.5%、女性が71.1%となっており、男性の方が衛生環境を肯定的にとらえている人が多い。

年代別にみると、60歳代で『肯定派』が79.4%と相対的に高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区と太宰府西小学校区で『肯定派』が約8割と高いのに対し、太宰府南小学校区と水城小学校区では『肯定派』が7割弱と低くなっている。

問37. あなたは自宅周辺の環境が清潔で衛生的だと思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		531	149	242	116	22	2	73.7	25.9
性別	男性	225	32.9	43.6	19.6	3.6	0.4	76.5	23.2
	女性	298	23.8	47.3	23.8	4.7	0.3	71.1	28.5
	無回答	8	50.0	37.5	12.5	-	-	87.5	12.5
年代別	20歳代	57	24.6	45.6	26.3	3.5	-	70.2	29.8
	30歳代	86	25.6	48.8	23.3	2.3	-	74.4	25.6
	40歳代	73	27.4	42.5	24.7	5.5	-	69.9	30.2
	50歳代	97	21.6	47.4	25.8	5.2	-	69.0	31.0
	60歳代	136	31.6	47.8	16.9	3.7	-	79.4	20.6
	70歳以上	81	34.6	39.5	18.5	4.9	2.5	74.1	23.4
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	25.3	49.4	24.1	1.2	-	74.7	25.3
	太宰府東小学校区	54	37.0	44.4	13.0	3.7	1.9	81.4	16.7
	太宰府南小学校区	51	21.6	47.1	27.5	3.9	-	68.7	31.4
	水城小学校区	63	30.2	38.1	27.0	4.8	-	68.3	31.8
	水城西小学校区	48	29.2	43.8	20.8	6.3	-	73.0	27.1
	太宰府西小学校区	92	33.7	45.7	18.5	2.2	-	79.4	20.7
	国分小学校区	74	29.7	43.2	18.9	6.8	1.4	72.9	25.7
	わからない	61	16.4	52.5	24.6	6.6	-	68.9	31.2
	無回答	5	20.0	40.0	40.0	-	-	60.0	40.0

(2) 環境マナーの順守 (問 38)

●全体では、約6割の人が環境マナーは守られていると感じており、高齢層でそう感じている人が多い。

居住地域において、ゴミ出しのマナーや犬・猫の飼い方、近隣騒音などの環境マナーが守られているかについては、「かなり守られている」が13.6%、「ある程度守られている」が49.2%で、これらを合わせた『守られている』は62.8%となっている。一方で、「あまり守られていない」は29.2%、「ほとんど守られていない」は7.5%で、これらを合わせた『守られていない』は36.7%となっている。

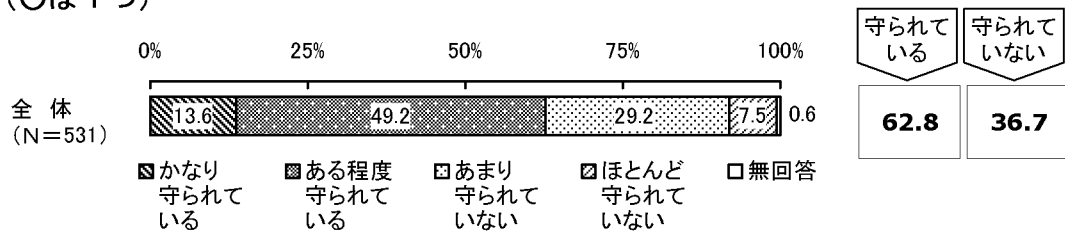
性別にみると、男性の『守られている』は64.9%と女性(60.4%)よりやや高くなっている。

年代別にみると、年齢が上がるほど『守られている』の割合が高くなる傾向にある。20歳代では「ほとんど守られていない」が12.3%と唯一1割を超えている。

小学校区別にみると、水城西小学校区では『守られている』の割合が54.2%と他の小学校区に比べて低いが、「かなり守られている」は22.9%と最も高くなっている。

問 38. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草など空き地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。

(○は1つ)



		標本数	かなり守られている (%)	ある程度守られている (%)	あまり守られていない (%)	ほとんど守られていない (%)	無回答 (%)	守られている (%)	守られていない (%)
全体		531	13.6	49.2	29.2	7.5	0.6	62.8	36.7
性別	男性	225	12.9	52.0	28.0	6.7	0.4	64.9	34.7
	女性	298	13.8	46.6	30.5	8.4	0.7	60.4	38.9
	無回答	8	25.0	62.5	12.5	-	-	87.5	12.5
年代別	20歳代	57	10.5	49.1	28.1	12.3	-	59.6	40.4
	30歳代	86	10.5	44.2	38.4	5.8	1.2	54.7	44.2
	40歳代	73	9.6	52.1	32.9	5.5	-	61.7	38.4
	50歳代	97	10.3	54.6	25.8	8.2	1.0	64.9	34.0
	60歳代	136	14.7	50.7	26.5	7.4	0.7	65.4	33.9
	70歳以上	81	23.5	43.2	25.9	7.4	-	66.7	33.3
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	8.4	56.6	30.1	3.6	1.2	65.0	33.7
	太宰府東小学校区	54	11.1	50.0	29.6	9.3	-	61.1	38.9
	太宰府南小学校区	51	13.7	52.9	29.4	3.9	-	66.6	33.3
	水城西小学校区	63	9.5	54.0	27.0	9.5	-	63.5	36.5
	水城西小学校区	48	22.9	31.3	39.6	6.3	-	54.2	45.9
	太宰府西小学校区	92	15.2	51.1	27.2	6.5	-	66.3	33.7
	国分小学校区	74	17.6	47.3	25.7	9.5	-	64.9	35.2
	わからない	61	11.5	44.3	27.9	13.1	3.3	55.8	41.0
無回答	5	20.0	40.0	40.0	-	-	60.0	40.0	

(3) 環境に関する学習会への参加 (問 39)

●環境に関する学習会等に参加したことがある人は、全体の1割強である。

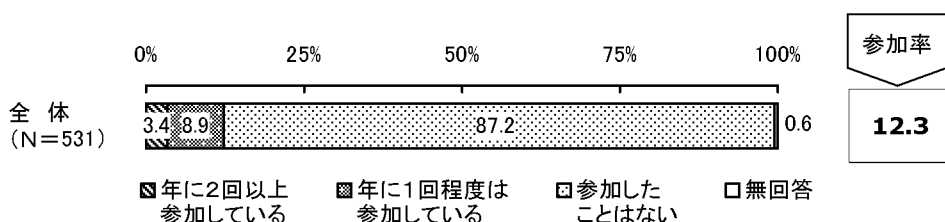
環境に関する学習会や講演会への参加状況について、「年に2回以上参加している」が3.4%、「年に1回程度は参加している」が8.9%で、両方を合わせた『参加率』は12.3%にとどまり、87.2%の人は「参加したことはない」となっている。

性別にみると、男性の『参加率』は14.6%と女性(10.1%)よりも高い。

年代別にみると、年齢が高くなるほど『参加率』は高くなる傾向にあり、70歳以上では24.7%となっている。

小学校区別にみると、水城西小学校区では『参加率』が20.9%と、他の小学校区と比べてかなり高い。

問 39. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会等に参加したことがありますか。(○は1つ)



		標本数	い上年る参 加2 し回 て以	て度年 いはに る参1 加回 し程	と参 は加 ない たこ	無 回 答	参 加 率
全体		531 100.0	18 3.4	47 8.9	463 87.2	3 0.6	65 12.3
性別	男性	225	5.3	9.3	84.9	0.4	14.6
	女性	298	1.7	8.4	89.3	0.7	10.1
	無回答	8	12.5	12.5	75.0	-	25.0
年代別	20歳代	57	-	5.3	94.7	-	5.3
	30歳代	86	-	7.0	91.9	1.2	7.0
	40歳代	73	1.4	8.2	90.4	-	9.6
	50歳代	97	2.1	7.2	89.7	1.0	9.3
	60歳代	136	7.4	7.4	84.6	0.7	14.8
	70歳以上	81	6.2	18.5	75.3	-	24.7
	無回答	1	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	7.2	9.6	81.9	1.2	16.8
	太宰府東小学校区	54	1.9	7.4	90.7	-	9.3
	太宰府南小学校区	51	2.0	9.8	88.2	-	11.8
	水城西小学校区	63	3.2	11.1	85.7	-	14.3
	水城西小学校区	48	2.1	18.8	79.2	-	20.9
	太宰府西小学校区	92	4.3	3.3	92.4	-	7.6
	国分小学校区	74	4.1	10.8	85.1	-	14.9
	わからない	61	-	3.3	93.4	3.3	3.3
	無回答	5	-	20.0	80.0	-	20.0

14. 緑の保全と創造（問40）

●全体では『肯定派』が9割近くを占めており、『否定派』は1割程度である。

太宰府市の自然が豊かであると感じるかどうかをたずねたところ、「そう思う」が41.6%、「ややそう思う」が46.5%で、これらを合わせた『肯定派』が88.1%と9割近くに達している。一方、「あまりそう思わない」（9.2%）、「そう思わない」（1.9%）を合わせた『否定派』は11.1%である。

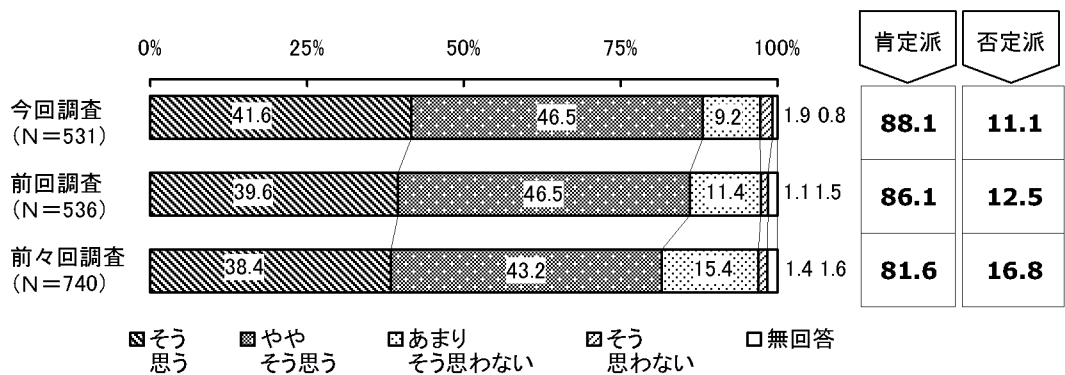
経年比較でみると、『肯定派』は増加傾向にある。

性別にみても大差はないが、「そう思う」の割合は男性の方が3ポイントほど高く、強く肯定している人は男性の方が若干多い。

年代別にみると、『肯定派』が50歳代で82.5%と、他の年代よりもやや低くなっている。

小学校区別にみると、国分小学校区で『肯定派』が96.0%と最も高く、反対に太宰府南小学校区では74.6%と唯一7割台で他の小学校区に比べても際立って低い。

問40. あなたは太宰府市の自然は豊かであると感じますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		531	221	247	49	10	4	88.1	11.1
性別	男性	225	44.0	42.2	10.2	2.7	0.9	86.2	12.9
	女性	298	40.6	48.7	8.7	1.3	0.7	89.3	10.0
	無回答	8	12.5	87.5	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	57	38.6	47.4	12.3	1.8	-	86.0	14.1
	30歳代	86	40.7	51.2	7.0	-	1.2	91.9	7.0
	40歳代	73	47.9	41.1	11.0	-	-	89.0	11.0
	50歳代	97	35.1	47.4	13.4	3.1	1.0	82.5	16.5
	60歳代	136	44.9	42.6	7.4	3.7	1.5	87.5	11.1
	70歳以上	81	42.0	50.6	6.2	1.2	-	92.6	7.4
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	44.6	44.6	9.6	-	1.2	89.2	9.6
	太宰府東小学校区	54	51.9	42.6	5.6	-	-	94.5	5.6
	太宰府南小学校区	51	27.5	47.1	17.6	5.9	2.0	74.6	23.5
	水城小学校区	63	38.1	49.2	9.5	3.2	-	87.3	12.7
	水城西小学校区	48	45.8	43.8	10.4	-	-	89.6	10.4
	太宰府西小学校区	92	32.6	56.5	8.7	2.2	-	89.1	10.9
	国分小学校区	74	56.8	39.2	2.7	1.4	-	96.0	4.1
	わからない	61	36.1	45.9	11.5	3.3	3.3	82.0	14.8
	無回答	5	40.0	40.0	20.0	-	-	80.0	20.0

15. 快適な生活空間づくり

(1) 住環境の快適さについての認識 (問 41)

●全体では『肯定派』が約7割、『否定派』が約3割である。

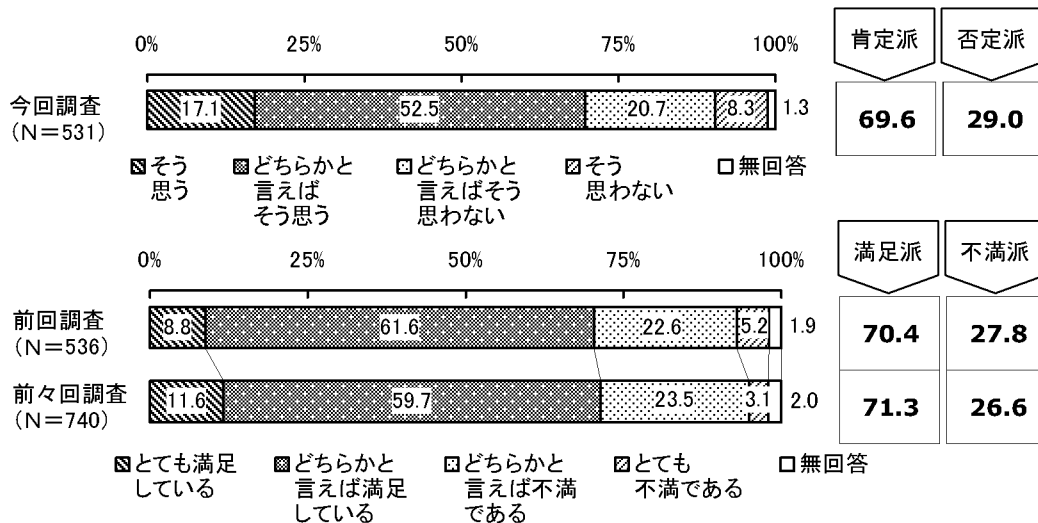
居住地域の住環境が、道路や公園などの都市基盤の整備といった点で快適であると感じるかどうかをたずねたところ、「そう思う」が17.1%、「どちらかと言えばそう思う」が52.2%で、これらを合わせた『肯定派』は69.6%である。「どちらかと言えばそう思わない」20.7%と「そう思わない」8.3%を合わせた『否定派』は29.0%となっている。

性別にみると、男女ともほぼ同様の傾向を示している。

年代別にみると、40歳代で『肯定派』が64.4%と他の年代よりも低くなっている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区で『肯定派』が82.6%と際立って高くなっている。

問 41. あなたのお住まいの周辺地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えば思わない	とても思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		531	17.1	52.5	20.7	8.3	1.3	69.6	29.0
性別	男性	225	18.7	51.6	20.4	8.0	1.3	70.3	28.4
	女性	298	15.1	53.7	21.5	8.4	1.3	68.8	29.9
	無回答	8	50.0	37.5	-	12.5	-	87.5	12.5
年代別	20歳代	57	24.6	50.9	17.5	7.0	-	75.5	24.5
	30歳代	86	16.3	53.5	22.1	7.0	1.2	69.8	29.1
	40歳代	73	12.3	52.1	23.3	12.3	-	64.4	35.6
	50歳代	97	11.3	55.7	25.8	6.2	1.0	67.0	32.0
	60歳代	136	17.6	52.2	19.1	8.8	2.2	69.8	27.9
	70歳以上	81	22.2	50.6	16.0	8.6	2.5	72.8	24.6
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	14.5	49.4	25.3	8.4	2.4	63.9	33.7
	太宰府東小学校区	54	16.7	57.4	16.7	7.4	1.9	74.1	24.1
	太宰府南小学校区	51	13.7	51.0	25.5	9.8	-	64.7	35.3
	水城小学校区	63	12.7	57.1	25.4	4.8	-	69.8	30.2
	水城西小学校区	48	16.7	52.1	16.7	12.5	2.1	68.8	29.2
	太宰府西小学校区	92	26.1	56.5	12.0	5.4	-	82.6	17.4
	国分小学校区	74	13.5	52.7	27.0	6.8	-	66.2	33.8
	わからない	61	19.7	41.0	19.7	14.8	4.9	60.7	34.5
無回答	5	20.0	80.0	-	-	-	100.0	-	

(2) 商業施設等の利便性に対する意識 (問 42)

●全体では『肯定派』が約7割、『否定派』が約3割となっているが、小学校区によって差が生じている。

商店や学校、病院等の近さなど、生活する上での利便性についてたずねたところ、「そう思う」が26.6%、「どちらかと言えばそう思う」が43.1%で、これらを合わせた『肯定派』は69.7%である。一方で、「どちらかと言えばそう思わない」は20.7%、「そう思わない」は8.7%で、これらを合わせた『否定派』は29.4%である。

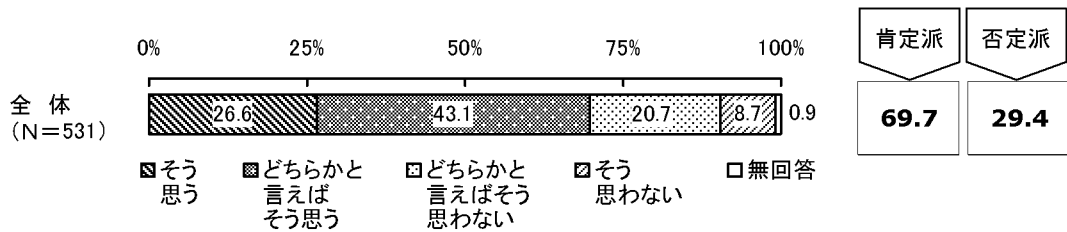
性別にみると、男女ともに同様の結果となっている。

年代別にみると、20歳代と30歳代の『肯定派』が他の年代よりも高くなっている。

小学校区別にみると、『肯定派』の割合が高いのは水城西小学校区で81.2%と8割を超えているのに対し、逆に『肯定派』の割合が最も低いのは国分小学校区で56.7%と6割を下回っており、小学校区による差が大きい。

問 42. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利と思いますか。

(○は1つ)



		標本数	そう思う	思言ど うえち ばらそ うと	思言ど わえち なばら いそか うと	いそ う思 わな	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		531	141	229	110	46	5	370	156
		100.0	26.6	43.1	20.7	8.7	0.9	69.7	29.4
性 別	男 性	225	28.4	41.3	21.3	8.4	0.4	69.7	29.7
	女 性	298	25.2	44.0	20.5	9.1	1.3	69.2	29.6
	無回答	8	25.0	62.5	12.5	-	-	87.5	12.5
年 代 別	20歳代	57	35.1	45.6	10.5	8.8	-	80.7	19.3
	30歳代	86	34.9	40.7	18.6	4.7	1.2	75.6	23.3
	40歳代	73	17.8	46.6	27.4	8.2	-	64.4	35.6
	50歳代	97	20.6	44.3	19.6	13.4	2.1	64.9	33.0
	60歳代	136	25.0	40.4	26.5	7.4	0.7	65.4	33.9
	70歳以上	81	28.4	44.4	16.0	9.9	1.2	72.8	25.9
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	83	31.3	38.6	14.5	13.3	2.4	69.9	27.8
	太宰府東小学校区	54	20.4	55.6	16.7	7.4	-	76.0	24.1
	太宰府南小学校区	51	11.8	54.9	27.5	5.9	-	66.7	33.4
	水城小学校区	63	30.2	34.9	19.0	14.3	1.6	65.1	33.3
	水城西小学校区	48	33.3	47.9	12.5	6.3	-	81.2	18.8
	太宰府西小学校区	92	38.0	40.2	18.5	3.3	-	78.2	21.8
	国分小学校区	74	13.5	43.2	32.4	10.8	-	56.7	43.2
	わからない	61	26.2	39.3	23.0	8.2	3.3	65.5	31.2
	無回答	5	40.0	20.0	40.0	-	-	60.0	40.0

16. 交通体系の整備

(1) バスの利便性に対する意識 (問 43)

●全体では『肯定派』が約3割で、『否定派』(約4割)よりも少ない。

市内のバスが便利かどうかたずねたところ、「そう思う」が10.4%、「どちらかと言えばそう思う」が20.7%で、これらを合わせた『肯定派』は31.1%であり、「どちらかと言えばそう思わない」(17.1%)と「そう思わない」(23.9%)を合わせた『否定派』の41.0%を下回っている。「バスを利用しないのでわからない」は26.9%である。

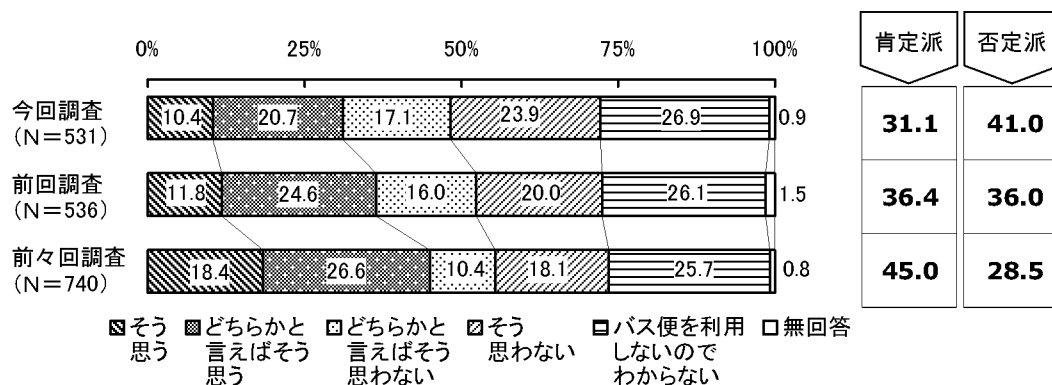
経年比較でみると、「バスを利用しないのでわからない」は約4分の1と変化はみられず、『否定派』は増加傾向にあり前々回調査に比べて12.5ポイントも高くなっている。

性別にみると、男女ともに傾向は概ね同じである。

年代別にみると、70歳以上では『肯定派』が45.6%で他の年代よりも高く、40歳代では『否定派』が54.7%と半数を超えている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区と国分小学校区において『否定派』が約5割と高くなっている。

問 43. あなたは市内のバス便は便利だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そら か 思 と う 言	な え ど い ば ち そ ら か 思 と わ 言	そう 思 わ な い	か し バ ス 便 を 利 用 し な い の で わ か ら な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		531	10.4	20.7	17.1	23.9	26.9	0.9	31.1	41.0
性別	男性	225	11.1	20.9	14.7	25.3	27.1	0.9	32.0	40.0
	女性	298	9.7	20.5	18.8	23.2	26.8	1.0	30.2	42.0
	無回答	8	12.5	25.0	25.0	12.5	25.0	-	37.5	37.5
年代別	20歳代	57	15.8	15.8	21.1	17.5	29.8	-	31.6	38.6
	30歳代	86	10.5	15.1	11.6	25.6	36.0	1.2	25.6	37.2
	40歳代	73	6.8	19.2	20.5	34.2	19.2	-	26.0	54.7
	50歳代	97	7.2	15.5	16.5	18.6	40.2	2.1	22.7	35.1
	60歳代	136	8.1	25.7	16.2	27.9	20.6	1.5	33.8	44.1
	70歳以上	81	16.0	29.6	19.8	17.3	17.3	-	45.6	37.1
無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	
小学校区別	太宰府小学校区	83	7.2	22.9	18.1	19.3	31.3	1.2	30.1	37.4
	太宰府東小学校区	54	11.1	35.2	16.7	16.7	20.4	-	46.3	33.4
	太宰府南小学校区	51	7.8	39.2	11.8	25.5	15.7	-	47.0	37.3
	水城小学校区	63	20.6	7.9	6.3	23.8	41.3	-	28.5	30.1
	水城西小学校区	48	4.2	18.8	18.8	22.9	35.4	-	23.0	41.7
	太宰府西小学校区	92	9.8	22.8	18.5	31.5	17.4	-	32.6	50.0
	国分小学校区	74	9.5	10.8	27.0	28.4	23.0	1.4	20.3	55.4
	わからない	61	11.5	13.1	16.4	19.7	34.4	4.9	24.6	36.1
無回答	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	40.0	40.0	

(2) 鉄道の利便性についての意識 (問 44)

●全体では『肯定派』が約6割で、バスに比べて便利と感じている人が多い。

市内の鉄道が便利かどうかをたずねたところ、「そう思う」が27.5%、「どちらかと言えばそう思う」が36.2%で、これらを合わせた『肯定派』は63.7%であり、バスに比べて便利であると感じている人が多い。「どちらかと言えばそう思わない」(11.7%)と「そう思わない」(13.9%)を合わせた『否定派』は25.6%、「鉄道を利用しないのでわからない」は9.6%である。

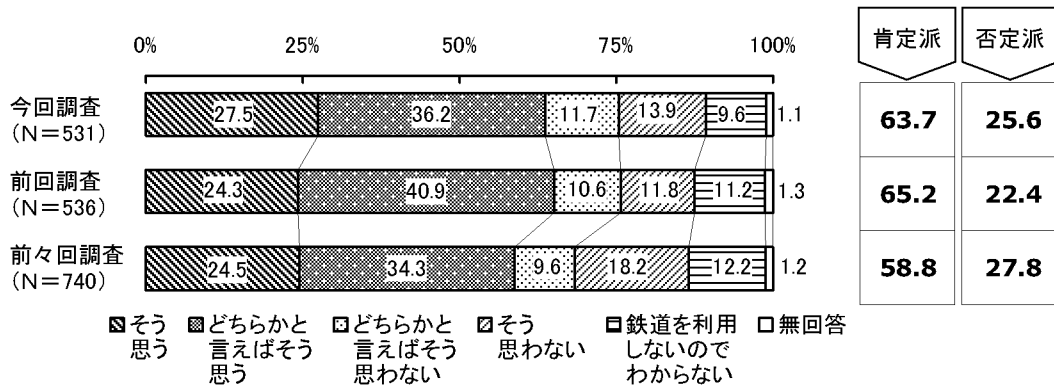
経年比較でみると、『肯定派』は前々回調査に比べて前回調査では6.4ポイント高くなっていたが、今回調査では若干減少している。

性別にみると、男性の方が『肯定派』の割合は若干高くなっている。

年代別にみると、20歳代の『肯定派』が75.4%、30歳代が69.7%と他の年代に比べて高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区と太宰府南小学校区で『否定派』が4割前後となっており、他の小学校区と比べて高い。

問 44. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そう か 思 う	な え ど い ば ち そ う か 思 わ な い	そ う 思 わ な い	ら な 鉄 道 を 利 用 し な い の で わ か ら な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		531	146	192	62	74	51	6	338	136
		100.0	27.5	36.2	11.7	13.9	9.6	1.1	63.7	25.6
性 別	男 性	225	26.2	39.6	10.2	16.0	7.1	0.9	65.8	26.2
	女 性	298	28.5	33.6	13.1	12.8	10.7	1.3	62.1	25.9
	無回答	8	25.0	37.5	-	-	37.5	-	62.5	-
年 代 別	20歳代	57	45.6	29.8	10.5	10.5	3.5	-	75.4	21.0
	30歳代	86	39.5	30.2	7.0	10.5	10.5	2.3	69.7	17.5
	40歳代	73	34.2	30.1	15.1	12.3	8.2	-	64.3	27.4
	50歳代	97	22.7	35.1	13.4	13.4	13.4	2.1	57.8	26.8
	60歳代	136	14.0	46.3	11.0	19.1	8.1	1.5	60.3	30.1
	70歳以上	81	24.7	35.8	13.6	13.6	12.3	-	60.5	27.2
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	83	41.0	32.5	9.6	10.8	4.8	1.2	73.5	20.4
	太宰府東小学校区	54	20.4	46.3	9.3	14.8	9.3	-	66.7	24.1
	太宰府南小学校区	51	9.8	43.1	15.7	23.5	7.8	-	52.9	39.2
	水城小学校区	63	44.4	34.9	6.3	1.6	11.1	1.6	79.3	7.9
	水城西小学校区	48	41.7	41.7	10.4	2.1	4.2	-	83.4	12.5
	太宰府西小学校区	92	6.5	38.0	13.0	28.3	13.0	1.1	44.5	41.3
	国分小学校区	74	20.3	35.1	14.9	17.6	12.2	-	55.4	32.5
	わからない	61	42.6	23.0	13.1	6.6	9.8	4.9	65.6	19.7
	無回答	5	20.0	20.0	20.0	-	40.0	-	40.0	20.0

(3) 道路の円滑性に対する意識 (問 45)

●全体では『肯定派』は3割に満たず、『否定派』が7割弱を占めている。

道路は渋滞もなく円滑に移動できるかどうかたずねたところ、「そう思う」が4.5%、「どちらかと言えばそう思う」が23.5%と、これらを合わせた『肯定派』は28.0%と3割弱にとどまり、「どちらかと言えばそう思わない」(28.8%)と「そう思わない」(38.4%)を合計した『否定派』が67.2%となっている。

経年比較でみると、前々回調査に比べるとややよくなったものの、前回調査とは同様の結果で改善はあまりみられていない。

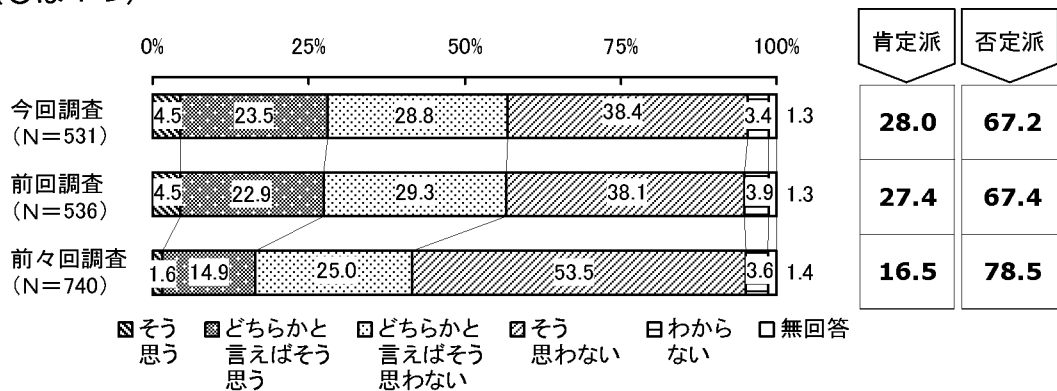
性別にみると、男性の『肯定派』は32.0%と女性(24.2%)より7.8ポイント高くなっている。

年代別にみると、40歳代と50歳代で『否定派』が7割を超えて若干高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区で『肯定派』が9.6%と、他の小学校区に比べて著しく低い値となっている。

問 45. あなたは市内の道路全般について、渋滞もなく円滑に移動できると思いますか。

(○は1つ)



		標本数	そう思う	えどち ばち そら か 思 う	な い え ど ち ら か も 思 わ な い	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	肯定 派	否定 派
全体		531	24	125	153	204	18	7	149	357
		100.0	4.5	23.5	28.8	38.4	3.4	1.3	28.0	67.2
性別	男性	225	4.9	27.1	24.4	40.9	2.2	0.4	32.0	65.3
	女性	298	4.4	19.8	32.6	37.6	3.7	2.0	24.2	70.2
	無回答	8	-	62.5	12.5	-	25.0	-	62.5	12.5
年代別	20歳代	57	8.8	26.3	19.3	43.9	1.8	-	35.1	63.2
	30歳代	86	3.5	23.3	33.7	33.7	3.5	2.3	26.8	67.4
	40歳代	73	2.7	23.3	20.5	52.1	1.4	-	26.0	72.6
	50歳代	97	2.1	20.6	30.9	42.3	3.1	1.0	22.7	73.2
	60歳代	136	5.1	22.8	27.2	36.8	5.1	2.9	27.9	64.0
	70歳以上	81	6.2	25.9	38.3	25.9	3.7	-	32.1	64.2
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-
	小学校区別	太宰府小学校区	83	3.6	6.0	28.9	53.0	6.0	2.4	9.6
太宰府東小学校区		54	5.6	16.7	27.8	46.3	1.9	1.9	22.3	74.1
太宰府南小学校区		51	2.0	29.4	37.3	29.4	2.0	-	31.4	66.7
水城小学校区		63	1.6	31.7	20.6	39.7	4.8	1.6	33.3	60.3
水城西小学校区		48	4.2	29.2	37.5	27.1	2.1	-	33.4	64.6
太宰府西小学校区		92	5.4	25.0	27.2	39.1	3.3	-	30.4	66.3
国分小学校区		74	4.1	27.0	31.1	35.1	1.4	1.4	31.1	66.2
わからない		61	9.8	29.5	23.0	31.1	3.3	3.3	39.3	54.1
無回答	5	-	20.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	60.0	

17. 産業の振興（問46）

●全体では7割弱の人が「太宰府市」で買い物をしているが、近隣他市で買い物をする人が多い小学校区もある。

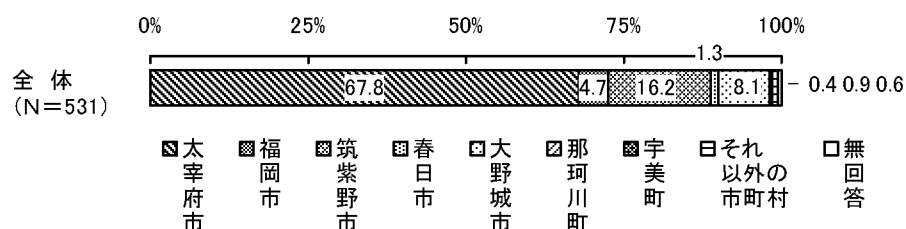
日頃、主に買い物をする場所について、「太宰府市」が最も多く 67.8%となっている。次いで「筑紫野市」で16.2%、「大野城市」が8.1%、「福岡市」が4.7%と続いている。

性別にみると、男性では、「太宰府市」の割合が女性よりも10ポイント低く、「筑紫野市」の割合が女性よりも高くなっている。

年代別にみると、20歳代では「太宰府市」が59.6%と相対的に低く、「福岡市」が14.0%と高くなっている。70歳以上では、「太宰府市」が81.5%と高くなっており、高齢者は地元で買い物をする傾向が強いことを示している。

小学校区別にみると、校区によって傾向が異なっており、「太宰府市」の割合が最も高い水城西小学校区では77.1%であるのに対して、最も低い太宰府南小学校区では45.1%である。また、太宰府南小学校区では、「筑紫野市」が51.0%で「太宰府市」を上回っている。

問46. あなたは日頃、主にどこで買い物をしていますか。（○は1つ）



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川町	宇美町	のそ市れ町以村外	無回答
全体		531	360	25	86	7	43	-	2	5	3
		100.0	67.8	4.7	16.2	1.3	8.1	-	0.4	0.9	0.6
性別	男性	225	61.8	5.3	20.9	1.3	8.9	-	-	1.3	0.4
	女性	298	71.8	4.4	12.8	1.3	7.7	-	0.7	0.7	0.7
	無回答	8	87.5	-	12.5	-	-	-	-	-	-
年代別	20歳代	57	59.6	14.0	17.5	-	7.0	-	-	1.8	-
	30歳代	86	69.8	3.5	11.6	2.3	10.5	-	1.2	-	1.2
	40歳代	73	64.4	4.1	13.7	1.4	16.4	-	-	-	-
	50歳代	97	64.9	4.1	17.5	2.1	7.2	-	1.0	2.1	1.0
	60歳代	136	65.4	4.4	21.3	1.5	5.1	-	-	1.5	0.7
	70歳以上	81	81.5	1.2	12.3	-	4.9	-	-	-	-
無回答		1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	73.5	7.2	10.8	-	2.4	-	1.2	3.6	1.2
	太宰府東小学校区	54	68.5	1.9	27.8	-	-	-	-	1.9	-
	太宰府南小学校区	51	45.1	3.9	51.0	-	-	-	-	-	-
	水城西小学校区	63	69.8	6.3	15.9	1.6	3.2	-	1.6	1.6	-
	水城西小学校区	48	77.1	6.3	6.3	4.2	6.3	-	-	-	-
	太宰府西小学校区	92	67.4	3.3	6.5	2.2	20.7	-	-	-	-
	国分小学校区	74	64.9	4.1	14.9	1.4	14.9	-	-	-	-
	わからない	61	72.1	3.3	9.8	1.6	9.8	-	-	-	3.3
	無回答	5	80.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-

18. 景観づくり

(1) 美しい自然に対する意識 (問 47)

●全体では『肯定派』が8割を超え、『否定派』を大きく上回っている。

市内の自然は美しいと思うかどうかをたずねたところ、「そう思う」が27.5%、「どちらかと言えばそう思う」が58.0%で、これらを合わせた『肯定派』は85.5%である。一方、「どちらかと言えばそう思わない」は10.5%、「そう思わない」は2.8%で、これらを合わせた『否定派』は13.3%と少ない。

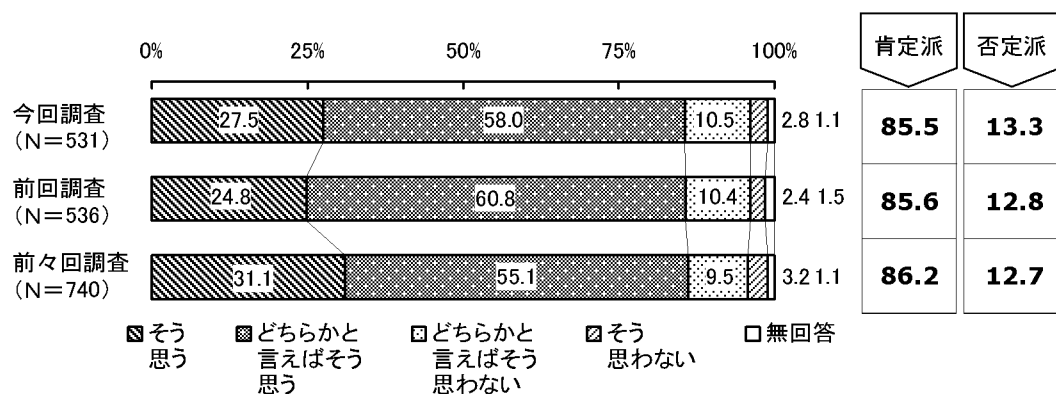
経年比較でも、大きな変化はみられない。

性別にみると、男女ともに同様の傾向を示している。

年代別にみると、70歳以上では『肯定派』が93.8%と9割を超えており、他の年代よりも高い。

小学校区別にみると、太宰府小学校区で『肯定派』は91.5%と高く、反対に水城小学校区では76.2%と最も低くなっている。

問 47. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	思言ど うえち ばらそ うと	思言ど わえち なばら いそか うと	いそ う思 わな	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全体		531	146	308	56	15	6	454	71
		100.0	27.5	58.0	10.5	2.8	1.1	85.5	13.3
性別	男性	225	28.4	56.4	11.1	3.1	0.9	84.8	14.2
	女性	298	26.5	59.1	10.4	2.7	1.3	85.6	13.1
	無回答	8	37.5	62.5	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	57	33.3	52.6	8.8	5.3	-	85.9	14.1
	30歳代	86	27.9	60.5	9.3	1.2	1.2	88.4	10.5
	40歳代	73	30.1	53.4	16.4	-	-	83.5	16.4
	50歳代	97	20.6	62.9	12.4	3.1	1.0	83.5	15.5
	60歳代	136	23.5	57.4	11.8	5.1	2.2	80.9	16.9
	70歳以上	81	35.8	58.0	3.7	1.2	1.2	93.8	4.9
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	37.3	54.2	7.2	-	1.2	91.5	7.2
	太宰府東小学校区	54	16.7	68.5	9.3	3.7	1.9	85.2	13.0
	太宰府南小学校区	51	19.6	66.7	7.8	5.9	-	86.3	13.7
	水城小学校区	63	33.3	42.9	20.6	1.6	1.6	76.2	22.2
	水城西小学校区	48	33.3	56.3	8.3	-	2.1	89.6	8.3
	太宰府西小学校区	92	20.7	65.2	9.8	4.3	-	85.9	14.1
	国分小学校区	74	32.4	55.4	9.5	2.7	-	87.8	12.2
	わからない	61	26.2	55.7	9.8	4.9	3.3	81.9	14.7
	無回答	5	-	60.0	40.0	-	-	60.0	40.0

(2) 美しい歴史的景観に対する意識 (問 48)

●全体では『肯定派』が9割を超え、市民の多くが歴史的景観に肯定的である。

市内の歴史的な景観が美しいと思うかどうかたずねたところ、「そう思う」は38.2%、「どちらかと言えばそう思う」は53.1%で、これらを合わせた『肯定派』(91.3%)が約9割を占めており、「どちらかと言えばそう思わない」(4.9%)と、「そう思わない」(2.4%)を合わせた『否定派』(7.3%)は1割にも満たない。

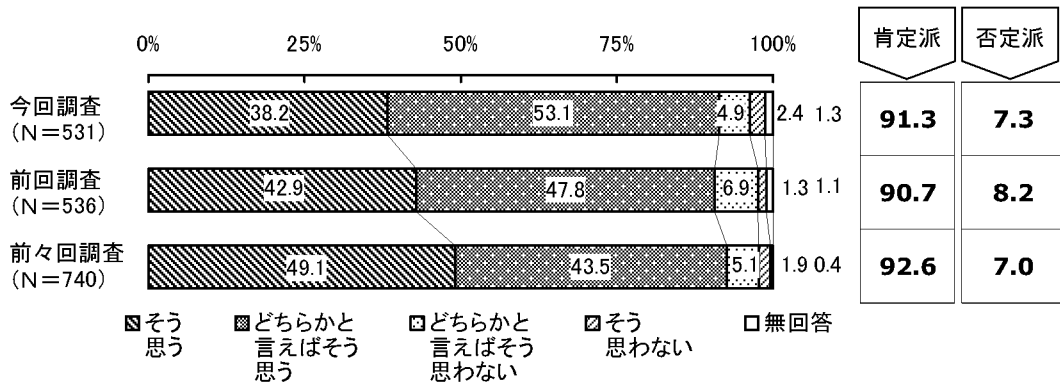
経年比較でみると『肯定派』に大きな変化はみられないが、「そう思う」という強い意識は減少傾向にある。

性別にみると、男女ともにほぼ同じ結果となっている。

年代別にみると、40歳代と60歳代で『肯定派』が9割を下回っており、他の年代よりも若干低くなっている。

小学校区別にみると、『肯定派』の割合が最も高い水城小学校区では95.2%に達している。

問 48. あなたは史跡地・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観が美しいと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		531	203	282	26	13	7	485	39
		100.0	38.2	53.1	4.9	2.4	1.3	91.3	7.3
性別	男性	225	37.8	53.3	4.4	2.7	1.8	91.1	7.1
	女性	298	38.3	53.0	5.4	2.3	1.0	91.3	7.7
	無回答	8	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	57	54.4	40.4	1.8	3.5	-	94.8	5.3
	30歳代	86	38.4	55.8	3.5	2.3	-	94.2	5.8
	40歳代	73	38.4	46.6	9.6	1.4	4.1	85.0	11.0
	50歳代	97	26.8	66.0	4.1	2.1	1.0	92.8	6.2
	60歳代	136	35.3	53.7	6.6	3.7	0.7	89.0	10.3
	70歳以上	81	45.7	48.1	2.5	1.2	2.5	93.8	3.7
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	53.0	37.3	9.6	-	-	90.3	9.6
	太宰府東小学校区	54	38.9	50.0	3.7	3.7	3.7	88.9	7.4
	太宰府南小学校区	51	37.3	54.9	5.9	2.0	-	92.2	7.9
	水城小学校区	63	44.4	50.8	3.2	-	1.6	95.2	3.2
	水城西小学校区	48	41.7	45.8	6.3	2.1	4.2	87.5	8.4
	太宰府西小学校区	92	35.9	54.3	3.3	5.4	1.1	90.2	8.7
	国分小学校区	74	27.0	66.2	4.1	1.4	1.4	93.2	5.5
	わからない	61	29.5	63.9	3.3	3.3	-	93.4	6.6
	無回答	5	-	80.0	-	20.0	-	80.0	20.0

(3) 良好な町並みに対する意識 (問 49)

●全体では『肯定派』が7割を超え、特に若年層に肯定的な人が多い。

居住地区が良好な町並みであると思うかどうかたずねたところ、「そう思う」が21.1%、「どちらかと言えばそう思う」が55.7%で、これらを合わせた『肯定派』は76.8%で、「どちらかと言えばそう思わない」(14.5%)と「そう思わない」(7.2%)を合わせた『否定派』は21.7%である。

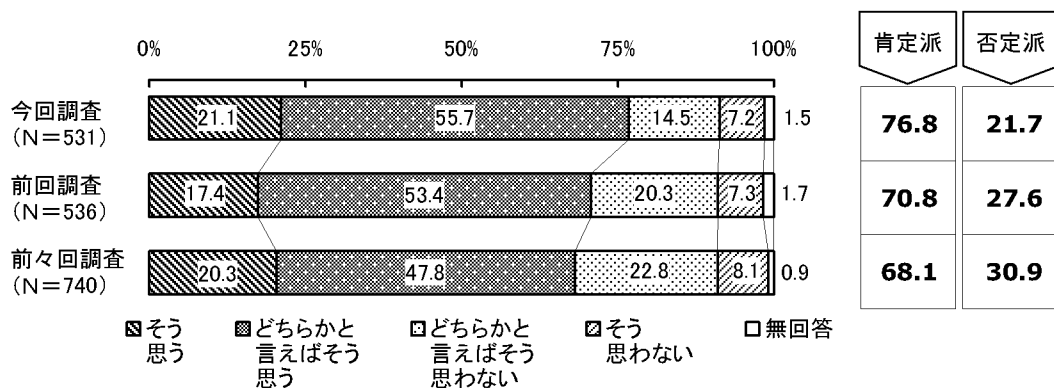
経年比較でみると、『肯定派』は前回調査よりも6ポイント高くなっており増加傾向にある。

性別にみると、女性の『肯定派』は78.9%と男性(73.8%)より5.1ポイント高い。

年代別にみると、20歳代、30歳代という若年層において『肯定派』が8割を超えており他の年代よりも高くなっている。

小学校区別にみると、水城西小学校区では『肯定派』が68.7%と7割を下回っており、他の小学校区よりも低くなっている。

問 49. あなたが住んでいる地区は、良好な街並みだと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		531	112	296	77	38	8	408	115
性別	男性	225	21.8	52.0	16.9	8.0	1.3	73.8	24.9
	女性	298	19.8	59.1	13.1	6.4	1.7	78.9	19.5
	無回答	8	50.0	37.5	-	12.5	-	87.5	12.5
年代別	20歳代	57	33.3	50.9	8.8	7.0	-	84.2	15.8
	30歳代	86	30.2	53.5	14.0	2.3	-	83.7	16.3
	40歳代	73	17.8	54.8	17.8	5.5	4.1	72.6	23.3
	50歳代	97	7.2	62.9	18.6	10.3	1.0	70.1	28.9
	60歳代	136	18.4	55.9	14.0	9.6	2.2	74.3	23.6
	70歳以上	81	25.9	54.3	12.3	6.2	1.2	80.2	18.5
無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-	
小学校区別	太宰府小学校区	83	19.3	53.0	22.9	4.8	-	72.3	27.7
	太宰府東小学校区	54	16.7	63.0	9.3	5.6	5.6	79.7	14.9
	太宰府南小学校区	51	13.7	68.6	7.8	9.8	-	82.3	17.6
	水城西小学校区	63	27.0	52.4	12.7	6.3	1.6	79.4	19.0
	水城西小学校区	48	20.8	47.9	20.8	8.3	2.1	68.7	29.1
	太宰府西小学校区	92	29.3	58.7	5.4	5.4	1.1	88.0	10.8
	国分小学校区	74	16.2	58.1	16.2	6.8	2.7	74.3	23.0
	わからない	61	23.0	44.3	21.3	11.5	-	67.3	32.8
	無回答	5	-	60.0	20.0	20.0	-	60.0	40.0

19. 情報通信基盤の整備

(1) パソコンの有無 (問 50)

●全体では半数以上の人があるが、年代による差が大きく、高齢者の所有率は高くない。

パソコンを所有しているかどうかをたずねたところ、「持っている」が 53.9%、「家族が持っている」が 22.4%となっており、8割弱の人は家庭内にパソコンがあることになる。一方で、「ない」は 22.8%となっている。

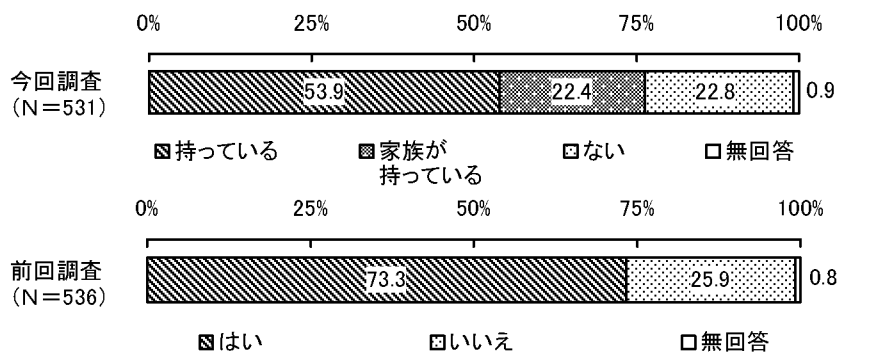
前回調査と比べると、設問の仕方が若干違うが、家庭内にパソコンがある人の割合は若干増えている。

性別にみると、男性では「持っている」が 68.9%であるが、女性は 43.6%となっている。一方で、「家族が持っている」は男性では1割にも満たないが、女性では 34.6%と3割を超えている。

年代別にみると、年齢が低いほど「持っている」割合が高くなる傾向が顕著であり、20歳代では 77.2%であるのに対して、70歳以上では 29.6%である。

小学校区別にみると、「持っている」割合が最も高い水城小学校区 (63.5%) と最も低い太宰府小学校区 (49.4%) では 14.1 ポイントの開きがある。

問 50. あなたはパソコンを持っていますか。(○は1つ)



		標本数	持っている	家族が持っている	ない	無回答
全体		531	286	119	121	5
		100.0	53.9	22.4	22.8	0.9
性別	男性	225	68.9	6.2	23.6	1.3
	女性	298	43.6	34.6	21.1	0.7
	無回答	8	12.5	25.0	62.5	-
年代別	20歳代	57	77.2	12.3	10.5	-
	30歳代	86	69.8	11.6	18.6	-
	40歳代	73	63.0	24.7	8.2	4.1
	50歳代	97	48.5	32.0	19.6	-
	60歳代	136	47.8	22.8	28.7	0.7
	70歳以上	81	29.6	27.2	42.0	1.2
	無回答	1	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	49.4	26.5	24.1	-
	太宰府東小学校区	54	50.0	27.8	18.5	3.7
	太宰府南小学校区	51	56.9	23.5	19.6	-
	水城小学校区	63	63.5	14.3	22.2	-
	水城西小学校区	48	58.3	20.8	18.8	2.1
	太宰府西小学校区	92	55.4	22.8	20.7	1.1
	国分小学校区	74	50.0	32.4	16.2	1.4
	わからない	61	52.5	8.2	39.3	-
	無回答	5	20.0	20.0	60.0	-

(2) 世帯におけるパソコンによるインターネットの接続の有無 (問 50 付問 1)

●パソコンを所有している世帯の8割以上がインターネットを利用している。

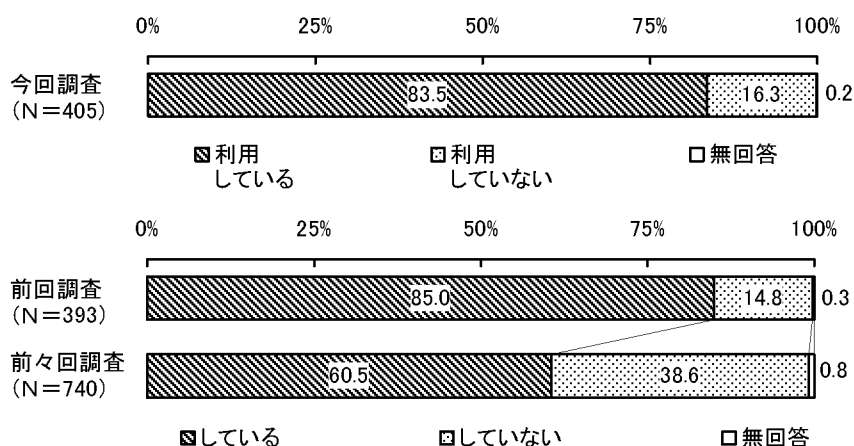
パソコンを自身あるいは家族が持っていると答えた人(405人)に、インターネットを利用しているかをたずねたところ、「利用している」が83.5%、「利用していない」が16.3%であった。

性別にみると、男性の利用者は86.4%で女性(81.5%)よりもやや多い。

年代別にみると、「利用している」は30歳代、40歳代で約9割と高く、50歳代、60歳代では約8割でやや低くなり、70歳以上では63.0%まで低くなる。

小学校区別にみると、「利用している」が最も高い水城西小学校区(89.5%)と最も低い太宰府東小学校区(73.8%)では、15.7ポイントの差がある。

問 50 付問 1. 【持っている・家族が持っていると答えた方】におたずねします。そのパソコンを使ってインターネットを利用していますか。(○は1つ)



		標本数	利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全体		405	83.5	16.3	0.2
性別	男性	169	86.4	13.6	-
	女性	233	81.5	18.0	0.4
	無回答	3	66.7	33.3	-
年代別	20歳代	51	86.3	11.8	2.0
	30歳代	70	92.9	7.1	-
	40歳代	64	92.2	7.8	-
	50歳代	78	80.8	19.2	-
	60歳代	96	81.3	18.8	-
	70歳以上	46	63.0	37.0	-
	無回答	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	63	79.4	20.6	-
	太宰府東小学校区	42	73.8	26.2	-
	太宰府南小学校区	41	80.5	19.5	-
	水城西小学校区	49	85.7	12.2	2.0
	水城西小学校区	38	89.5	10.5	-
	太宰府西小学校区	72	84.7	15.3	-
	国分小学校区	61	82.0	18.0	-
	わからない	37	94.6	5.4	-
無回答	2	100.0	-	-	

(3) 携帯電話の有無 (問51)

●若年層はほぼ全員が携帯電話を所有しているが、高齢者では所有率はそれほど高くない。

携帯電話をもっているかをたずねたところ、「持っている」が89.1%、「持っていない」が9.8%となっている。

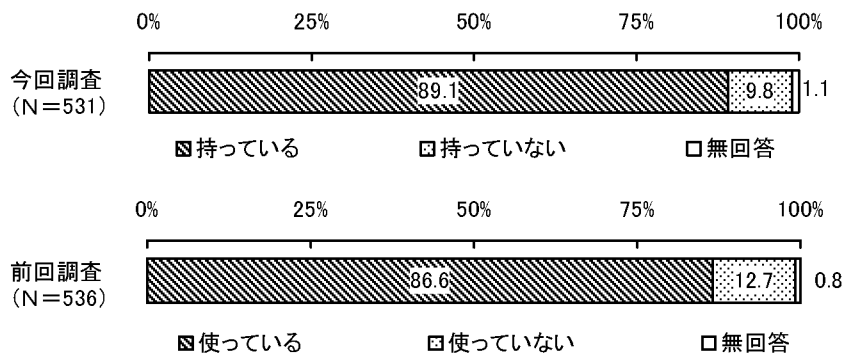
前回調査と比較するとパソコンの所有と同様に、携帯電話の所有も若干増えている。

性別にみると、男性の方が「持っている」人が若干多い。

年代別にみると、年齢が低くなるほど所有率は高くなる傾向が顕著にあらわれ、20歳代では所有率が100%であるのに対して、70歳以上では61.7%となっている。

小学校区別にみると、「持っている」が最も高い太宰府小学校区(92.8%)と最も低い太宰府東小学校区(83.3%)で9.5ポイントの差がある。

問51. あなたは携帯電話を持っていますか。(〇は1つ)



		標本数	持っている (%)	持っていない (%)	無回答 (%)
全体		531	89.1	9.8	1.1
性別	男性	225	91.6	7.1	1.3
	女性	298	87.6	11.7	0.7
	無回答	8	75.0	12.5	12.5
年代別	20歳代	57	100.0	-	-
	30歳代	86	98.8	1.2	-
	40歳代	73	95.9	-	4.1
	50歳代	97	93.8	6.2	-
	60歳代	136	87.5	11.8	0.7
	70歳以上	81	61.7	35.8	2.5
	無回答	1	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	92.8	7.2	-
	太宰府東小学校区	54	83.3	13.0	3.7
	太宰府南小学校区	51	86.3	13.7	-
	水城小学校区	63	87.3	12.7	-
	水城西小学校区	48	89.6	8.3	2.1
	太宰府西小学校区	92	88.0	10.9	1.1
	国分小学校区	74	89.2	9.5	1.4
	わからない	61	96.7	3.3	-
	無回答	5	60.0	20.0	20.0

(4) 携帯電話によるインターネット利用の有無 (問 51 付問 1)

●全体でも「利用している」は約4割と半数を下回り、高齢層では利用率はさらに低い。

携帯電話を持っている人(473人)に対して、携帯電話を使ってインターネットを利用しているかをたずねたところ、「利用している」が41.0%、「利用していない」が58.6%となっており、利用していない人の方が多い。

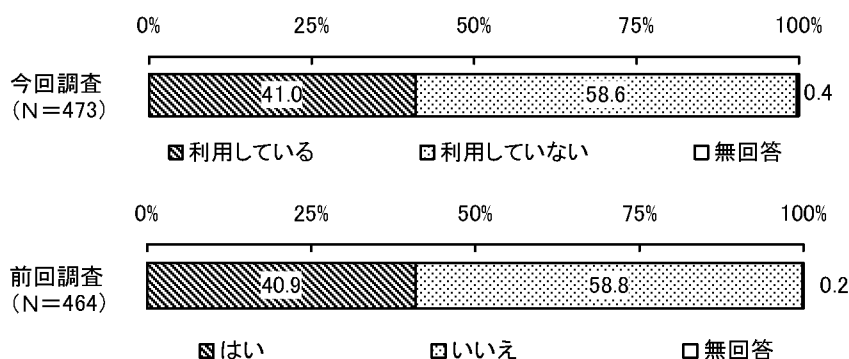
前回調査と比較するとほとんど変化はみられない。

性別にみても男女の結果はほぼ同じである。

年代別にみると、年齢が低くなるほど「利用している」割合が高くなる傾向が顕著で、20歳代では96.5%であるのに対して、70歳以上では1割にも満たない。

小学校区別にみると、「利用している」割合が最も高いのは水城小学校区で49.1%、逆に最も低いのは太宰府南小学校区で20.5%である。

問 51 付問 1. 【持っている方】は、その携帯電話を使ってインターネットを利用していますか。(〇は1つ)



		標本数	て利用する (%)	いて利用なし (%)	無回答 (%)
全体		473	41.0	58.6	0.4
性別	男性	206	42.2	57.8	-
	女性	261	40.6	58.6	0.8
	無回答	6	16.7	83.3	-
年代別	20歳代	57	96.5	3.5	-
	30歳代	85	64.7	35.3	-
	40歳代	70	51.4	48.6	-
	50歳代	91	31.9	67.0	1.1
	60歳代	119	11.8	87.4	0.8
	70歳以上	50	8.0	92.0	-
	無回答	1	100.0	-	-
	小学校区別	太宰府小学校区	77	37.7	61.0
太宰府東小学校区		45	42.2	57.8	-
太宰府南小学校区		44	20.5	79.5	-
水城小学校区		55	49.1	50.9	-
水城西小学校区		43	41.9	58.1	-
太宰府西小学校区		81	37.0	61.7	1.2
国分小学校区		66	39.4	60.6	-
わからない		59	57.6	42.4	-
無回答		3	66.7	33.3	-

20. 歴史と国立博物館を生かしたまちづくり（問52）

●全体では『肯定派』が9割を超えており、『否定派』は1割に満たない。

市内の歴史文化遺産を誇りに思うかどうかをたずねたところ、「そう思う」が59.3%、「どちらかと言えばそう思う」が32.0%で、これらを合わせた『肯定派』は91.3%と約9割を占めており、「どちらかと言えばそう思わない」(5.1%)と「そう思わない」(2.1%)を合わせた『否定派』は7.2%と1割にも満たない。

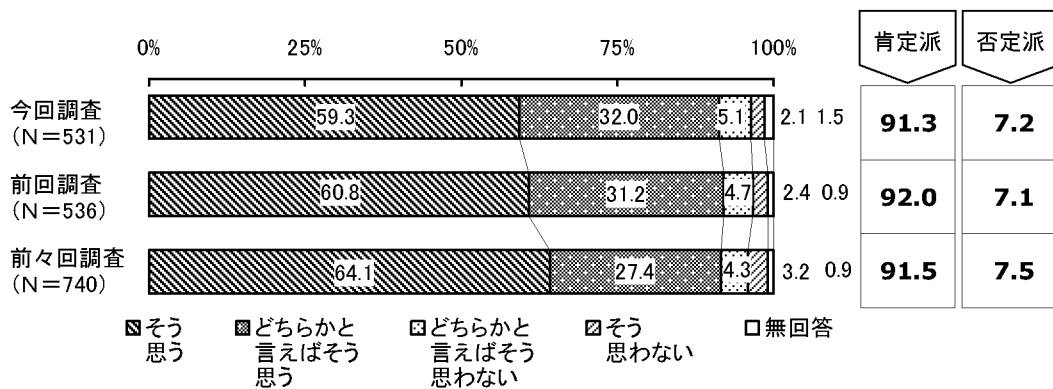
経年比較でみると、『肯定派』『否定派』の割合はほとんど変わっていないが、『肯定派』のうち「そう思う」の割合が減少傾向を示している。

性別にみると、男女ともにほぼ同じ結果となっている。

年代別にみると、40歳代と50歳代で『肯定派』が9割を下回り、他の年代よりもやや低い。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区で『肯定派』が79.7%と他の小学校区よりも低くなっている。

問52. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		531	59.3	32.0	5.1	2.1	1.5	91.3	7.2
性別	男性	225	60.0	31.6	4.9	2.2	1.3	91.6	7.1
	女性	298	59.1	32.9	5.0	1.7	1.3	92.0	6.7
	無回答	8	50.0	12.5	12.5	12.5	12.5	62.5	25.0
年代別	20歳代	57	70.2	24.6	1.8	3.5	-	94.8	5.3
	30歳代	86	51.2	43.0	4.7	1.2	-	94.2	5.9
	40歳代	73	56.2	27.4	9.6	2.7	4.1	83.6	12.3
	50歳代	97	52.6	35.1	9.3	3.1	-	87.7	12.4
	60歳代	136	61.8	31.6	2.2	2.2	2.2	93.4	4.4
	70歳以上	81	66.7	27.2	3.7	-	2.5	93.9	3.7
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	67.5	27.7	4.8	-	-	95.2	4.8
	太宰府東小学校区	54	59.3	20.4	11.1	1.9	7.4	79.7	13.0
	太宰府南小学校区	51	66.7	25.5	3.9	3.9	-	92.2	7.8
	水城小学校区	63	63.5	28.6	7.9	-	-	92.1	7.9
	水城西小学校区	48	56.3	31.3	10.4	-	2.1	87.6	10.4
	太宰府西小学校区	92	56.5	37.0	4.3	1.1	1.1	93.5	5.4
	国分小学校区	74	54.1	43.2	-	1.4	1.4	97.3	1.4
	わからない	61	54.1	36.1	1.6	8.2	-	90.2	9.8
	無回答	5	20.0	40.0	-	20.0	20.0	60.0	20.0

21. 市民文化の創造（問53）

●全体では『週1回以上の実施率』は1割弱、その多くは年に数回程度の活動である。

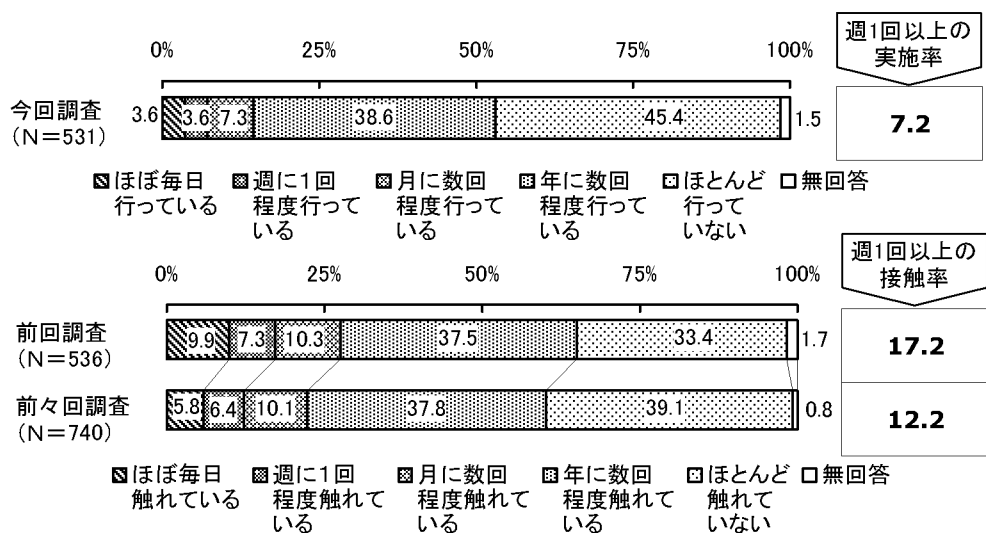
日頃から文化芸術活動をしているかどうかをたずねたところ、「ほぼ毎日行っている」が3.6%、「週に1回程度行っている」が3.6%でこれらを合わせた『週1回以上の実施率』は7.2%である。「年に数回程度行っている」は38.6%、「ほとんど行っていない」は45.4%で、文化芸術活動は年に数回程度が主である。

設問の仕方が若干違うが、前回調査に比べ文化芸術活動をする割合は減少している。

性別にみると、『週1回以上の実施率』は男女とも同程度であるが、「ほとんど行っていない」は男性が50.2%で女性（41.6%）を上回り、女性の方が文化芸術活動の割合はやや高い。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』は20歳代と70歳以上で1割を超えて高いが、「ほとんど行っていない」は60歳代と70歳以上で3割台と他の年代に比べて低く、頻度は別にとこの年代の文化芸術活動の割合は高い。

問53. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）



		標本数	ほぼ毎日行っている (%)	週に1回程度触れている (%)	月に数回程度触れている (%)	年に数回程度触れている (%)	ほとんど触れていない (%)	無回答 (%)	率上週の実施率 (%)
全体		531	3.6	3.6	7.3	38.6	45.4	1.5	7.2
性別	男性	225	4.4	3.1	8.0	32.9	50.2	1.3	7.5
	女性	298	3.0	3.7	6.4	44.0	41.6	1.3	6.7
	無回答	8	-	12.5	25.0	-	50.0	12.5	12.5
年代別	20歳代	57	10.5	3.5	1.8	31.6	50.9	1.8	14.0
	30歳代	86	2.3	2.3	4.7	26.7	64.0	-	4.6
	40歳代	73	-	1.4	8.2	41.1	45.2	4.1	1.4
	50歳代	97	1.0	2.1	4.1	42.3	50.5	-	3.1
	60歳代	136	4.4	2.9	11.8	45.6	33.8	1.5	7.3
	70歳以上	81	4.9	9.9	9.9	37.0	35.8	2.5	14.8
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	6.0	3.6	12.0	47.0	31.3	-	9.6
	太宰府東小学校区	54	1.9	3.7	9.3	31.5	50.0	3.7	5.6
	太宰府南小学校区	51	3.9	5.9	2.0	41.2	47.1	-	9.8
	水城小学校区	63	1.6	1.6	12.7	34.9	49.2	-	3.2
	水城西小学校区	48	2.1	2.1	10.4	31.3	52.1	2.1	4.2
	太宰府西小学校区	92	3.3	4.3	5.4	45.7	39.1	2.2	7.6
	国分小学校区	74	4.1	2.7	5.4	43.2	43.2	1.4	6.8
	わからない	61	4.9	4.9	1.6	27.9	60.7	-	9.8
	無回答	5	-	-	-	-	60.0	40.0	-

22. 国際化の推進

(1) 外国人との交流頻度 (問 54)

●全体では『交流率』は5%程度に過ぎず、外国人との交流は浸透していない。

市内に在住する外国人との交流頻度をたずねたところ、「ほぼ毎日交流している」が0.8%、「週に1回程度交流している」が0.8%、「月に数回程度交流している」が1.1%、「年に数回程度交流している」が2.6%で、これらを合わせた『交流率』は5.3%である。「ほとんど交流していない」が93.0%と大多数を占めている。

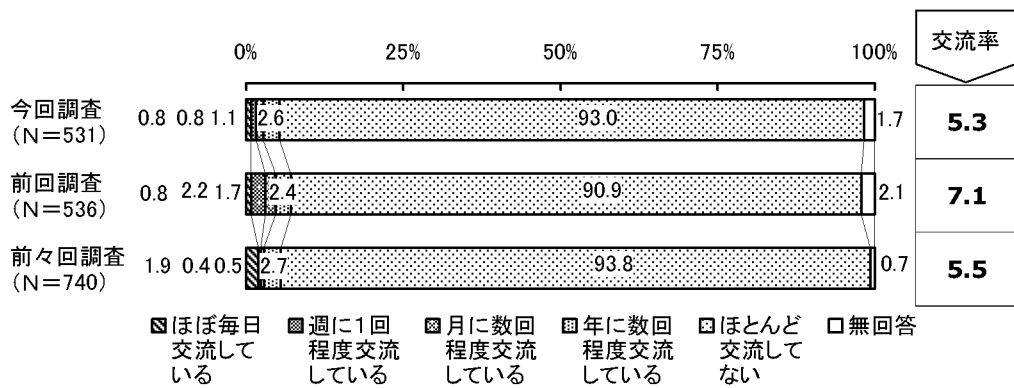
経年比較でみると、『交流率』は前回調査では7.1%とやや上がったものの、今回調査では減少に転じている。

性別にみると、男女ともほぼ同じ結果である。

年代別にみると、30歳代の『交流率』が9.4%と他の年代に比べて高い。

小学校区別にみると、水城西小学校区の『交流率』が10.5%で他の小学校区よりも高くなっている。

問 54. あなたは日頃から市内在住の外国人と交流していますか。(○は1つ)



		標本数	ほぼ毎日交流している	週に1回程度交流している	月に数回程度交流している	年に数回程度交流している	ほとんど交流していない	無回答	交流率 (%)
全体		531	0.8	0.8	1.1	2.6	93.0	1.7	5.3
性別	男性	225	0.9	0.4	1.3	2.7	93.3	1.3	5.3
	女性	298	0.7	1.0	1.0	2.7	93.0	1.7	5.4
	無回答	8	-	-	-	-	87.5	12.5	-
年代別	20歳代	57	1.8	-	-	5.3	93.0	-	7.1
	30歳代	86	-	1.2	3.5	4.7	90.7	-	9.4
	40歳代	73	-	-	1.4	2.7	91.8	4.1	4.1
	50歳代	97	2.1	-	-	-	97.9	-	2.1
	60歳代	136	0.7	0.7	0.7	1.5	94.9	1.5	3.6
	70歳以上	81	-	2.5	-	3.7	88.9	4.9	6.2
	無回答	1	-	-	100.0	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	83	-	-	2.4	4.8	91.6	1.2	7.2
	太宰府東小学校区	54	-	-	-	1.9	92.6	5.6	1.9
	太宰府南小学校区	51	-	2.0	-	2.0	96.1	-	4.0
	水城小学校区	63	3.2	-	1.6	1.6	93.7	-	6.4
	水城西小学校区	48	2.1	2.1	2.1	4.2	87.5	2.1	10.5
	太宰府西小学校区	92	-	1.1	2.2	3.3	91.3	2.2	6.6
	国分小学校区	74	-	-	-	-	98.6	1.4	-
	わからない	61	1.6	1.6	-	3.3	93.4	-	6.5
	無回答	5	-	-	-	-	80.0	20.0	-

(2) 姉妹都市・友好都市の認知 (問 55)

●締結している姉妹都市・友好都市を一つでも知っている人は全体の33.0%である。

太宰府市が締結している姉妹都市と友好都市の認知について、「扶餘邑との姉妹都市締結は知っていた」が20.7%、「奈良市との友好都市締結は知っていた」が16.8%、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」が11.9%で、一つでも知っている人は33.0%であった。「どれも知らなかった」は67.0%である。

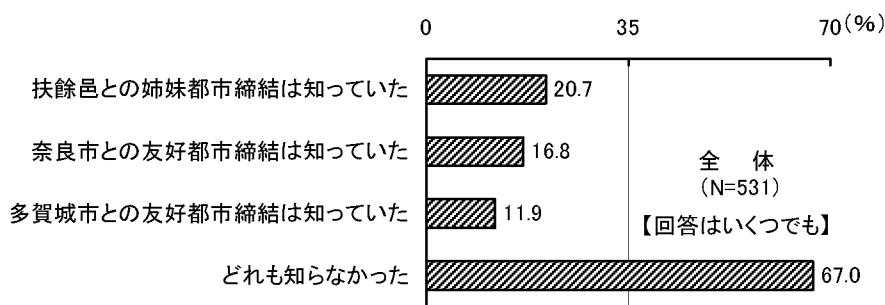
性別にみると、「どれも知らなかった」は男性の方が女性よりもやや多くなっている。

年代別にみると、60歳代と70歳以上の高齢層で姉妹都市と友好都市の認知度は、他の年代に比べていずれも高くなっている。

小学校区別にみると、水城西小学校区において姉妹都市と友好都市いずれの認知度も高く、太宰府西小学校区も比較的認知度が高い。

ブ ヨ ユ ウ

問 55. あなたは太宰府市では大韓民国の扶餘邑と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。(〇はいくつでも)



		標本数	扶餘邑との姉妹都市締結を知っている (%)	奈良市との友好都市締結を知っている (%)	多賀城市との友好都市締結を知っている (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		531	20.7	16.8	11.9	67.0	7
性別	男性	225	19.6	15.6	13.3	69.3	1.3
	女性	298	21.5	18.1	11.1	65.4	1.0
	無回答	8	25.0	-	-	62.5	12.5
年代別	20歳代	57	19.3	12.3	3.5	71.9	-
	30歳代	86	18.6	12.8	7.0	73.3	-
	40歳代	73	9.6	12.3	11.0	75.3	4.1
	50歳代	97	21.6	9.3	9.3	74.2	1.0
	60歳代	136	22.1	20.6	16.2	62.5	0.7
	70歳以上	81	29.6	30.9	19.8	49.4	2.5
無回答	1	100.0	-	-	-	-	
小学校区別	太宰府小学校区	83	24.1	20.5	16.9	63.9	-
	太宰府東小学校区	54	16.7	16.7	7.4	70.4	3.7
	太宰府南小学校区	51	23.5	21.6	9.8	64.7	-
	水城西小学校区	63	17.5	11.1	9.5	74.6	1.6
	水城西小学校区	48	27.1	20.8	10.4	56.3	2.1
	太宰府西小学校区	92	30.4	14.1	16.3	59.8	1.1
	国分小学校区	74	13.5	20.3	13.5	66.2	1.4
	わからない	61	11.5	11.5	6.6	82.0	-
無回答	5	-	-	-	80.0	20.0	

(3) 姉妹都市・友好都市との交流頻度 (問 56)

●姉妹都市・友好都市との『交流率』は1.0%と極めて低く、ほとんど交流はされていない。

姉妹都市・友好都市との交流頻度については「ほとんど交流していない」が96.4%と高い割合を占めている。「ほぼ毎日交流している」「週に1回程度交流している」「月に数回程度交流している」と「年に数回程度交流している」を合わせた『交流率』は1.0%と極めて低い。

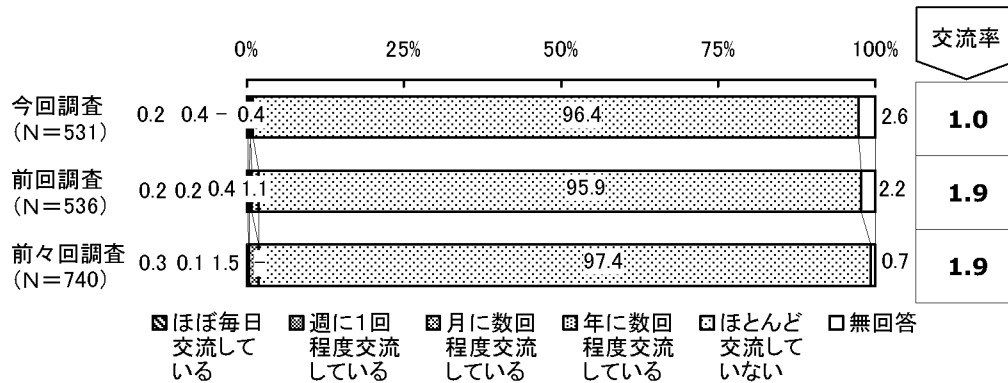
経年比較でみると、『交流率』は低い割合で推移していたが、今回調査ではさらに低い値となっている。

性別にみると、交流している5人のうち4人が女性である。

年代別にみると、40歳代と50歳代では交流している人が一人もいない。

小学校区別にみると、交流している5人のうち、3人が水城小学校区である。

問 56. あなたは日頃から市の姉妹都市である大韓民国の扶餘邑や友好都市である奈良市、多賀城市の人たちと交流をしていますか。(○は1つ)



		標本数	ほぼ毎日交流している	週に1回程度交流している	月に数回程度交流している	年に数回程度交流している	ほとんど交流していない	無回答	交流率 (%)
全体		531	1	2	-	2	512	14	5
		100.0	0.2	0.4	-	0.4	96.4	2.6	1.0
性別	男性	225	-	-	-	0.4	97.8	1.8	0.4
	女性	298	0.3	0.7	-	0.3	95.6	3.0	1.3
	無回答	8	-	-	-	-	87.5	12.5	-
年代別	20歳代	57	-	-	-	1.8	98.2	-	1.8
	30歳代	86	1.2	1.2	-	-	97.7	-	2.4
	40歳代	73	-	-	-	-	94.5	5.5	-
	50歳代	97	-	-	-	-	97.9	2.1	-
	60歳代	136	-	-	-	0.7	97.1	2.2	0.7
	70歳以上	81	-	1.2	-	-	92.6	6.2	1.2
無回答		1	-	-	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	-	-	-	-	98.8	1.2	-
	太宰府東小学校区	54	-	-	-	1.9	90.7	7.4	1.9
	太宰府南小学校区	51	-	2.0	-	-	98.0	-	2.0
	水城小学校区	63	1.6	1.6	-	1.6	93.7	1.6	4.8
	水城西小学校区	48	-	-	-	-	93.8	6.3	-
	太宰府西小学校区	92	-	-	-	-	97.8	2.2	-
	国分小学校区	74	-	-	-	-	98.6	1.4	-
	わからない	61	-	-	-	-	98.4	1.6	-
	無回答	5	-	-	-	-	80.0	20.0	-

第4節 行政サービスについて

1. 広報広聴機能の充実（問57）

●「広報だざいふ」は約8割の人が読んでいるが、「太宰府市ホームページ」を見ている人は約3割と多くない。

・「広報だざいふ」

「広報だざいふ」を「いつも読んでいる」は56.1%、「たまに読む」が26.9%で、これらを合わせた『閲読率』は83.0%で、「ほとんど読まない」(5.6%)と「読まない」(9.8%)を合わせた『非閲読率』は15.4%である。

経年比較でみると、『閲読率』は徐々に減少している。

・「議会だより」

「議会だより」を「いつも読んでいる」が24.3%、「たまに読む」が36.0%で、これらを合わせた『閲読率』は60.3%で「広報だざいふ」より閲読している人は少ない。「ほとんど読まない」(14.3%)と「読まない」(22.0%)を合わせた『非閲読率』は36.3%である。

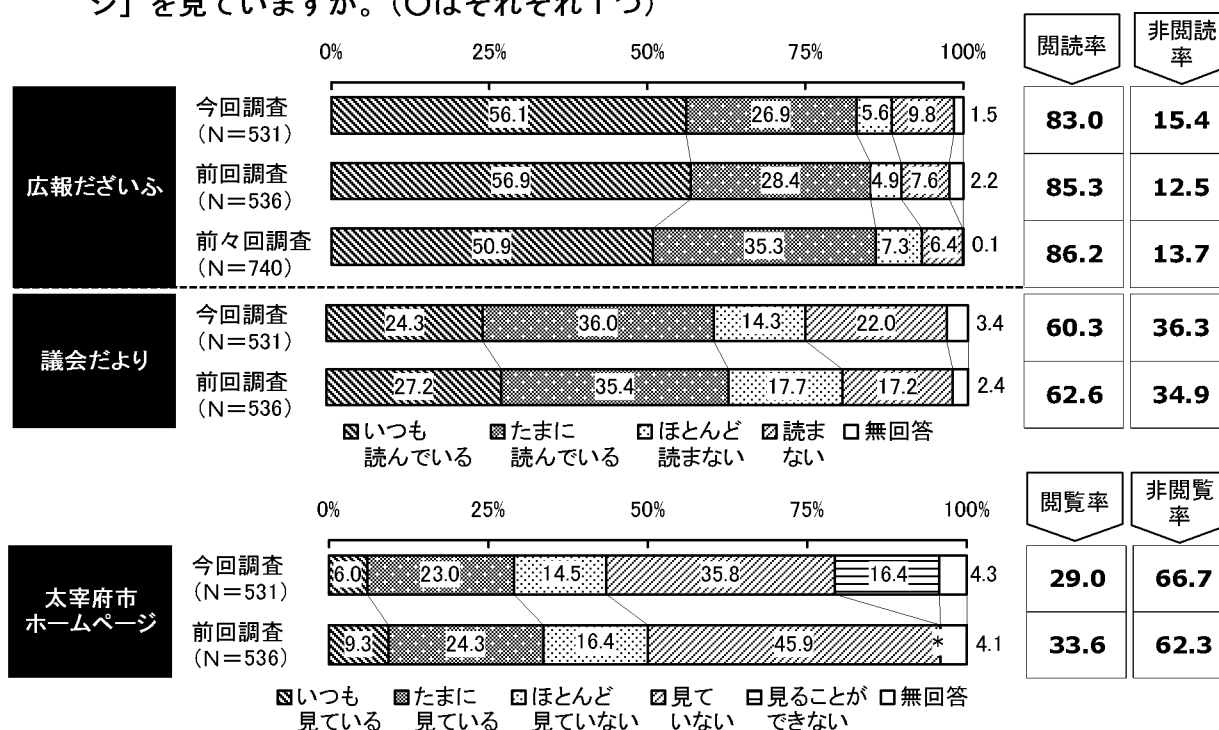
前回調査と比較すると、『閲読率』は前回調査よりも2.3ポイント減少している。

・「太宰府市ホームページ」

「太宰府市ホームページ」を「いつも見ている」が6.0%、「たまに見ている」が23.0%で、これらを合わせた『閲覧率』は29.0%にとどまっている。「ほとんど見ていない」は14.5%、「見ていない」は35.8%で、「見る事ができない」(16.4%)と合わせた『非閲覧率』は66.7%と7割近くに達している。

前回調査と比較すると、『閲覧率』は前回調査よりも4.6ポイント減少している。

問57. あなたは「広報だざいふ」「太宰府市議会だより」を読んだり、「太宰府市ホームページ」を見ていますか。(○はそれぞれ1つ)



第2章 調査結果の分析

「広報だざいふ」の閲読状況を性別にみると、『閲読率』は女性の方が高く、特に女性では「いつも読んでいる」が6割を超えている。

年代別にみると、年齢が高くなるほど『閲読率』が高くなる傾向が顕著で、20歳代では『非閲読率』が38.6%となっている。

「議会だより」の閲読状況を性別にみると、『閲読率』は女性の方が若干高い。

年代別にみると、「広報だざいふ」と同様に年齢が高いほど『閲読率』も高くなる傾向がある。

「太宰府市ホームページ」の閲覧状況を性別にみると、男女で結果はほとんど変わらない。

年代別にみると、50歳以上で「見るできない」が2割台と高い。『閲覧率』は30歳代で40.7%と最も高くなっている。

(%)

	標本数	広報だざいふ						議会だより							
		いつも読んでる	たまに読んでる	ほとんど読んでない	読まない	無回答	閲読率	非閲読率	いつも読んでる	たまに読んでる	ほとんど読んでない	読まない	無回答	閲読率	非閲読率
全体	531 100.0	298 56.1	143 26.9	30 5.6	52 9.8	8 1.5	441 83.0	82 15.4	129 24.3	191 36.0	76 14.3	117 22.0	18 3.4	320 60.3	193 36.3
性別															
男性	225	47.6	31.1	5.8	14.2	1.3	78.7	20.0	24.9	33.3	12.4	26.7	2.7	58.2	39.1
女性	298	62.1	24.5	5.4	6.7	1.3	86.6	12.1	23.2	38.3	15.8	19.1	3.7	61.5	34.9
無回答	8	75.0	-	12.5	-	12.5	75.0	12.5	50.0	25.0	12.5	-	12.5	75.0	12.5
年代別															
20歳代	57	21.1	38.6	8.8	29.8	1.8	59.7	38.6	5.3	24.6	10.5	59.6	-	29.9	70.1
30歳代	86	53.5	22.1	4.7	18.6	1.2	75.6	23.3	23.3	31.4	17.4	25.6	2.3	54.7	43.0
40歳代	73	57.5	26.0	8.2	8.2	-	83.5	16.4	21.9	31.5	21.9	24.7	-	53.4	46.6
50歳代	97	58.8	26.8	6.2	6.2	2.1	85.6	12.4	21.6	41.2	14.4	19.6	3.1	62.8	34.0
60歳代	136	59.6	30.1	5.1	4.4	0.7	89.7	9.5	25.7	39.7	13.2	14.7	6.6	65.4	27.9
70歳以上	81	74.1	18.5	2.5	1.2	3.7	92.6	3.7	42.0	39.5	8.6	4.9	4.9	81.5	13.5
無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別															
太宰府小学校区	83	53.0	33.7	2.4	8.4	2.4	86.7	10.8	27.7	36.1	13.3	19.3	3.6	63.8	32.6
太宰府東小学校区	54	51.9	33.3	5.6	7.4	1.9	85.2	13.0	29.6	38.9	5.6	24.1	1.9	68.5	29.7
太宰府南小学校区	51	60.8	31.4	2.0	5.9	-	92.2	7.9	31.4	47.1	9.8	11.8	-	78.5	21.6
水城小学校区	63	54.0	25.4	4.8	14.3	1.6	79.4	19.1	14.3	39.7	19.0	22.2	4.8	54.0	41.2
水城西小学校区	48	66.7	22.9	2.1	8.3	-	89.6	10.4	27.1	35.4	16.7	16.7	4.2	62.5	33.4
太宰府西小学校区	92	64.1	15.2	8.7	12.0	-	79.3	20.7	23.9	33.7	15.2	25.0	2.2	57.6	40.2
国分小学校区	74	48.6	33.8	10.8	6.8	-	82.4	17.6	24.3	40.5	17.6	17.6	-	64.8	35.2
わからない	61	54.1	21.3	6.6	13.1	4.9	75.4	19.7	19.7	19.7	14.8	36.1	9.8	39.4	50.9
無回答	5	20.0	40.0	-	20.0	20.0	60.0	20.0	-	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	60.0
			太宰府市ホームページ												
	標本数	いつも見て	たまに見て	ほとんど見て	見ない	見ない	見ない	見ない	見ない	見ない	見ない	見ない	見ない	見ない	見ない
全体	531 100.0	32 6.0	122 23.0	77 14.5	190 35.8	87 16.4	23 4.3	154 29.0	354 66.7						
性別															
男性	225	6.2	22.7	12.9	36.9	17.3	4.0	28.9	67.1						
女性	298	5.7	23.8	15.8	34.9	15.4	4.4	29.5	66.1						
無回答	8	12.5	-	12.5	37.5	25.0	12.5	12.5	75.0						
年代別															
20歳代	57	1.8	24.6	19.3	50.9	3.5	-	26.4	73.7						
30歳代	86	-	40.7	17.4	30.2	9.3	2.3	40.7	56.9						
40歳代	73	-	26.0	28.8	38.4	6.8	-	26.0	74.0						
50歳代	97	4.1	18.6	17.5	36.1	20.6	3.1	22.7	74.2						
60歳代	136	10.3	19.1	5.9	33.1	24.3	7.4	29.4	63.3						
70歳以上	81	16.0	12.3	6.2	33.3	22.2	9.9	28.3	61.7						
無回答	1	-	-	-	-	100.0	-	-	100.0						
小学校区別															
太宰府小学校区	83	4.8	21.7	18.1	34.9	18.1	2.4	26.5	71.1						
太宰府東小学校区	54	7.4	20.4	13.0	38.9	16.7	3.7	27.8	68.6						
太宰府南小学校区	51	11.8	15.7	11.8	43.1	13.7	3.9	27.5	68.6						
水城小学校区	63	1.6	25.4	15.9	33.3	17.5	6.3	27.0	66.7						
水城西小学校区	48	4.2	29.2	10.4	37.5	12.5	6.3	33.4	60.4						
太宰府西小学校区	92	6.5	23.9	16.3	29.3	21.7	2.2	30.4	67.3						
国分小学校区	74	8.1	21.6	10.8	44.6	13.5	1.4	29.7	68.9						
わからない	61	4.9	26.2	18.0	27.9	13.1	9.8	31.1	59.0						
無回答	5	-	20.0	-	40.0	20.0	20.0	20.0	60.0						

2. 情報の提供

(1) 情報公開・提供に対する意識（問58）

●『肯定派』は約半数で、『否定派』を若干上回っている。

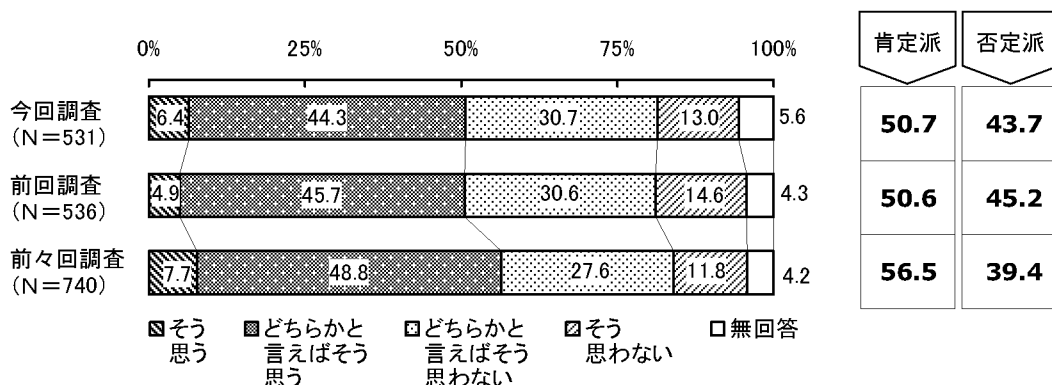
市が積極的に情報公開・提供をしていると感じるかどうかたずねたところ、「そう思う」が6.4%、「どちらかと言えばそう思う」が44.3%で、これらを合わせた『肯定派』は50.7%、「どちらかと言えばそう思わない」（30.7%）と「そう思わない」（13.0%）を合わせた『否定派』は43.7%となっている。

経年比較でみると、『肯定派』は約5割と前回調査とほぼ同じ結果となっている。

性別にみると、女性の『肯定派』は53.3%と男性（45.8%）よりも多い。

年代別にみると、『否定派』が40歳代と50歳代で約5割と他の年代に比べてやや高くなっている。

問58. あなたは市が積極的に情報を公開・提供していると感じますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えば思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		531	34	235	163	69	30	269	232
		100.0	6.4	44.3	30.7	13.0	5.6	50.7	43.7
性別	男性	225	6.2	39.6	32.9	18.2	3.1	45.8	51.1
	女性	298	6.7	46.6	29.9	9.4	7.4	53.3	39.3
	無回答	8	-	87.5	-	-	12.5	87.5	-
年代別	20歳代	57	8.8	40.4	35.1	12.3	3.5	49.2	47.4
	30歳代	86	9.3	47.7	30.2	8.1	4.7	57.0	38.3
	40歳代	73	6.8	37.0	30.1	20.5	5.5	43.8	50.6
	50歳代	97	1.0	43.3	35.1	14.4	6.2	44.3	49.5
	60歳代	136	5.9	41.2	33.1	13.2	6.6	47.1	46.3
	70歳以上	81	8.6	55.6	19.8	9.9	6.2	64.2	29.7
無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-	
小学校区別	太宰府小学校区	83	4.8	47.0	36.1	8.4	3.6	51.8	44.5
	太宰府東小学校区	54	7.4	42.6	33.3	13.0	3.7	50.0	46.3
	太宰府南小学校区	51	5.9	47.1	29.4	9.8	7.8	53.0	39.2
	水城小学校区	63	11.1	34.9	33.3	15.9	4.8	46.0	49.2
	水城西小学校区	48	6.3	50.0	25.0	10.4	8.3	56.3	35.4
	太宰府西小学校区	92	1.1	52.2	27.2	12.0	7.6	53.3	39.2
	国分小学校区	74	6.8	37.8	33.8	17.6	4.1	44.6	51.4
	わからない	61	11.5	39.3	26.2	18.0	4.9	50.8	44.2
無回答	5	-	60.0	20.0	-	20.0	60.0	20.0	

(2) 市民と行政の情報共有 (問 59)

●過半数の市民は情報の共有ができていないと感じている。

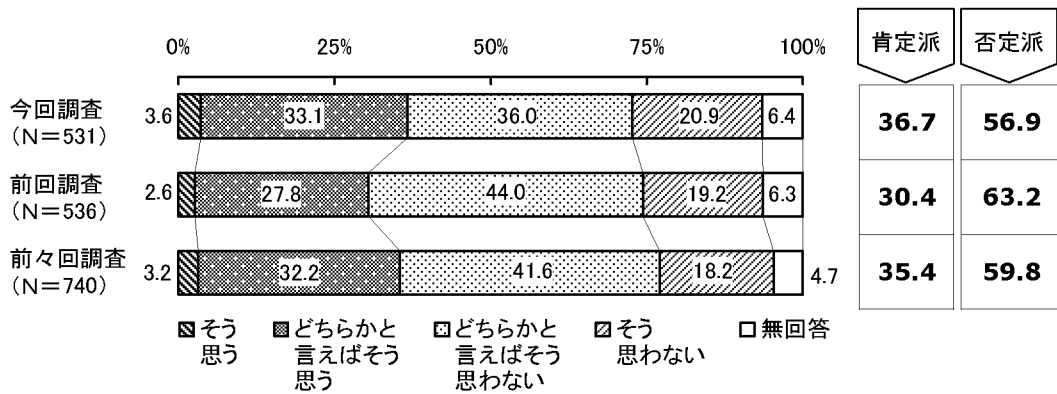
市民と行政とがお互いに情報を共有できていると感じるかどうかをたずねたところ、「そう思う」が3.6%、「どちらかと言えばそう思う」が33.1%で、これらを合わせた『肯定派』は36.7%となっている。一方で、「どちらかと言えばそう思わない」は36.0%、「そう思わない」は20.9%で、これらを合わせた『否定派』は56.9%と半数を超えている。

経年比較でみると、前回調査では『否定派』が増えていたが、今回調査では6.3ポイント減少している。

性別にみると、女性の『肯定派』は40.2%で男性(30.6%)よりも1割ほど多い。

年代別にみると、70歳以上では『肯定派』が60.5%で特に高くなっている。

問 59. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると感じますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		531	3.6	33.1	36.0	20.9	6.4	36.7	56.9
性別	男性	225	4.4	26.2	40.9	24.9	3.6	30.6	65.8
	女性	298	3.0	37.2	33.2	18.1	8.4	40.2	51.3
	無回答	8	-	75.0	-	12.5	12.5	75.0	12.5
年代別	20歳代	57	3.5	26.3	33.3	33.3	3.5	29.8	66.6
	30歳代	86	1.2	33.7	45.3	16.3	3.5	34.9	61.6
	40歳代	73	1.4	31.5	37.0	23.3	6.8	32.9	60.3
	50歳代	97	3.1	25.8	41.2	24.7	5.2	28.9	65.9
	60歳代	136	2.2	31.6	35.3	22.1	8.8	33.8	57.4
	70歳以上	81	11.1	49.4	22.2	8.6	8.6	60.5	30.8
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	4.8	41.0	30.1	16.9	7.2	45.8	47.0
	太宰府東小学校区	54	-	29.6	40.7	24.1	5.6	29.6	64.8
	太宰府南小学校区	51	5.9	37.3	31.4	17.6	7.8	43.2	49.0
	水城小学校区	63	4.8	25.4	42.9	23.8	3.2	30.2	66.7
	水城西小学校区	48	4.2	35.4	37.5	16.7	6.3	39.6	54.2
	太宰府西小学校区	92	1.1	35.9	38.0	18.5	6.5	37.0	56.5
	国分小学校区	74	1.4	32.4	35.1	25.7	5.4	33.8	60.8
	わからない	61	8.2	24.6	34.4	26.2	6.6	32.8	60.6
	無回答	5	-	40.0	20.0	-	40.0	40.0	20.0

3. 人材育成の推進

(1) 市役所窓口の利用の有無（問 60）

●全体で、市役所窓口の利用率は8割を超えている。

過去1年間における市役所窓口の利用の有無について、「はい（利用した）」が84.6%を占める。「いいえ（利用していない）」は15.1%である。

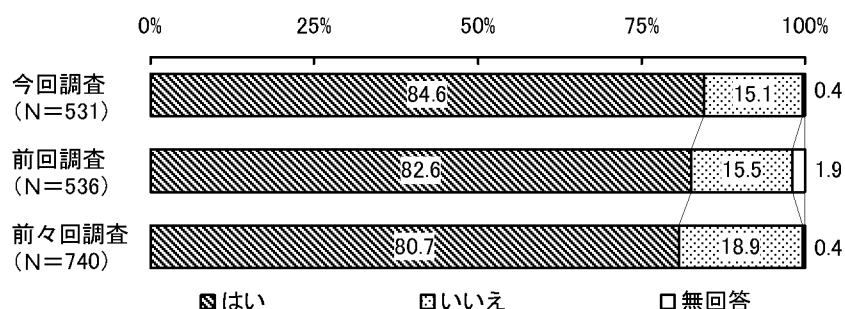
経年比較でみると、「はい（利用した）」は増加傾向にある。

性別にみると、男女ともほぼ同じ結果となっている。

年代別にみると、40歳代の利用率が78.1%と8割を下回って相対的に低く、50歳代では92.8%と9割を超え高くなっている。

小学校区別にみると、国分小学校区の利用率が91.9%と9割を超えて、他の小学校区よりも高い。

問 60. あなたは過去1年間で、市役所の窓口を利用したことがありますか。（○は1つ）



		標本数	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
全体		531	84.6	15.1	0.4
性別	男性	225	84.9	14.7	0.4
	女性	298	84.6	15.4	-
	無回答	8	75.0	12.5	12.5
年代別	20歳代	57	80.7	19.3	-
	30歳代	86	84.9	15.1	-
	40歳代	73	78.1	21.9	-
	50歳代	97	92.8	7.2	-
	60歳代	136	85.3	14.7	-
	70歳以上	81	81.5	16.0	2.5
	無回答	1	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	81.9	18.1	-
	太宰府東小学校区	54	81.5	18.5	-
	太宰府南小学校区	51	82.4	17.6	-
	水城小学校区	63	88.9	11.1	-
	水城西小学校区	48	81.3	18.8	-
	太宰府西小学校区	92	84.8	15.2	-
	国分小学校区	74	91.9	8.1	-
	わからない	61	85.2	13.1	1.6
	無回答	5	40.0	40.0	20.0

(2) 事務処理の迅速性に対する意識 (問 60 付問 1)

●全体では、『満足派』が8割以上を占めるが、『不満派』も1割程度みられる。

市役所を利用した人(449人)に、事務処理は迅速だったかどうかたずねたところ、「とても迅速だった」が24.1%、「どちらかと言えば迅速だった」が58.6%で、これらを合わせた『満足派』は82.7%と8割以上を占めており、「どちらかと言えば遅かった」(10.0%)と「とても遅かった」(2.4%)を合わせた『不満派』は12.4%となっている。

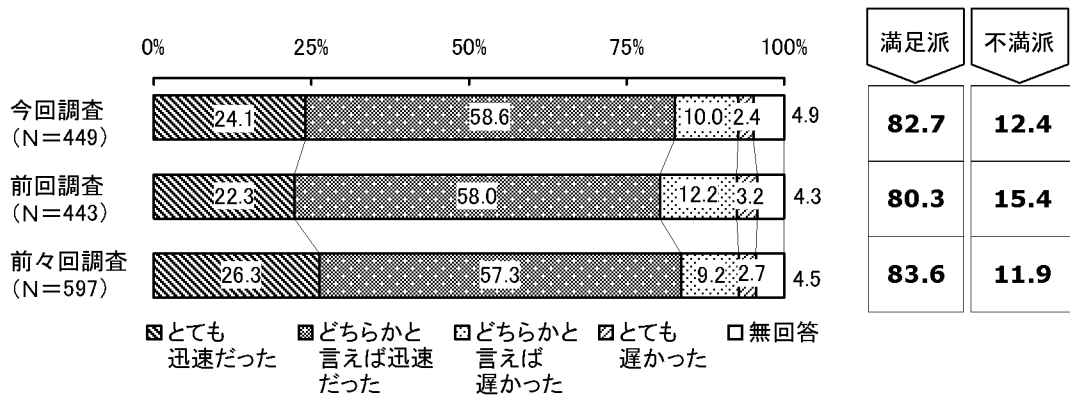
性別にみると、男性の『満足派』は85.4%と女性(80.2%)よりも5.2ポイント高い。

年代別にみると、20歳代と40歳代、50歳代で『不満派』が2割前後とやや高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区と太宰府南小学校区では、『満足派』が9割を超えており、他の小学校区よりも多い。

問 60 付問 1. 【はいと答えた方】にお聞きします。窓口での事務処理は迅速でしたか。

(○は1つ)



		標本数	迅速性				無回答	満足派	不満派
			とても迅速	どちらかと言えば迅速	どちらかと言えば遅	とても遅			
全体		449	108	263	45	11	22	371	56
		100.0	24.1	58.6	10.0	2.4	4.9	82.7	12.4
性別	男性	191	21.5	63.9	6.3	3.1	5.2	85.4	9.4
	女性	252	25.0	55.2	13.1	2.0	4.8	80.2	15.1
	無回答	6	66.7	33.3	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	46	32.6	39.1	15.2	6.5	6.5	71.7	21.7
	30歳代	73	28.8	58.9	5.5	4.1	2.7	87.7	9.6
	40歳代	57	21.1	50.9	15.8	1.8	10.5	72.0	17.6
	50歳代	90	16.7	61.1	13.3	3.3	5.6	77.8	16.6
	60歳代	116	23.3	63.8	7.8	0.9	4.3	87.1	8.7
	70歳以上	66	27.3	65.2	6.1	-	1.5	92.5	6.1
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	68	25.0	58.8	11.8	2.9	1.5	83.8	14.7
	太宰府東小学校区	44	18.2	75.0	4.5	-	2.3	93.2	4.5
	太宰府南小学校区	42	35.7	54.8	4.8	2.4	2.4	90.5	7.2
	水城小学校区	56	25.0	51.8	10.7	1.8	10.7	76.8	12.5
	水城西小学校区	39	28.2	53.8	5.1	5.1	7.7	82.0	10.2
	太宰府西小学校区	78	21.8	64.1	10.3	1.3	2.6	85.9	11.6
	国分小学校区	68	17.6	64.7	11.8	1.5	4.4	82.3	13.3
	わからない	52	25.0	42.3	17.3	5.8	9.6	67.3	23.1
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-

(3) 職員の対応・姿勢に対する満足度 (問 60 付問 2)

●全体では、『満足派』が約8割を占めるが、『不満派』も2割弱みられる。

市役所を利用した人(449人)に、職員の対応・姿勢に満足したかをたずねたところ、「とても満足した」が20.0%、「どちらかと言えば満足した」が58.6%で、これらを合わせた『満足派』は78.6%である。一方、「どちらかと言えば不満だった」(12.7%)と「とても不満だった」(4.5%)を合わせた『不満派』は17.2%となっている。

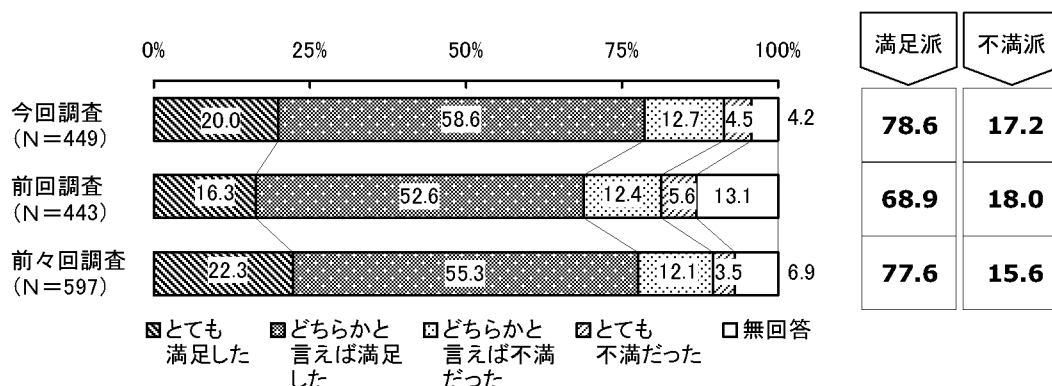
経年比較でみると、『満足派』は前回調査に比べて9.7ポイント増えている。

性別にみると、『満足派』は男性が84.3%と女性(73.8%)よりも10.5ポイント高い。

年代別にみると、20歳代と40歳代の『不満派』が3割前後と高い。

小学校区別にみると、水城小学校区と国分小学校区、太宰府小学校区で『不満派』が2割前後と高くなっている。

問 60 付問 2.【はいと答えた方】にお聞きします。窓口での職員の対応や姿勢に満足しましたか。(○は1つ)



		標本数	とても満足	どちらかと言えば満足	どちらかと言えば不満	とても不満	無回答	満足派 (%)	不満派 (%)
全体		449	90	263	57	20	19	78.6	17.2
性別	男性	191	19.9	64.4	9.9	4.7	1.0	84.3	14.6
	女性	252	19.8	54.0	15.1	4.4	6.7	73.8	19.5
	無回答	6	33.3	66.7	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	46	19.6	41.3	30.4	4.3	4.3	60.9	34.7
	30歳代	73	27.4	52.1	11.0	5.5	4.1	79.5	16.5
	40歳代	57	21.1	45.6	21.1	7.0	5.3	66.7	28.1
	50歳代	90	12.2	65.6	10.0	6.7	5.6	77.8	16.7
	60歳代	116	17.2	69.0	6.9	3.4	3.4	86.2	10.3
	70歳以上	66	27.3	60.6	9.1	-	3.0	87.9	9.1
無回答		1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	68	23.5	52.9	14.7	4.4	4.4	76.4	19.1
	太宰府東小学校区	44	9.1	79.5	9.1	-	2.3	88.6	9.1
	太宰府南小学校区	42	19.0	69.0	7.1	4.8	-	88.0	11.9
	水城小学校区	56	23.2	46.4	16.1	7.1	7.1	69.6	23.2
	水城西小学校区	39	20.5	61.5	10.3	2.6	5.1	82.0	12.9
	太宰府西小学校区	78	23.1	57.7	11.5	2.6	5.1	80.8	14.1
	国分小学校区	68	16.2	61.8	14.7	5.9	1.5	78.0	20.6
	わからない	52	23.1	46.2	15.4	7.7	7.7	69.3	23.1
無回答		2	-	100.0	-	-	-	100.0	-

(4) 市職員の対応や行動などに対する満足度 (問 61)

●全体では、『満足派』は65.7%で、『不満派』は約3割となっている。

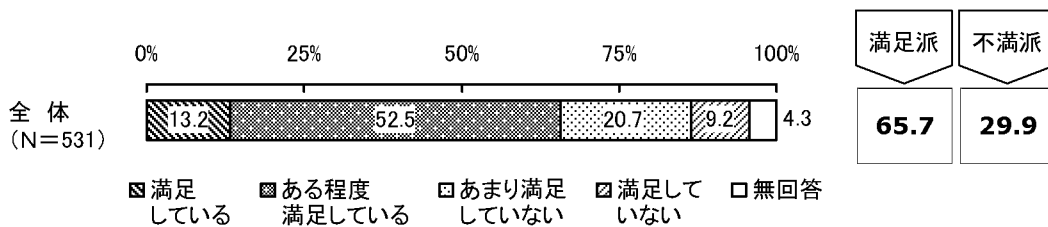
市職員の対応や行動などの仕事に対する取り組みについて評価を求めたところ、「満足している」が13.2%、「ある程度満足している」が52.5%で、それらを合わせた『満足派』は65.7%となっている。一方で、「あまり満足していない」(20.7%)と「満足していない」(9.2%)を合わせた『不満派』は29.9%となっている。

性別にみると、男性の『満足派』は68.5%で女性(62.7%)より5.8ポイント高い。

年代別にみると、20歳代の『満足派』が49.1%と5割を下回っており、他の年代よりも低くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と水城小学校区、水城西小学校区、国分小学校区で『不満派』が3割を超えている。

問 61. あなたは市職員の対応や行動などの仕事に対する取り組みについて、どう評価していますか。(○は1つ)



		標本数	い満足して	い満足して	い満足して	い満足して	無回答	満足派	不満派
全体		531	70	279	110	49	23	349	159
		100.0	13.2	52.5	20.7	9.2	4.3	65.7	29.9
性別	男性	225	13.8	54.7	18.7	8.9	4.0	68.5	27.6
	女性	298	12.4	50.3	22.8	9.7	4.7	62.7	32.5
	無回答	8	25.0	75.0	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	57	14.0	35.1	31.6	17.5	1.8	49.1	49.1
	30歳代	86	10.5	60.5	17.4	11.6	-	71.0	29.0
	40歳代	73	13.7	45.2	20.5	15.1	5.5	58.9	35.6
	50歳代	97	9.3	51.5	24.7	8.2	6.2	60.8	32.9
	60歳代	136	13.2	57.4	17.6	5.9	5.9	70.6	23.5
	70歳以上	81	19.8	55.6	17.3	2.5	4.9	75.4	19.8
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	10.8	50.6	25.3	9.6	3.6	61.4	34.9
	太宰府東小学校区	54	11.1	61.1	20.4	3.7	3.7	72.2	24.1
	太宰府南小学校区	51	15.7	52.9	17.6	5.9	7.8	68.6	23.5
	水城小学校区	63	15.9	44.4	23.8	11.1	4.8	60.3	34.9
	水城西小学校区	48	12.5	54.2	22.9	8.3	2.1	66.7	31.2
	太宰府西小学校区	92	13.0	58.7	19.6	6.5	2.2	71.7	26.1
	国分小学校区	74	10.8	55.4	18.9	12.2	2.7	66.2	31.1
	わからない	61	16.4	41.0	18.0	14.8	9.8	57.4	32.8
無回答	5	20.0	60.0	-	20.0	-	80.0	20.0	

4. 行財政改革（問 62）

●全体では『肯定派』は5割弱にとどまり、『否定派』と拮抗している。

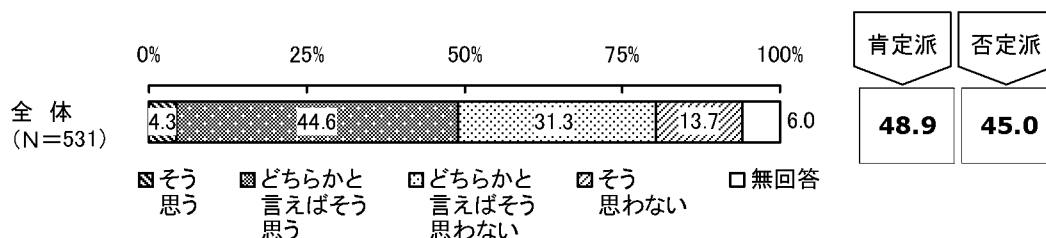
太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思うかたずねたところ、「そう思う」が4.3%、「どちらかと言えばそう思う」が44.6%で、これらを合わせた『肯定派』は48.9%、一方「どちらかと言えばそう思わない」が31.3%、「そう思わない」が13.7%で、これらを合わせた『否定派』は45.0%となっている。

性別にみると、男女とも『肯定派』『否定派』ともほぼ同じ割合であるが、『否定派』のうち、男性は強い否定である「そう思わない」が女性よりも5.2ポイント高い。

年代別にみると、20歳代と40歳代では『否定派』が5割を超えている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区や太宰府西小学校区、太宰府南小学校区で『否定派』の割合が比較的高く5割前後となっている。

問 62. あなたは太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全体		531	23	237	166	73	32	260	239
		100.0	4.3	44.6	31.3	13.7	6.0	48.9	45.0
性別	男性	225	4.9	44.4	28.4	16.9	5.3	49.3	45.3
	女性	298	3.4	44.6	34.2	11.7	6.0	48.0	45.9
	無回答	8	25.0	50.0	-	-	25.0	75.0	-
年代別	20歳代	57	1.8	40.4	36.8	19.3	1.8	42.2	56.1
	30歳代	86	7.0	48.8	34.9	8.1	1.2	55.8	43.0
	40歳代	73	4.1	32.9	41.1	16.4	5.5	37.0	57.5
	50歳代	97	4.1	41.2	33.0	13.4	8.2	45.3	46.4
	60歳代	136	2.9	47.1	25.0	16.2	8.8	50.0	41.2
	70歳以上	81	6.2	53.1	23.5	9.9	7.4	59.3	33.4
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	2.4	39.8	41.0	12.0	4.8	42.2	53.0
	太宰府東小学校区	54	5.6	48.1	27.8	11.1	7.4	53.7	38.9
	太宰府南小学校区	51	3.9	41.2	27.5	21.6	5.9	45.1	49.1
	水城小学校区	63	7.9	42.9	38.1	9.5	1.6	50.8	47.6
	水城西小学校区	48	6.3	47.9	27.1	8.3	10.4	54.2	35.4
	太宰府西小学校区	92	3.3	42.4	33.7	16.3	4.3	45.7	50.0
	国分小学校区	74	1.4	54.1	28.4	13.5	2.7	55.5	41.9
	わからない	61	6.6	41.0	23.0	16.4	13.1	47.6	39.4
	無回答	5	-	60.0	-	20.0	20.0	60.0	20.0

5. 広域行政の推進（問 63）

●全体では『肯定派』は3割に満たず、『否定派』の方が上回っている。

広域的な取り組みが住民サービスの向上になったと感じるかどうかたずねたところ、「そう思う」が4.3%、「どちらかと言えばそう思う」が23.9%とこれらを合わせた『肯定派』は28.2%にとどまり、「どちらかと言えばそう思わない」（20.0%）と「そう思わない」（12.2%）を合わせた『否定派』が32.2%で上回っている。最も多いのは「わからない」で36.5%となっている。

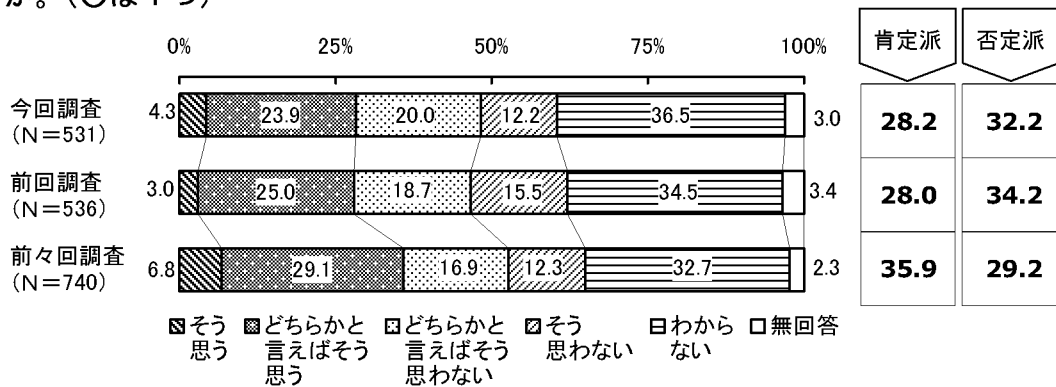
経年比較でみると、『肯定派』の割合は前回調査とほぼ同じで、住民サービスが向上したと感じる人は増加していない。

性別にみると、男性は『肯定派』の割合が女性よりも17ポイントも高く、女性では「わからない」（45.6%）が最も多い。

年代別にみると、20歳代から60歳代で『否定派』が『肯定派』を上回っている。

問 63. 福岡都市圏では道路等交通基盤整備や水資源の確保、図書館や体育館の広域利用による生涯学習の体制づくりなど、都市圏に共通する課題に対し、圏域全体の一体的発展と、魅力と活力にあふれた住みよい都市圏の形成に向けて取り組みを進めています。

あなたは福岡都市圏の広域的な取り組みによって住民サービスが向上したと感じますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派	否定派
全体		531	4.3	23.9	20.0	12.2	36.5	3.0	28.2	32.2
性別	男性	225	7.6	30.2	22.2	13.8	24.0	2.2	37.8	36.0
	女性	298	2.0	18.8	18.8	11.4	45.6	3.4	20.8	30.2
	無回答	8	-	37.5	-	-	50.0	12.5	37.5	-
年代別	20歳代	57	5.3	17.5	17.5	12.3	45.6	1.8	22.8	29.8
	30歳代	86	3.5	24.4	19.8	14.0	37.2	1.2	27.9	33.8
	40歳代	73	4.1	20.5	23.3	16.4	35.6	-	24.6	39.7
	50歳代	97	3.1	28.9	19.6	14.4	30.9	3.1	32.0	34.0
	60歳代	136	3.7	22.1	23.5	10.3	37.5	2.9	25.8	33.8
	70歳以上	81	7.4	27.2	13.6	7.4	35.8	8.6	34.6	21.0
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-
小学校区別	太宰府小学校区	83	3.6	30.1	15.7	10.8	37.3	2.4	33.7	26.5
	太宰府東小学校区	54	5.6	25.9	20.4	13.0	29.6	5.6	31.5	33.4
	太宰府南小学校区	51	7.8	19.6	17.6	13.7	41.2	-	27.4	31.3
	水城小学校区	63	4.8	22.2	20.6	11.1	36.5	4.8	27.0	31.7
	水城西小学校区	48	4.2	20.8	16.7	14.6	39.6	4.2	25.0	31.3
	太宰府西小学校区	92	3.3	26.1	22.8	7.6	38.0	2.2	29.4	30.4
	国分小学校区	74	1.4	25.7	24.3	12.2	35.1	1.4	27.1	36.5
	わからない	61	6.6	14.8	21.3	19.7	34.4	3.3	21.4	41.0
	無回答	5	-	40.0	-	-	40.0	20.0	40.0	-

附属資料 使用した調査票

太宰府まちづくり市民意識調査

アンケートご協力をお願い

太宰府市では、「歴史とみどり豊かな文化のまち」を将来像として掲げた第四次太宰府市総合計画（計画期間：平成13年度～平成22年度）を策定し、まちづくりに取り組んでいます。また現在、第五次太宰府市総合計画（計画期間：平成23年度～平成32年度）の策定に取りかかっており、計画の策定から実施に至るまで市民の皆様のご意見や市の取り組みについての考えをお聞きして、これを今後のまちづくりに反映させていただき考えていきます。

そこでお忙しい中恐縮ですが、調査票の質問に○印でご回答いただき、**3月23日（火）**までに同封の返信用封筒によりポストに投函してください。（切手は不要です）

設問数が多くお手数をおかけしますが、これからのまちづくりにとって非常に重要なものですので、ぜひご協力をお願いいたします。

※このアンケートは、太宰府市にお住まいの20歳以上の方1,000人を無作為に抽出し、お願いしています。

※アンケート結果は数字で統計処理いたします。回答結果をそのまま公表することはありませんので個人情報観点でご迷惑をおかけすることはありません。

※氏名や住所などの記入の必要はありません。

平成22年3月

太宰府市長 井上 保 廣

ご記入にあたって

① あて名のご本人がお答えください。

※ご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。

② お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。

③ たとえば、「1つ選んで」や「3つまで」と回答の数が指定されている質問がありますので、それぞれ指定の数を選んでください。

④ ご記入は鉛筆またはボールペンでお願いします。

◎この調査に関するお問い合わせは、次のところをお願いします。

太宰府市 総務部 経営企画課 企画政策係
電話 921-2121（内線548）

（まず、あなた自身についておたずねします）

問1. あなたの性別についてお選びください。

1. 男
2. 女

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。（平成22年3月末時点）

1. 20～24歳
7. 50～54歳
13. 80歳以上
2. 25～29歳
8. 55～59歳
3. 30～34歳
9. 60～64歳
4. 35～39歳
10. 65～69歳
5. 40～44歳
11. 70～74歳
6. 45～49歳
12. 75～79歳

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ
3. 2世代世帯（親と子）
4. 3世代世帯（親と子と孫）
5. 4世代以上
6. 兄弟姉妹のみ
7. その他（ ）

問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。（2つ以上あるときは主なもの1つ）

1. 会社員
6. パート・アルバイトなど
2. 農林水産業
7. 学生
3. 自営業（農林水産業以外）
8. 無職
4. 団体職員・公務員
9. その他（ ）
5. 家事専業

付問1【問4で5・8・9と答えた方以外で】通勤先または通学先の所在地を次の中からお選びください。

1. 太宰府市
5. 大野城市
2. 福岡市
6. 那珂川町
3. 筑紫野市
7. 1から6以外の福岡県内市町村
4. 春日市
8. 福岡県外

問5. あなたの住んでいる行政区を次の中からお選びください。

- | | | | | |
|---------|---------|----------|----------|-----------|
| 1. 北谷 | 11. 新町 | 21. 緑台 | 31. 桜町 | 41. 吉松 |
| 2. 内山 | 12. 白川 | 22. 梅ヶ丘 | 32. 櫻 | 42. 青葉台 |
| 3. 松川 | 13. 五条 | 23. 高滝台 | 33. 櫻寺 | 43. つつじヶ丘 |
| 4. 三条 | 14. 秋山 | 24. 水城 | 34. 芝原 | 44. ひまわり台 |
| 5. 三条台 | 15. 五条西 | 25. 水城台 | 35. 通古賀 | 45. わからない |
| 6. 連歌屋 | 16. 五条台 | 26. 水城ヶ丘 | 36. 都府楼 | |
| 7. 馬場 | 17. 東ヶ丘 | 27. 国分 | 37. 大佐野 | |
| 8. 湯の谷 | 18. 星ヶ丘 | 28. 坂本 | 38. 大佐野台 | |
| 9. 湯の谷西 | 19. 高雄 | 29. 観世音寺 | 39. 向佐野 | |
| 10. 大町 | 20. 梅香苑 | 30. 東観世 | 40. 長浦台 | |

問6. あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。

1. 太宰府小学校区
2. 太宰府東小学校区
3. 太宰府南小学校区
4. 水城小学校区
5. 水城西小学校区
6. 太宰府西小学校区
7. 国分小学校区
8. わからない

問7. あなたは太宰府市に住んで何年になりますか。(平成22年3月末時点で)
次の中からお選びください。

1. 3年未満
2. 3年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上～15年未満
5. 15年以上～20年未満
6. 20年以上～25年未満
7. 25年以上

問8. あなたのお住まいを次の中からお選びください。

1. 持ち家・分譲マンション
2. 賃貸住宅・アパート
3. 社宅・寮
4. 間借り・下宿
5. その他()

(まちの住みやすさについておたずねします)

問9. あなたは太宰府市が住みやすいと思いますか。(○は1つ)

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい
5. 住みにくい

問10. あなたはこれからも太宰府市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1. 住み続けたい
2. 住み続けたくない
3. わからない

付問1. 【住み続けたいと答えた方】におたずねします。「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1. 友人・知人が多い | 10. 生涯学習・スポーツの事業が盛ん |
| 2. 自宅周辺の環境がよい | 11. 高齢者施設が充実している |
| 3. サークル活動が盛ん | 12. 子育てしやすい制度や環境が整っている |
| 4. まちづくりに参加しやすい | 13. 医療機関が多い |
| 5. 史跡や文化財が身近にある | 14. 教育・文化施設の整備が進んでいる |
| 6. まちの知名度が高い | 15. 健康づくりのための事業が充実している |
| 7. 大学・短大が多い | 16. 道路や上下水道の整備が進んでいる |
| 8. 通勤通学の交通の便がよい | 17. 公園や街路樹などの緑が多い |
| 9. 商店が多く買い物便利 | 18. その他() |

→付問2. 【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 近所つきあいが悪手 | 10. 生涯学習・スポーツの事業が少ない |
| 2. 自宅周辺の環境が悪い | 11. 高齢者や障害者福祉施策が遅れている |
| 3. サークル活動が少ない | 12. 子育て支援の制度や環境が不十分 |
| 4. まちづくりに参加しにくい | 13. 大型総合病院がない |
| 5. 税金や公共料金が高い | 14. 教育・文化施設の整備が不十分 |
| 6. 災害対策に不安がある | 15. 健診や健康づくり事業などが不十分 |
| 7. 通勤通学の交通の便が悪い | 16. 道路や上下水道の整備が遅れている |
| 8. 大型スーパーが少ない | 17. 公園や街路樹などの緑が少ない |
| 9. 就職先が少ない | 18. その他() |

(あなた自身のお考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします)

問 11. あなたは第四次太宰府市総合計画後期基本計画に掲げた次の項目について、今後どのように取り組むべきだと思いますか。(○はあてはまる番号をそれぞれ1つずつ)

	1. 最優先で力を掛けて取り組むべきである	2. どちらかといえば今보다より力を掛けて取り組むべきである	3. 今までの通り	4. どちらかといえば今보다より力を掛けないで取り組むべきである	5. 今보다より力を掛けずに取り組むべきである	6. わからない	7. 関心がない
人権尊重と差別のないまちをつくるため、男女共同参画社会の実現や同和対策の推進を図る	1	2	3	4	5	6	7
市民ボランティアを育成し、地域コミュニティ(共同体)づくりを力を入れる	1	2	3	4	5	6	7
生涯にわたる学習の場やスポーツ環境を充実させる	1	2	3	4	5	6	7
市民の多様な生活様式に応じた健康づくり事業を展開する	1	2	3	4	5	6	7
育児相談体制や託児施設などを整備し、子育てしやすい環境をつくる	1	2	3	4	5	6	7
高齢者・障害者の福祉施策やバリアフリー化などを充実させる	1	2	3	4	5	6	7
事故や災害、犯罪のない、安心して生活できるまちづくりを進める	1	2	3	4	5	6	7
ゴミ減量や資源リサイクルに取り組み、良好な環境を次世代に引き継ぐ	1	2	3	4	5	6	7
美しい自然や歴史景観を守り、公園や街路樹などの身近な緑を育てていく	1	2	3	4	5	6	7
道路交通施設の整備やコミュニティバス路線の充実を進める	1	2	3	4	5	6	7
高度情報基盤の整備を進め、行政や地域の情報などの積極的な公開を進める	1	2	3	4	5	6	7
商工・農業、観光などの振興を図り、活力のある地域をつくる	1	2	3	4	5	6	7

	1. 最優先で力を掛けて取り組むべきである	2. どちらかといえば今보다より力を掛けて取り組むべきである	3. 今までの通り	4. どちらかといえば今보다より力を掛けないで取り組むべきである	5. 今보다より力を掛けずに取り組むべきである	6. わからない	7. 関心がない
豊富な文化・歴史資源を生かした文化の香り高いまちづくりを進める	1	2	3	4	5	6	7
伝統文化の継承や市民の自主的文化活動、国際交流など様々な文化的活動を推進する	1	2	3	4	5	6	7
行財政改革や広域行政を推進する	1	2	3	4	5	6	7

各項目について
具体的にたずねします

人権の尊重と同和対策の充実

問 12. あなたは今の太宰府市では同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)

1. 尊重されている
2. どちらかといえば尊重されている
3. どちらかといえば尊重されていない
4. 尊重されていない

問 13. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。

1. ある
2. ない

→付問1【あると答えた方】におたずねします、それはどのような人権侵害ですか。(○はいくつでも)

1. 同和問題
2. 性別(男女)に関する人権
3. 子どもの人権
4. 障害者の人権
5. 高齢者の人権
6. 外国人の人権
7. 特定疾患感染者(HIV)などの人権
8. その他(具体的に)

問 14. あなたは「同和地区」（被差別部落）と、その人々に対する差別がどうしてできたと思いますか。次のどれが正しいと思われるですか（○は1つ）

1. 人種や民族が違う
2. 宗教が違う
3. 特定の仕事に従事していた
4. 中世から封建時代にかけて社会的・政治的に作られた
5. 生活が貧しかった
6. 落ち武者の子孫である
7. その他（ ）
8. わからない
9. 同和地区自体のことを知らない

問 15. あなたは結婚を決めるときに、家柄とか血筋を問題にする風習についてどのような思いますか。（○は1つ）

1. 当然のことと思う（いつも気にしている）
2. おかしいと思うが、自分だけ反対しても仕方がないと思う
3. 不合理だから、なくしていかなければならないと思う

バリアフリーの推進

問 16. あなたは市内の公共施設（駅、市役所等）が高齢者や障害者などに配慮されていると思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 17. あなたは市内の民間施設（商業施設等）が高齢者や障害者などに配慮されていると思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

男女共同参画の推進

問 18. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分工の考え方にどの程度同意しますか。（○は1つ）

1. 同意する
2. ある程度同意する
3. あまり同意しない
4. 同意しない

問 19. あなたは普段の生活の中で、男女間の地位の平等について、どのように感じられますか。（○は1つ）

1. 女性の方が優位である
2. どちらかといえば、女性の方が優位である
3. 平等である
4. どちらかといえば、男性の方が優位である
5. 男性の方が優位である
6. わからない

地域のコミュニティづくり

問 20. あなたは自治会活動に参加していますか。（○は1つ）

1. 積極的に参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

問 21. あなたは自治会活動以外のボランティア活動に参加していますか。（○は1つ）

1. 積極的に参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

生涯学習社会の創造

問 22. あなたは日頃から学習テーマを持って生涯学習活動に取り組んでいますか。（○は1つ）

1. ほぼ毎日取り組んでいる
2. 週に1回程度取り組んでいる
3. 月に数回程度取り組んでいる
4. 年に数回程度取り組んでいる
5. ほとんど取り組んでいない

問 23. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。（○は1つ）

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度行っている
5. ほとんど行っていない

健康づくりと保健予防

問 24. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とても健康である
2. 健康な方である
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問 25. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいるものがありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない

社会福祉の充実

問 26. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 27. 【65歳以上の方だけにおたずねします】

あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は1つ)

1. とても感じている
2. どちらかと言えは感じている
3. どちらかと言えは感じていない
4. 全く感じていない

問 28. あなたは太宰府市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 29. あなたは太宰府市の障害者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

子育て環境の整備

【次の2問は、中学生までの子どもをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 30. あなたは子育てに関して不安や負担感を感じますか。(○は1つ)

1. 不安や負担感がある
2. どちらかと言えは不安や負担感がある
3. どちらかと言えは不安や負担感はない
4. 全く不安や負担感はない

問 31. あなたは太宰府市では子育てがしやすいと思いますか。(○は1つ)

1. 子育てがしやすい
2. どちらかと言えは子育てがしやすい
3. どちらかと言えは子育てがしにくい
4. 子育てがしにくい

安全なまちづくり

問 32. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。

1. 2日分程度の食料・飲料の備蓄をしている。
1. はい 2. いいえ
2. 避難場所を知っている。
1. はい 2. いいえ
3. 避難勧告などの災害情報がどこから来るかを知っている。
1. はい 2. いいえ
4. 家具の転倒防止策をとっている。
1. はい 2. いいえ

問 33. あなたは市内に住むことに対して防犯の面で安心していただけますか。(○は1つ)

1. とても安心していい
2. どちらかと言えは安心していい
3. どちらかと言えは不安である
4. とても不安である

付問 1 あなたの家の周囲や市内において、防犯上危険と思われるような場所がありますか。 ()

（ ）

消費生活の安定

問 34. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為（点検商法やキャッチセールス等）の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありましたか。(○は1つ)

- 1. 被害を受けた
- 2. 直接の被害はないが不安を感じた
- 3. 特になかった

付問1【被害を受けた・直接の被害はないが不安を感じたと答えた方】におたずねします
具体的には、どのような被害や不安でしたか。(○はいくつでも)

- 1. 架空請求・不当請求
- 2. 点検商法、訪問販売（消火器・浄水器・シロアリ駆除等）
- 3. キャッチセールス・セールス・催眠商法による被害
- 4. 振り込み詐欺
- 5. その他（具体的に)

環境行政の総合的推進

問 35. あなたは日頃からアイドリングストップや節電など、二酸化炭素排出削減や大気汚染防止のための活動を実践していますか。(○は1つ)

- 1. ほほ毎日実践している
- 2. 週に1回程度実践している
- 3. 月に数回程度実践している
- 4. 年に数回程度実践している
- 5. ほとんど実践していない

問 36. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を実践していますか。(○は1つ)

- 1. 実践している
- 2. ある程度実践している
- 3. あまり実践していない
- 4. ほとんど実践していない

生活環境の向上

問 37. あなたは自宅周辺の環境が清潔で衛生的だと思いますか。(○は1つ)

- 1. そう思う
- 2. ややそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. そう思わない

問 38. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草など空き地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。(○は1つ)

- 1. かなり守られている
- 2. ある程度守られている
- 3. あまり守られていない
- 4. ほとんど守られていない

問 39. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会等に参加したことがありますか。(○は1つ)

- 1. 年に2回以上参加している
- 2. 年に1回程度は参加している
- 3. 参加したことはない

緑の保全と創造

問 40. あなたは太宰府市の自然は豊かであると感じますか。(○は1つ)

- 1. そう思う
- 2. ややそう思う
- 3. あまりそう思わない
- 4. そう思わない

快適な生活空間づくり

問 41. あなたのお住まいの周辺地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適に住環境がよいところだと思いますか。(○は1つ)

- 1. そう思う
- 2. どちらかと言えばそう思う
- 3. どちらかと言えばそう思わない
- 4. そう思わない

問 42. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。(○は1つ)

- 1. そう思う
- 2. どちらかと言えばそう思う
- 3. どちらかと言えばそう思わない
- 4. そう思わない

交通体系の整備

問 43. あなたは市内のバス便は便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. バス便を利用しないのでわからない

問 44. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. 鉄道を利用しないのでわからない

問 45. あなたは市内の道路全般について、渋滞もなく円滑に移動できると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

産業の振興

問 46. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(○は1つ)

1. 太宰府市
2. 福岡市
3. 筑紫野市
4. 春日市
5. 大野城市
6. 那珂川町
7. 宇美町
8. 1から7以外の市町村

景観づくり

問 47. あなたは市内の自然は美しいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

問 48. あなたは史跡地・神社仏閣及びその周辺など、市内の歴史的な景観が美しいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

問 49. あなたが住んでいる地区は、良質な街並みだと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

情報通信基盤の整備

問 50. あなたはパソコンを持っていますか。(○は1つ)

1. 持っている
2. 家族が持っている
3. ない

→付問1【持っている・家族が持っていると答えた方】におたずねします、そのパソコンを使ってインターネットを利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している
2. 利用していない

問 51. あなたは携帯電話を持っていますか。(○は1つ)

1. 持っている
2. 持っていない

→付問1【持っていると答えた方】は、その携帯電話を使ってインターネットを利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している
2. 利用していない

歴史と国立博物館を生かしたまちづくり

問 52. あなたは市内の歴史文化遺産を誇りに思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

市民文化の創造

問 53. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度行っている
5. ほとんど行っていない

国際化の推進

問 54. あなたは日頃から市内在住の外国人と交流していますか。（○は1つ）

1. ほぼ毎日交流している
2. 週に1回程度交流している
3. 月に数回程度交流している
4. 年に数回程度交流している
5. ほとんど交流していない

問 55. あなたは太宰府市では大韓民国の扶餘^{フヨウ}市と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。（○はいくつでも）

1. 扶餘市との姉妹都市締結は知っていた
2. 奈良市との友好都市締結は知っていた
3. 多賀城市との友好都市締結は知っていた
4. どれも知らなかった

問 56. あなたは日頃から市の姉妹都市である大韓民国の扶餘市や友好都市である奈良市、多賀城市の人たちと交流をしていますか。（○は1つ）

1. ほぼ毎日交流している
2. 週に1回程度交流している
3. 月に数回程度交流している
4. 年に数回程度交流している
5. ほとんど交流していない

広報広聴機能の充実

問 57. あなたは「広報だざいふ」「太宰府市議会だより」を読んだり、「太宰府市ホームページ」を見ますか。（○はそれぞれ1つ）

広報だざいふ	議会だより	太宰府市ホームページ
<ol style="list-style-type: none"> 1. いつも読んでいる 2. たまに読んでいる 3. ほとんど読まない 4. 読まない 	<ol style="list-style-type: none"> 1. いつも読んでいる 2. たまに読んでいる 3. ほとんど読まない 4. 読まない 	<ol style="list-style-type: none"> 1. いつも見ている 2. たまに見ている 3. ほとんど見えていない 4. 見えていない 5. 見ることができない

情報の提供

問 58. あなたは市が積極的に情報を公開・提供していると感じますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

問 59. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると感じますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

人材育成の推進

問 60. あなたは過去1年間で、市役所の窓口を利用したことがありますか。（○は1つ）

1. はい
2. いいえ

→付問1【はいと答えた方】にお聞きます。窓口での事務処理は迅速でしたか。（○は1つ）

1. とても迅速だった
2. どちらかと言えば迅速だった
3. どちらかと言えば遅かった
4. とても遅かった

→付問2【はいと答えた方】にお聞きます。窓口での職員の対応や姿勢に満足しましたか。（○は1つ）

1. とても満足した
2. どちらかと言えば満足した
3. どちらかと言えば不満だった
4. とても不満だった

問 61. あなたは市職員の応対や行動などの仕事に対する取り組みについて、どう評価していますか。(○は1つ)

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

行財政改革

問 62. あなたは太宰府市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない

広域行政の推進

問 63. 福岡都市圏では道路等交通基盤整備や水資源の確保、図書館や体育館の広域利用による生涯学習の体制づくりなど、都市圏に共通する課題に対し、圏域全体の一体的発展と、魅力と活力にあふれた住みよい都市圏の形成に向けて取り組みを進めています。

あなたは福岡都市圏の広域的な取り組みによって住民サービスが向上したと感じますか。(○は1つ)

[福岡都市圏の概要]

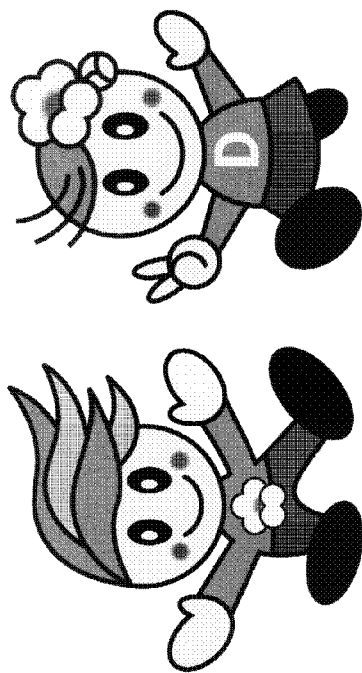
福岡都市圏は福岡市とその周辺 16市町（筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・那珂川町・古賀市・宇美町・篠栗町・志免町・須恵町・新宮町・久山町・粕屋町・宗像市・福津市・糸島市）を圏域とし、これら 17市町で構成する福岡都市圏広域行政推進協議会を設置しています。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

(最後にまちづくりについてご意見などがありましたら、お聞かせください)
《自由意見欄》

貴重なご意見をありがとうございました。

今後も、市政へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



◎ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、3月23日（火）までに投函してください。

太宰府まちづくり市民意識調査 報告書

発行年月日 平成 22 年 3 月
編集・発行 太宰府市 総務部 経営企画課
〒818-0198
福岡県太宰府市観世音寺一丁目 1 番 1 号
TEL 092-921-2121
FAX 092-921-1601